

### 3 - 2 - 4 施工計画 / 調達計画

#### 3 - 2 - 4 - 1 施工方針 / 調達方針

日本国の協力対象事業は外来診療棟、ラボ・中央材料棟、病棟 A、一般サービス棟 A の施設建設工事及び対象施設に対する医療機材の調達・据付工事等からなる。本計画における日本側負担工事は、日本国政府の無償資金協力の枠組みに従って実施される。

計画地は、リマ市チョリジョス区にある、西から東にかけ約 3m の高低差のある既存建屋・地下構築物が現存する旧軍用地（操車場、車両ワークショップに使用）にある。このため本計画に合わせた敷地の整地および既存建築物の撤去等が必要となり、これはペルー国側の負担工事であり、本計画の実施が決定された場合、これら負担工事が速やかに実行されることが必要である。

日本側協力対象施設以外の管理・研修棟、病棟 B・C、一般サービス棟 B、精神機能障害治療棟および解剖・病理棟は相手国負担工事であり、本工事と同時進行が予定されている。施工計画立案に当っては、これらを考慮に入れた円滑かつ安全な施工計画を立てることが重要であり、日本側とペルー側の綿密な連携が必要となる。

本計画は、日本国政府により閣議承認され交換公文（E/N）および贈与契約（G/A）が署名された後、正式に実施されることとなる。E/N および G/A が署名された後、速やかにペルー側実施機関と日本国法人のコンサルタントがコンサルタント契約を結び、計画の実施設計業務を行う。実施設計後、日本国法人の施工業者および医療機材調達業者選定のための入札が行われ、落札した業者と実施機関の間で業者契約が締結され、施設建設工事と医療機材納入・据付が実施されることとなる。本計画実施における基本事項および配慮されるべき事項は以下の通りである。

#### （ 1 ） 実施機関

本計画の主管官庁はペルー国保健省、実施機関は国立障害者リハビリテーションセンター（Instituto Nacional de Rehabilitación: INR）であり、ペルー側負担事業を実施する。

#### （ 2 ） コンサルタント

両国政府による E/N および G/A の署名終了後、日本国法人のコンサルタントは、直ちに日本国の無償資金協力の手続きに従い、ペルー側実施機関とコンサルタント契約を結ぶ。この契約に従い、以下の業務を実施する。

- 1) 実施設計： 計画内容の最終確認、実施設計図書（計画に含まれる施設・医療機材に関する仕様書およびその他の技術資料、入札図書作成）の作成、入札業務協力、入札評価、業者契約
- 2) 施工監理： 施設建設工事および医療機材納入・据付・操作指導・保守管理指導に対する監理業務

「実施設計」とは、基本設計調査報告書に基づき、建築計画、機材計画の詳細を決定し、それらに関する仕様書、入札条件書、および建設工事・医療機材調達に関するそれぞれの契約書案等からなる入札図書を作成することを示し、建設工事、機材調達に必要な費用の見積りも含まれる。

「入札業務協力」とは、実施機関が行う工事施工業者および医療機材納入・据付業者の入札による選定への立ち会い、それぞれの契約に必要な事務手続きおよび JICA への報告等に関する業務協力を指す。

「施工監理」とは、工事施工業者および医療機材納入・据付業者が実施する業務について、契約書通りに実施されているか否かを確認し、契約内容の適正な履行を確認する業務を指す。さらに、計画実施を促進するため、公正な立場に立ち、関係者に助言、指導、関係者間の調整を行うもので、主たる業務内容は、下記の通りである。

工事施工業者および医療機材納入・据付業者より提出される施工計画書、施工図、機材仕様書その他図書の照合および承認手続き  
納入される建設資機材、医療機材の数量、品質・性能の出荷前検査及び承認  
建築設備機材、医療機材の納入・据付、取扱い説明の確認  
工事進捗状況の把握と報告  
完成施設・医療機材の完成検査および引渡しへの立会い  
コンサルタントは、上記業務を遂行する他、日本国政府関係機関に対し、本計画の進捗状況、支払手続き、完了引渡しなどについて報告を行う。

### (3) 工事施工業者および医療機材納入・据付業者

工事施工業者および医療機材納入・据付業者は、契約に基づき施設の建設および医療機材の調達・搬入・据付を行い、ペルー国側に対し当該機材の操作と維持管理に関する技術指導を行なう。また、機材引渡し後においても、継続的に機材のスペアパーツおよび消耗品の保証期間中の無償供給および有償供給、技術サポートを受けられるよう、機材供給メーカー・代理店との協力のもとに後方支援を行う。

### (4) 国際協力機構

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、本計画が無償資金協力の制度に従って適切に実施されるよう実施監理を行う。

### (5) 施工計画の策定

施工計画に関する検討は、実施設計期間中にペルー側実施機関関係者とコンサルタントとの間で行う。また、日本側とペルー側双方の負担工事を明確にし、各々の負担工事の着手時期および方法について工事項目毎に確認し、双方の負担工事が基本設計調査報告書の実施スケジュールに基づいて円滑に遂行されるよう協議を行う。特に、ペルー側負担工事のうち、本計画に合わせた敷地の整地および既存建築物の撤去は、日本側建設工事着工前に確実に完了される必要がある。

## 3 - 2 - 4 - 2 施工上 / 調達上の留意事項

本計画施工上の留意点として下記の項目が挙げられ、これらに配慮した施工計画を策定する必要がある。

### (1) 工程管理

建設工事は、外来診療棟、ラボ・中央材料棟、病棟 A および一般サービス棟 A の 4 棟の新築工事である。ペルー側負担工事である管理・研修棟、病棟 B・C、一般サービス棟 B、精神機能障害治療棟および解剖・病理棟の建設工事が同時進行で行われることが予定されている

なか、特に病棟 B および精神機能障害治療棟は近接した敷地での工事となるため、工事動線の明確な分割などにより、作業工程を合理的に管理する必要がある。

これらの工事には医療機材の据付工事も含まれ、建設と機材の綿密な工程調整も図る必要がある。

## ( 2 ) 安全管理

計画予定地周辺は住宅地となっていること、また同一敷地内で日本側、ペルー側工事が同時進行となるため、事故防止のため工事地区を仮囲い等で明確に区切るとともに、工事用動線の輻輳を避けるべく、ペルー側関係者、コンサルタントおよび施工業者の間で相互協力体制を構築し、綿密な管理調整を行うことが必要である。

### 3 - 2 - 4 - 3 施工区分 / 調達・据付区分

本計画の事業実施は、日本国とペルー国との相互協力により実施される。本計画が日本国政府の無償資金協力によって実施される場合、両国政府の工事負担範囲は、下記の通りとするのが妥当である。

#### ( 1 ) 日本国の無償資金協力による負担事業

日本国側は、本計画協力対象事業のコンサルティングおよび施設建設・医療機材調達・据付に関する以下の業務を無償資金協力により実施する。

##### 1 ) コンサルタント業務

- a) 日本側協力対象施設、医療機材の実施設設計図書および入札条件書の作成
- b) 工事施工業者、医療機材調達・据付業者の選定および契約に関する業務協力
- c) 施設建設工事および医療機材納入・据付・操作指導・保守管理指導に対する監理

##### 2 ) 施設建設および医療機材の調達・据付

- a) 日本側協力対象施設の建設および協力対象範囲の外構・インフラ工事
- b) 日本側協力対象施設の建設資機材、医療機材の調達および対象施設までの輸送と搬入
- c) 日本側協力対象機材の据付工事および試運転調整
- d) 日本側協力対象機材の運転、保守管理方法の説明・指導

#### ( 2 ) ペルー国政府の負担事業

ペルー国側は、本計画の以下に示す手続き事項および工事に関する業務を負担し実施する。

##### 1 ) 手続き事項

- a) 用地の確保
- b) 国内税の免税措置
- c) 日本または第三国から輸入される機材に対する免税措置、迅速な通関および便宜供与
- d) 建設許可の取得
- e) インフラ（電力、上・下水道、電話など）の接続手続き
- f) 仮設電力・給水設備の確保
- g) 銀行取極め、支払授權書の発給

- h) 本プロジェクトの業務遂行のためにペルー国に入国し、滞在する日本人に対する入国および滞在に必要な便宜の供与
- i) 日本側負担分以外の全ての経費負担

## 2) 負担工事

- a) 建設予定地の整地工事
- b) 既存機材・家具の移設工事
- c) 日本側協力対象施設の必要家具・什器の調達
- d) 植栽工事
- e) 管理・研修棟の建設、必要機材・家具の調達
- f) 病棟 B・C の建設、必要機材・家具の調達
- g) 一般サービス棟 B の建設、必要機材・家具の調達
- h) 精神機能障害治療棟の建設、必要機材・家具の調達
- i) 病理・解剖棟の建設、必要機材・家具の調達
- j) 日本側協力対象範囲外の外構・インフラ工事
- k) インフラ（電力、上・下水道、電話など）の接続工事
- l) 敷地周囲のフェンス設置工事

### 3 - 2 - 4 - 4 施工監理計画/機材調達監理計画

#### (1) 施工監理計画

##### 1) 施工監理方針

日本国政府が実施する無償資金協力の方針に基づき、コンサルタントは基本設計の主旨を踏まえ、実施設計業務を含む一貫したプロジェクト遂行チームを編成し、円滑な業務実施を行う。本計画の施工監理に対する方針は下記の通りである。

- a) 両国関係機関の担当者と密接な連絡を行い、遅滞なく施設建設および医療機材整備が完了することをめざす。
- b) 工事施工業者、医療機材調達・据付業者とその関係者に対し、公正な立場にたつて迅速かつ適切な指導・助言を行う。
- c) 建設工事および医療機材据付工事が完了し、契約条件が満たされたことを確認した上で、施設・医療機材の引渡しに立ち会い、ペルー国側の受領承認を得て、その業務を完了させる。

##### 2) 施設施工監理計画

本計画はペルー側負担建設工事との同時進行が予定されており、工事進捗に合わせたペルー側関係者・本計画施工業者・ペルー側工事施工業者間の調整の重要性を考慮に入れ、常駐監理者（建築担当）1名を置く。また、工事の進捗状況に合わせ、下記の技術者を適時派遣する。

- ・施工監理（監理責任者：着工立会い・全体調整、竣工検査）
- ・施工監理（建築：施工方法、材料・仕様の確認）

- ・ 施工監理（構造：地盤確認、基礎工事、躯体工事）
- ・ 施工監理（電気：供給設備、受変電設備、竣工検査）
- ・ 施工監理（機械：供給設備、給排水衛生設備、竣工検査）

## （２）機材調達監理計画

### １）機材調達監理方針

本計画では、施設、機材の分離入札を予定しており、調達機材監理にあたっては、施設・設備との取り合い及び工事の進捗状況に関し、特に留意する必要がある。

従って、調達監理にあたっては、以下に示す方針で臨むこととする。

- a) 設備計画担当者及び調達業者との連絡を緊密に行い、齟齬のない配置計画を策定するとともに、設備との取り合いを調整する
- b) 施工監理担当者から建設工事の進捗に関し、適宜情報を収集し、適切な設置計画を策定する。
- c) 引渡しにあたっては、機材業者による適切な操作説明が行われたか、慎重に確認するとともに、運用・管理に関し、適切な助言を行う。

### ２）機材調達監理計画

機材の調達監理にあたっては、以下の体制で実施する。

- ・ 調達監理者：１名  
入札管理、調達監理、引渡検査を行う。
- ・ 検査技術者：１名  
出荷前検査の準備、立ち会いを行う。

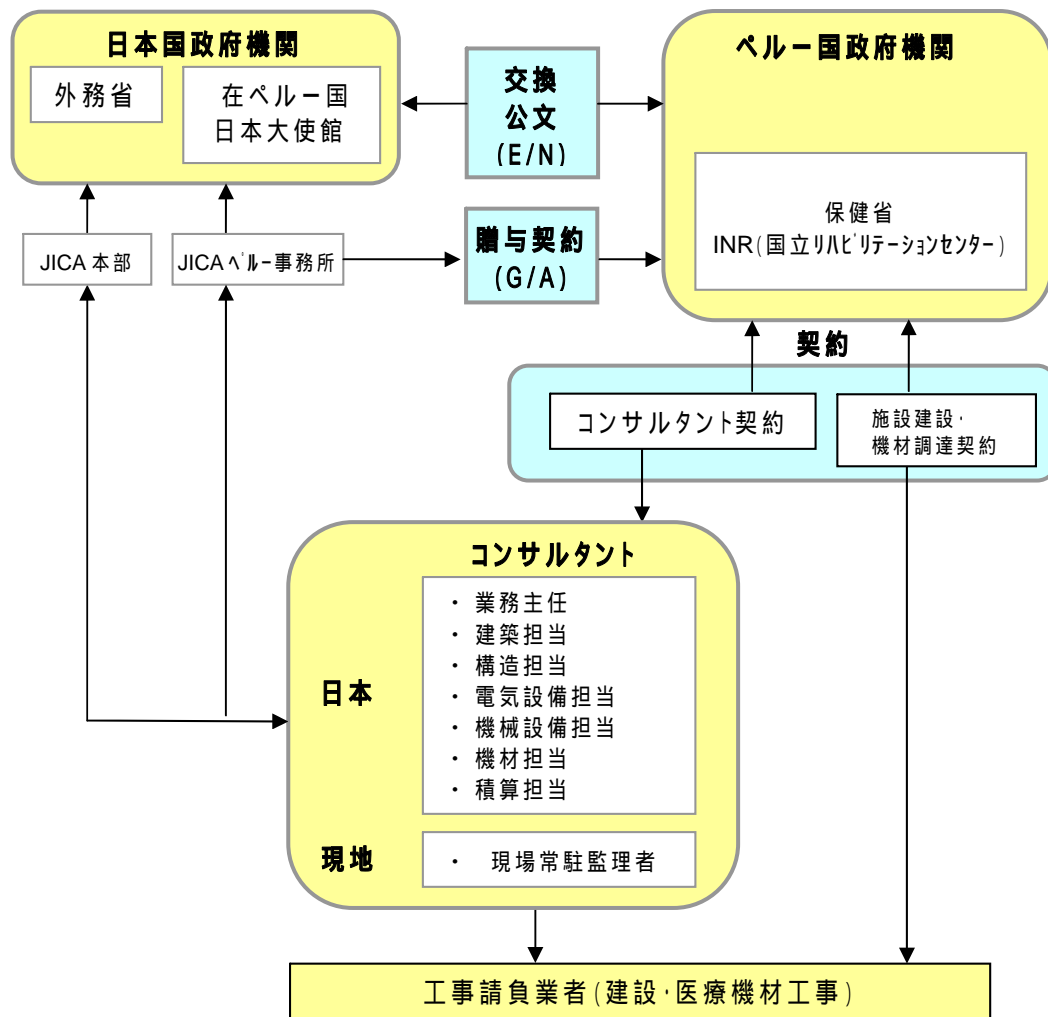


図 - 21 : 本プロジェクトにおける事業実施体制

### 3 - 2 - 4 - 5 品質管理計画

建設資材は、現場常駐監理者が受入れ検査を実施し、その品質を確認する。品質管理に必要な各種試験は実施設計において特記仕様書に明記し、これに従い実施する。

- ・ 地盤の地耐力確認は、構造担当者の立会いの上、現地にて実施する。
- ・ 鉄筋は、搬入毎にメーカーの製品試験報告書（ミルシート）による材料品質確認を行う。
- ・ コンクリートは、ペルー国の基準に準拠し、原則として50m<sup>3</sup>毎にスランプ試験とテストピース採取を行う。
- ・ コンクリートの圧縮強度試験および鉄筋の引張り強度試験は、リマ市内にある国立工科大学等の公的機関にて行う。

### 3 - 2 - 4 - 6 資機材等調達計画

#### (1) 建設資材

建設資材のほとんどはペルー国にて調達可能であり、本計画においてはペルー国にて調達する。下表に建設資機材の調達区分を示す。

表-16： 建設資機材の調達区分

| 資 機 材 名      | 現地調達事情 |             | 調達計画 |    |    |
|--------------|--------|-------------|------|----|----|
|              | 状況     | 輸入先         | 現地   | 三国 | 日本 |
| ( 建築資材 )     |        |             |      |    |    |
| 1.骨材 (砂、碎石)  |        |             |      |    |    |
| 2.セメント       |        |             |      |    |    |
| 3.鉄筋         |        |             |      |    |    |
| 4.レンガ        |        |             |      |    |    |
| 5.合板、木材      |        |             |      |    |    |
| 6.床、壁用タイル    |        |             |      |    |    |
| 7.木製建具       |        |             |      |    |    |
| 8.鋼製建具       |        |             |      |    |    |
| 9.アルミ建具      |        |             |      |    |    |
| 10.建具金物      |        | ブラジル・イタリア   |      |    |    |
| 11.ガラス       |        | ブラジル        |      |    |    |
| 12.塗料        |        | アメリカ        |      |    |    |
| 13.作業台・流し台   |        |             |      |    |    |
| 14.エレベーター    |        | 日本・アメリカ     |      |    |    |
| 15.ビニール床材    |        | スウェーデン・オランダ |      |    |    |
| 16.シーリング、防水剤 |        | アメリカ        |      |    |    |
| 17.雑金物       |        |             |      |    |    |
| ( 設備資材 )     |        |             |      |    |    |
| 1 電線、ケーブル    |        |             |      |    |    |
| 2 24KV ケーブル  |        |             |      |    |    |
| 3 PVC 管、付属品  |        |             |      |    |    |
| 4 鋼管         |        |             |      |    |    |
| 5 照明器具       |        | アメリカ・イタリア   |      |    |    |
| 6 24KV 配電盤   |        | アメリカ・メキシコ   |      |    |    |
| 7 変圧器        |        | アメリカ        |      |    |    |
| 8 発電機        |        | アメリカ        |      |    |    |
| 9 ケーブルラック    |        |             |      |    |    |
| 10 配・分電盤、制御盤 |        |             |      |    |    |
| 11 自動火災報知設備  |        | アメリカ        |      |    |    |
| 12 電話設備      |        | 日本・アメリカ     |      |    |    |
| 13 ナースコール    | ×      |             |      |    |    |
| 14 PVC 給・排水管 |        |             |      |    |    |
| 15 SGP 給水管   |        |             |      |    |    |
| 16 ポンプ類      |        | アメリカ・イタリア   |      |    |    |
| 17 衛生器具      |        |             |      |    |    |
| 18 ボイラー設備    |        | アメリカ        |      |    |    |
| 19 FRP 受水槽   | ×      |             |      |    |    |
| 20 消火栓       |        |             |      |    |    |
| 21 空調機       |        | 日本・アメリカ     |      |    |    |
| 22 圧力壁扇      | ×      |             |      |    |    |

( 2 ) 機材

本案件における計画機材は、治療用機材、診断用機材、義肢装具製作用機材、病棟用機材、一般サービス用機材に分類される。

の治療用機材、の診断用機材、の義肢装具製作用機材は、ある程度高度な機能が要求されるものが多いことから、日本又は欧米製品などの高品質な機材を調達する。ただ、運動療用法用機材の一部には、日本と設計の考え方が異なるため、要求仕様が日本製品と整合し

ない場合もあり、これらの機材に関しては第三国製品を選定せざるを得ない。 の病棟用機材及び の一般サービス用機器の一部は、ペルー国内で製造している業者があり、多くの納入実績もあることから、現地、日本の製品の中から、要求仕様を満たす適正な機材を選定する。

ただ、これらの機材の多くは、引き渡し後の保守・修理体制の確保が重要であり、どこの国の製品であっても、基本的に現地代理店から調達するか、現地代理店の整備されたメーカーの製品を調達する必要がある。なお、現地調査の結果、今回計画された機材の多くは、現地に取り扱う業者があり、現地代理店の設定は基本的に可能である。

分類毎機材の想定される調達先は以下の通りである。

表 - 17： 医療機材の調達区分

| 機材内容      | 調達先 |    |     |
|-----------|-----|----|-----|
|           | 現地  | 日本 | 第三国 |
| 治療用機材     |     |    |     |
| 診断用機材     |     |    |     |
| 義肢装具製作用機材 |     |    |     |
| 病棟用機材     |     |    |     |
| 一般サービス用機材 |     |    |     |

### (3) 資機材の搬入ルート

日本から調達される資機材は、横浜・名古屋・大阪港より中米経由で定期便を運航している業者が複数あり、毎週いずれかの便で輸送可能である。海上輸送の所要日数は3～5週間で、ペルー国の主要荷受け港であるカジャオ港に到着する。荷卸し、通関業務を含め約1週間でサイトに搬入される。内陸輸送に関しては、サイトまでの道路は整備されており、問題ない。なお、中南米向け木材梱包およびケーブル用の木ドラム等については、国際基準 No.15 に沿った消毒および消毒済みマーク表示等の適正な措置を施さなければならないので注意が必要である。

#### 3 - 2 - 4 - 7 初期操作指導・運用指導等計画

本計画で調達される機材に関しては、引渡し時に、調達業者あるいはメーカーの技術者による初期操作指導及び保守管理に関する運用指導を実施する。コンサルタントは、これらの指導が適正に実施されるよう監理するとともに、引渡しに際しては、各機材のペルー側責任者と面談の上、これら説明・指導が適切に実施されたか、ペルー国側の担当者が十分に理解したか、確認を行う。

#### 3 - 2 - 4 - 8 ソフトコンポーネント計画

今回の計画においてはソフトコンポーネントは行わない。

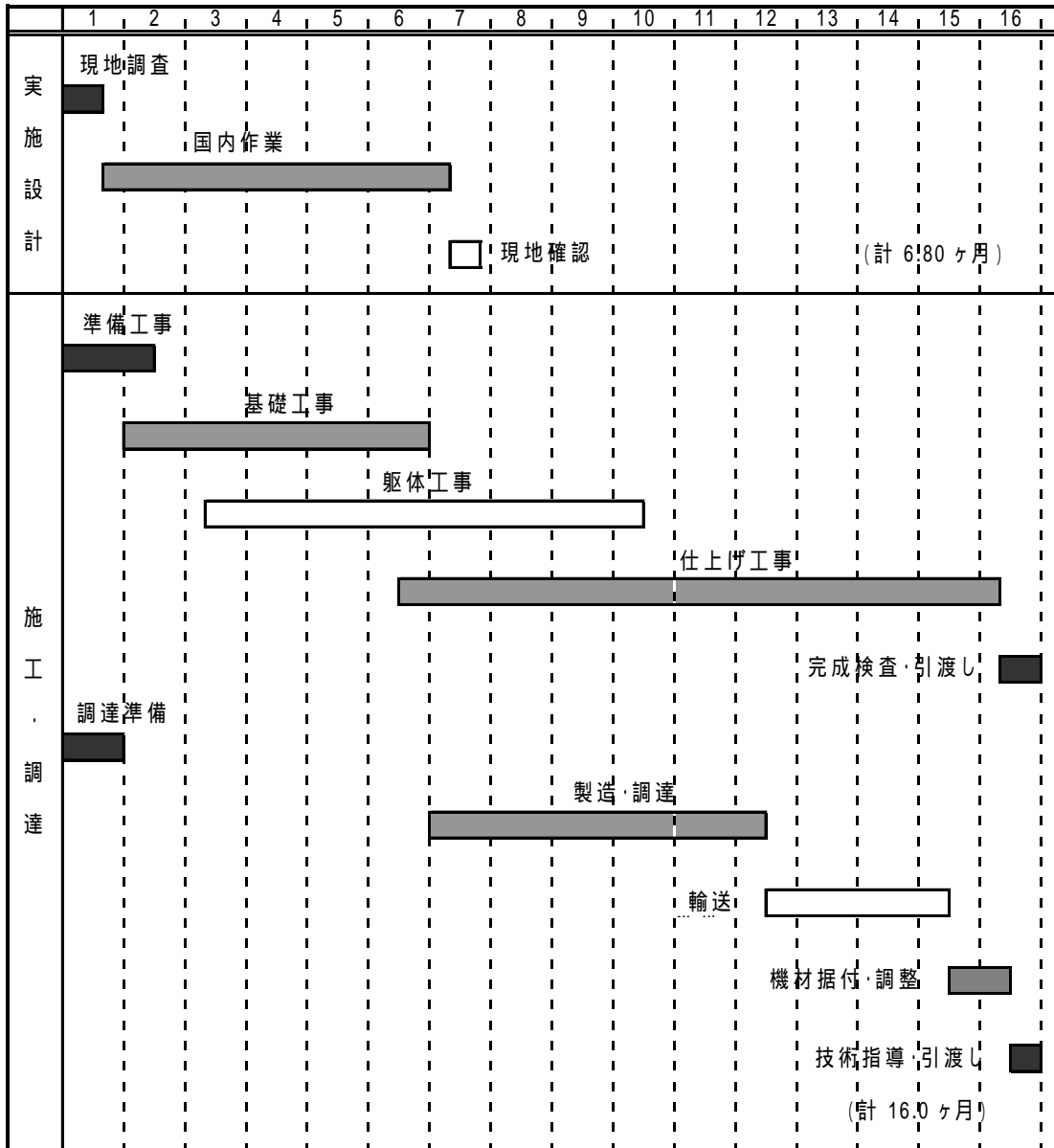


3 - 2 - 4 - 9 実施工程

本計画の実施設計には約 6.8 ヶ月、建設工事（機材の調達を含む）には約 16.0 ヶ月の工期が予定される。本計画の実施工程表を以下に示す。

注：下記表はそれぞれの工程の予定期間を表している。実施設計と施工・調達が同時期に行われるものではない。（現地調査と準備工事が同時にスタートするわけではない）

表 - 18： 実施工程表



### 3 - 3 相手国分担事業の概要

本計画に関する事業負担区分については、3-2-4-3 施工区分/調達・据付区分で述べたとおりである。以下にペルー国側の分担事業の概要を示す。

#### 3 - 3 - 1 手続き事項

##### ( 1 ) 用地の確保

建設予定地に関しては 2007 年 5 月 25 日付け保健省通達 No. 039-2007/SBN-GO-JAO で INR の移転建設計画用に 37,536.14m<sup>2</sup> の用地の使用許可が発行されており、確保済みである。

##### ( 2 ) 国内税の免税措置

本計画の実施に必要な建設資材、医療機材の購入、ならびに役務の調達に係る国内税の免税措置を行う。実施機関は、下記に述べる還付金の予算措置を行う。

##### 付加価値税 (IGV) 及び自治体促進税 (IPM) の免税手続き

法令 783 号に基づき、外国政府または国際技術協力機関からペルー政府、政府機関、に対する贈与の資金で行う、財・サービスの購入の際に支払われる IGV や自治体促進税 (IPM) は還付の対象になり、この還付は交渉可能な信用状 (nota de credito) システムを通して行われる。還付手続きは最高決議 36 94 EF 号により規定され、その手続きは指針 003 2006 APCI DE に明記されている。

指針 003 2006 APCI DE に示された手続きは通常、申請から還付まで 6 ヶ月もしくはそれ以上の期間が必要となる。保健省は、過去の日本国政府からの無償資金協力案件では保健省が還付資金額の予算を確保し、建設業者および機材調達業者からの IGV と IPM の還付申請に対して約 2 ヶ月で還付に応じた実績がある。本案件に関しても、保健省は、前案件と同様に IGV と IPM の還付を実施する予定である。

IGV と IPM の還付手続きに関しては、入札後に決定した建設業者および機材調達業者は、保健省との間で国内税還付手続き書を締結する必要がある。

##### ( 3 ) 日本または第三国から輸入される資機材に対する輸入関税の免税措置および通関並びに内陸輸送に係る便宜供与

ペルー国保健省は、本計画に必要な日本または第三国から輸入される資機材に関して免税措置を行うと共に、迅速な通関および内陸輸送手続きに対して、必要な便宜供与を図る。

## 輸入関税及び免税手続き

政令 21942 号（外国からの贈与商品の税関手続き）に基づき、外国から中央政府・地方政府、公立機関・組織、並びに、民間機関への贈与される商品は、関税の補強となっている特殊税、付加税の支払いは免除され、これらの場合、免除決議書の発行は必要ない。

建設業者および機材調達業者は、関税の対象となる輸入資機材の船荷証券および積荷目録など必要書類を保健省に提出し、保健省は関税局に対して免税手続きを行う。関税は免税となるが、輸入諸経費は建設業者、機材調達業者が負担する必要がある。

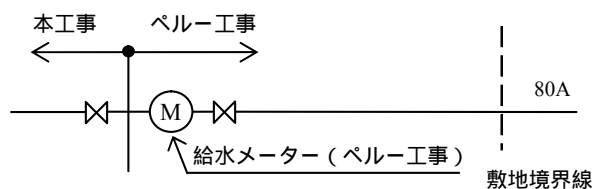
### （４）建築許可の取得

建設許可はチョリージョス市役所から取得する必要があるため、INR は保健省の協力を仰ぎ、工事着工前にチョリージョス市役所から建設許可を取得する。

### （５）インフラ（電力、上下水道、電話など）の接続手続き

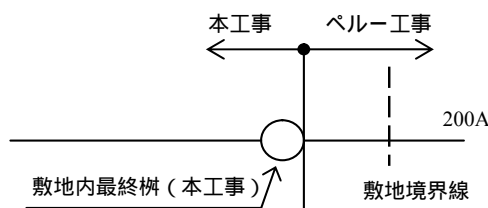
#### 1) 給水工事区分

INR がリマ水道公社（SEDAPAL）に申請する。工事区分は以下に示すとおりである。



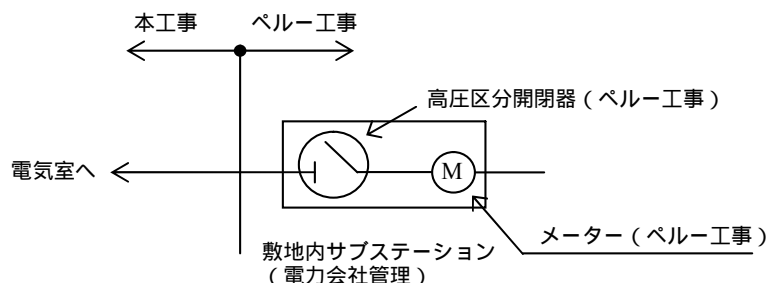
#### 2) 排水工事区分

INR がリマ水道公社（SEDAPAL）に申請する。工事区分は以下に示すとおりである。



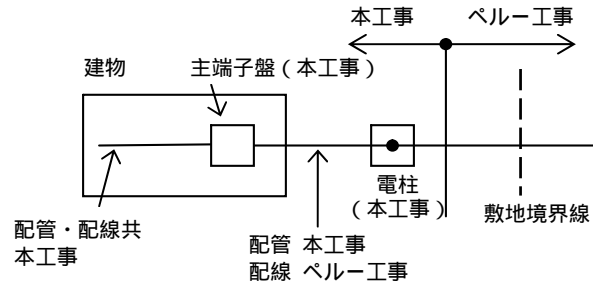
#### 3) 電気工事区分

INR がルス・デル・スール電力会社に申請する。工事区分は以下に示すとおりである。



#### 4) 電話工事区分

INR がテレホニカ又はテレメックスに申請する。工事区分は以下に示すとおりである。



#### (6) 仮設電力・給水設備の確保

INR は施設建設工事に使用する仮設電力および上水道を電力会社および水道公社に申請する。工事期間中の電力・上水の使用料は建設会社が負担する。

#### (7) 資材置場、作業場所の確保

INR は施設建設工事のための資材置場、作業場所を建設会社の要請に基づいて建設地内もしくは近隣に確保する。

#### (8) 銀行取極め、支払授權書の発給

INR もしくは保健省は、コンサルタント契約・業者契約に基づく銀行取極め、支払授權書の発給を速やかに行う。

#### (9) 本計画実施の業務遂行のためにペルー国に出国し、滞在する日本人技術者に対する入国および滞在に必要な便宜供与

#### (10) 日本側負担以外の全ての経費負担

### 3 - 3 - 2 負担事業

#### (1) 事業実施前

##### 1) 建設予定地の整地工事

建設予定地は、国防省が操車場、車両ワークショップとして使用していた土地であるため、既存建屋および地下構造物があると共に、全面アスファルト舗装で覆われている。施設の全体計画に合わせてペルー国側は既存建屋、地下構造物およびアスファルト舗装、フェンスの撤去などを実施すると共に、配置計画図に指示されている地盤レベルに合わせた造成工事を日本側工事の開始前に行う必要がある。

##### 2) 建設許可の発行

INR は保健省の協力を得て施設計画図書から必要なものを選択し、チョリジョス区に建設許可を申請し、取得する。

### 3) 免税措置のための予算措置

保健省は日本側協力対象施設の建設および機材調達の国内税（付加価値税等）還付に必要な資金の予算措置を行う。また、関税局での免税措置を行う。

### 4) 銀行取極め、支払授權書の発給のための銀行手数料の予算措置

本案件のコンサルタント、建設業者および機材調達業者のための銀行取極め、支払授權書発給に要する銀行手数料(過去の案件の例から、契約金額の約0.2%程度)の予算措置を行う。

### 5) 日本側協力対象施設以外の施設設計

コンサルタントは日本側協力対象施設の4棟および協力範囲の外構工事の設計監理業務を行う。管理・研修棟、病棟B・C、一般サービス棟B、精神機能障害治療棟および解剖・病理棟の6棟と日本側協力他範囲外の外構工事の設計・監理業務は、ペルー国保健省もしくはINRの責任で行われる。保健省もしくはINRは、日本側協力対象施設4棟の設計コンセプトをペルー側施設にも生かす予定であり、基本設計調査報告書を参考にペルー側施設の設計を行う必要がある。日本側協力対象施設の設計・監理を行うコンサルタントがアドバイザーとしてペルー側施設設計に協力することで、設計コンセプトの統一を図る。

### 6) 日本側協力対象機材以外の機材・家具・備品の予算措置

日本側の協力対象施設を含め、移転後のINRの運営に必要な日本側協力対象機材以外の機材・家具・備品を調達するための予算措置を行う。

## (2) 事業実施中

### 1) 日本側協力対象施設以外の施設の建設、必要機材・家具の調達

日本側協力対象施設以外の管理・研修棟、病棟B・C、一般サービス棟B、精神機能障害治療棟および解剖・病理棟の建設と必要機材・家具を調達する。

### 2) 日本側協力対象外の外構・インフラ工事

日本側協力対象外の外構工事（駐車場、フェンス、道路等）とインフラ工事を行う。

### 3) インフラの接続

本プロジェクトで建設される施設に必要な電力、上下水道、電話の接続工事を行う。

### 4) 関税の免税措置

関税局に免税措置を申請する。

### 5) 国内税の還付

前述した付加価値税等を建設業者、機材調達業者に還付する。

### 6) 銀行手数料の支払い

コンサルタント、建設業者、機材調達業者の契約金支払いに必要な銀行手数料を支払う。

7) 植栽

施設建設、外構工事の計画に合わせて植栽計画を作成し、植栽工事を行う。

(3) 事業実施後

1) 既存機材・家具の移設

日本側協力対象施設が完成した後に、既存 INR にある既存機材・家具を新築施設に移設する。

2) 移転

INR は施設建設および調達機材の据付・試運転が完了した後に、カジャオ市の既存 INR 施設からチョリージョス区の新 INR 施設へ移転業務を実施する。

3) 運営・維持管理費の確保

移転後の運営・維持管理費を INR は保健省に申請し、確保する。

### 3 - 4 プロジェクトの運営・維持管理計画

#### (1) 組織と要員計画

前述のように、本計画の主管官庁は保健省、実施機関は INR で、ペルー側負担事業を実施する。移転新築後は INR がその運営・維持管理に当たる。

INR は保健省次官室の直属の独立機関として位置付けられている 8 つの専門医療機関の一つである。同専門医療機関は各専門医療分野のペルー国保健省管轄のトップレファラル機関である。

2006 年度の INR 組織と各部門への人員配置は以下のとおりである。

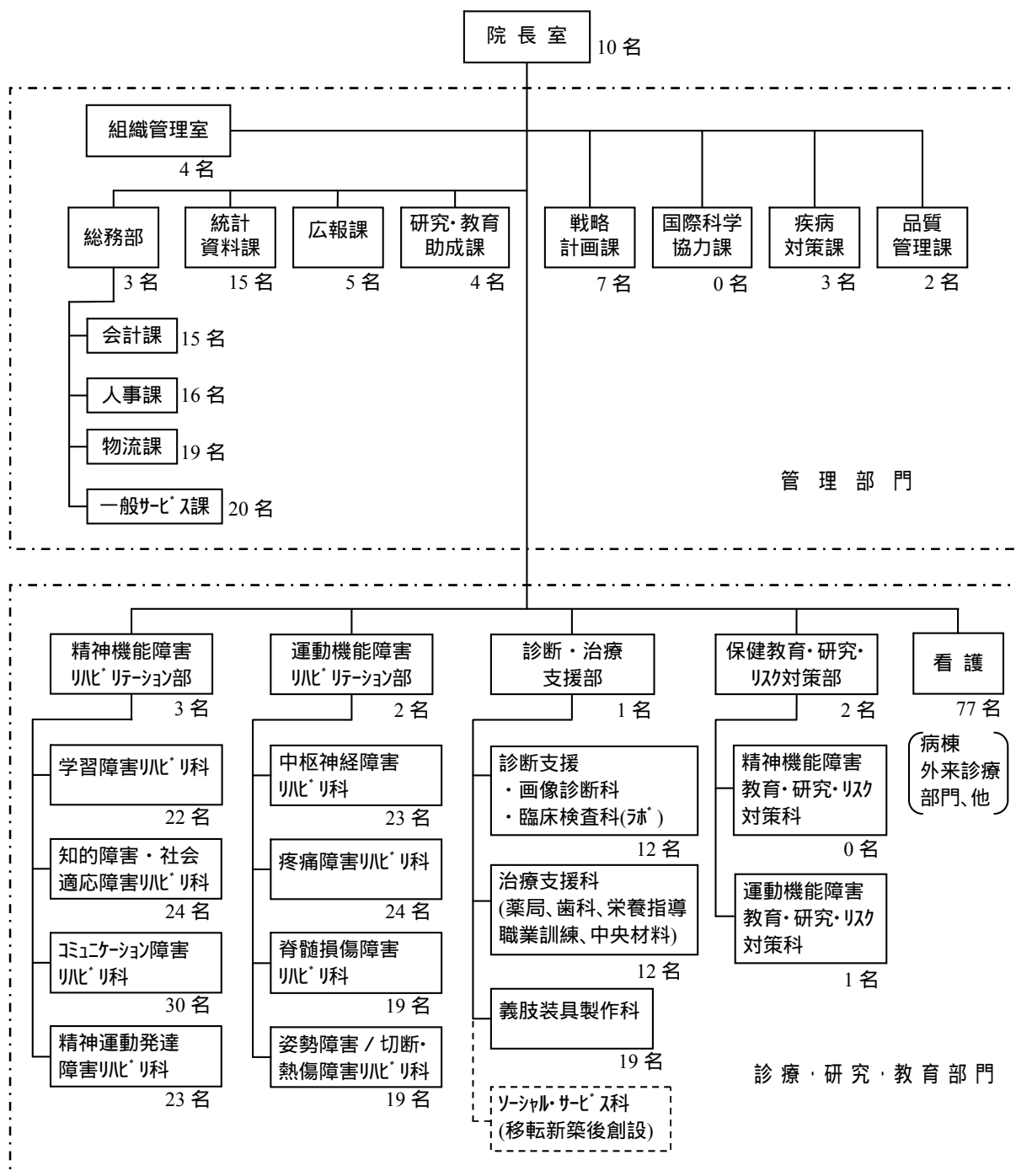


図 - 22: INR 組織とスタッフ配置図

2006年度のINRは上図に示されたとおり合計437名の要員で運営されていた。2007年度には既に457名と約20名が増員されている。INRは移転新築後に350名の増員を以下の内容で計画している。

|              |      |
|--------------|------|
| 管理部門（院長室を含む） | 12名  |
| 外来診療部門       | 142名 |
| 診断・治療支援部門    | 70名  |
| 手術センター       | 29名  |
| 予防・リスク対策部    | 4名   |
| 病棟看護部門       | 63名  |
| 教育・研究部門      | 18名  |
| 一般サービス部門     | 12名  |
| 合 計          | 350名 |

施設規模が約2.4倍に拡大し、外来診療部門に水治療プールが、画像診断科にCTが加わるなど、外来診療機能が充実することを考慮すれば、妥当な増員計画と思われる。

なお、現在精神機能障害リハビリ部および運動機能障害リハビリ部各科に分散配置されているソーシャル・ワーカーは、診断・治療支援部にソーシャル・サービス科を移転後創設する計画である。2007年度現在ソーシャル・ワーカーは16名であるが、移転後には2名増員され、18名となる計画である。

## （2）維持管理計画

### 1）施設の維持管理計画

既存INRでは、総務部一般サービス課に所属する施設管理要員7名（大工、配管工、電工など）で施設の維持管理業務を行っている。同要員は機械の軽微な補修などにとどまらず、2階建ての倉庫・研修室の建設まで実施できる技量を持ち合わせている。移転新築後は、同要員に2名の技能者を追加して、施設の維持管理業務を行う予定である。新築される施設は現地工法・材料を採用すると共に、熱源であるボイラーも既存INRと同じ蒸気ボイラー（オイル使用）と、システムも同じであるため、現要員に2名が加わる施設維持管理体制で十分に保守管理は遂行できる。

建物の清掃および庭の管理については、現在INRは外注契約で実施しており、大変きれいに整備されている。移転新築後も同業務に関しては外注契約を継続する予定である。

### 2）機材の維持管理計画

現在、INRでは既存機材に機材番号を貼付するなど、最低限の管理は行っている。また、軽微な機材故障などはINR内のメンテナンス部門が対応している。

ただ、管理体制、メンテナンス部の人員、修理用機材等は十分とはいえない。

従って、本プロジェクト実施後は、機材管理体制の整備、メンテナンス部門の強化などを行い、継続的な維持管理体制を整備するよう提言する。



(3) 財務計画

1) INR の運営費

ペルー国における会計年度は1月1日～12月31日であり、INR を含め保健省の各機関は7月に次年度の予算を保健省に申請し、保健省財務部門との交渉を重ね、12月に次年度予算が決定される。

INR の2002～2006年度執行予算の実績は、以下の通りである。

表 - 19 : INR の2002～2006年度執行予算実績 (単位:ソール)

| 費目           | 2002                  | 2003                  | 2004                  | 2005                  | 2006                  |
|--------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| A.人件費        | 6,763,251             | 7,348,961             | 8,075,040             | 8,787,300             | 8,983,135             |
| 1) 保健省交付金    | 5,829,150             | 7,347,569             | 7,846,997             | 7,365,135             | 7,598,411             |
| 2) 運営収入からの補充 | 934,101               | 1,392                 | 228,043               | 1,422,165             | 1,384,724             |
| B.社会保障、他     | 1,096,665             | 1,082,285             | 1,056,419             | 1,149,611             | 1,133,529             |
| 1) 保健省交付金    | 1,095,566             | 1,075,480             | 1,056,409             | 1,149,581             | 1,136,153             |
| 2) 運営収入からの補充 | 1,099                 | 6,805                 | 10                    | 30                    | -2,624                |
| C.光熱費、外注費、他  | 5,177,501             | 6,104,877             | 6,212,942             | 6,096,684             | 5,206,741             |
| 1) 保健省交付金    | 4,240,817             | 4,592,967             | 4,209,004             | 4,598,695             | 4,453,476             |
| 2) 運営収入からの補充 | 936,684               | 1,511,910             | 2,003,938             | 1,497,989             | 753,265               |
| D.雑費         | 136,571               | 227,271               | 648                   | 949                   | 4,235                 |
| 1) 保健省交付金    | 13,657                | 224                   | 648                   | 949                   | 4                     |
| 2) 運営収入からの補充 | 122,914               | 227,047               | 0                     | 0                     | 4,231                 |
| E.投資(機材他)    | 385,519               | 367,416               | 807,896               | 246,118               | 204,244               |
| 1) 保健省交付金    | 0                     | 0                     | 13                    | 246                   | 135                   |
| 2) 運営収入からの補充 | 385,519               | 367,416               | 807,883               | 245,872               | 204,109               |
| 合計予算         | 13,559,507            | 15,130,810            | 16,152,945            | 16,280,662            | 15,531,884            |
| 1) 保健省交付金    | 11,179,190<br>(82.4%) | 13,016,016<br>(86.0%) | 13,112,423<br>(81.2%) | 13,113,657<br>(80.5%) | 13,188,175<br>(84.9%) |
| 2) 運営収入からの補充 | 2,380,317<br>(17.6%)  | 2,114,794<br>(14.0%)  | 3,040,522<br>(18.8%)  | 3,167,005<br>(19.5%)  | 2,343,709<br>(15.1%)  |

出典：保健省および INR の質疑回答書を基に作成

上表から、INR の運営予算は保健省からの交付金約 83% (5年間平均) と運営収入約 17% (5年間平均) で構成されていることが理解できる。その中で、予算の大半を占める A. 人件費、B. 社会保障他、C. 光熱費、外注費他は、ほぼ保健省からの交付金でまかなわれ、D. 雑費および E. 投資(機材)を INR の運営収入でまかなっている。

つまり、INR のような保健省内の独立機関では、保健省で承認されている要員に係る A. 人件費と B. 社会保障他、および C. 光熱費、外注費他、などの固定費は保健省が主管官庁としてその大半の費用を負担しているが、運営収入の用途である D. 雑費および E. 投資(機材)などの変動費は保健省への報告義務はあるものの、INR が裁量できる費目である。

## 2) 移転後の増額予算

### 人件費

前述したように、INR はプロジェクトが完成し、運営を移転する 2011 年度までに 350 名の要員増を計画している。2007 年度の要員が 457 名で人件費が 9,648,000 ソーレスであるため、2007 年度の平均給与は約 2,100 ソーレス / 人・年である。人件費は約 7.4%の上昇傾向であるため、2011 年度では約 2,600 ソーレス / 人・年と想定される。このため、2011 年度には  $2,600 \times 350 = 910,000$  ソーレスの増額が必要となる。

### 光熱費

移転新築後の INR の光熱費（水道料金、電気料金、電話料金、燃料費）は以下のよう  
に試算される。

#### a) 水道料金

|        |  |          |                           |
|--------|--|----------|---------------------------|
| 1 日使用量 | 164m <sup>3</sup> /日                                   | プール水取替え量 | 29m <sup>3</sup> /回       |
|        | 164m <sup>3</sup> /日 × 365 日/年                         |          | = 59,860m <sup>3</sup> /年 |
|        | 29m <sup>3</sup> /回 × 12 回/年                           |          | = 348m <sup>3</sup> /年    |
|        | 59,860m <sup>3</sup> /年 + 348m <sup>3</sup> /年         |          | = 60,208m <sup>3</sup> /年 |
| 従量料金   | 1.749 s/m <sup>3</sup>                                 | 税        | 19%                       |
|        | 60,208m <sup>3</sup> /年 × 1.749S/m <sup>3</sup> × 1.19 |          | = 125.312 s/年             |
|        |  |          | 126,000 s/年               |

#### b) 電気料金

|       |                                     |      |               |   |     |
|-------|-------------------------------------|------|---------------|---|-----|
| 使用容量  | 520Kw                               | 月使用量 | 182,000KwH/月  |   |     |
| 基本料金  | 38.6891s/KwH                        | 従量料金 | 0.1181s/KwH   | 税 | 19% |
| 基本料金： | 520Kw × 38.6891s/KwH × 12 × 1.19    |      | = 287,290 s/年 |   |     |
| 従量料金： | 182,000Kw × 0.1181s/KwH × 12 × 1.19 |      | = 306,937 s/年 |   |     |
|       | 287,290 s/年 + 306,937 s/年           |      | = 594,227 s/年 |   |     |
|       |                                     |      | 595,000 s/年   |   |     |

#### c) 電話料金

現在は外線 5 回線、本計画外線 10 回線、現在の年間金額の 1.5 倍とする。

$$74,565 \text{ s/年} \times 1.5 = 111,848 \text{ s/年} \quad 112,000 \text{ s/年}$$

#### d) 燃料費

|            |  |         |                |
|------------|--|---------|----------------|
| ボイラ用オイル使用量 | 132.6 l/h                                  | 1 日使用時間 | 6 時間           |
| 単価         | 12.1 s/gal (税 19%含む)                       |         |                |
|            | 132.6 l/h × 6h × 25 日/月 × 12 ÷ 4.546 l/gal |         | = 52,503 gal/年 |
|            | 52,503 gal/年 × 12.1 s/gal                  |         | = 635,286 s/年  |
|            |  |         | 636,000 s/年    |

上記にて算出された光熱費を 2006 年度の既存 INR での光熱費と比較すると、以下のとおり、現状に比べ約 1,020,000 ソーレスの増額となる。

| 費目 | 2006年度    | 2011年度      | 差額                         |
|----|-----------|-------------|----------------------------|
| 水道 | 94,876.5  | 126,000.0   | 31,123.5                   |
| 電気 | 120,896.5 | 595,000.0   | 474,103.5                  |
| 電話 | 74,565.0  | 112,000.0   | 37,435.0                   |
| 燃料 | 158,820.0 | 636,000.0   | 477,180.0                  |
| 合計 | 451,164.0 | 1,471,011.0 | 1,019,847.0<br>1,020,000.0 |

(単位：ソース)

## 外注費

INR は給食業務、屋内外の清掃業務、警備業務を外注委託しており、移転後もそれら業務の外注委託を継続する計画である。

### a) 給食業務

2007年7月～2008年6月までの1年間の給食業務の外注費は341,324.40ソースであった。同外注には食材費、人件費、ガス料金が含まれている。2011年度までには職員が350名増員となると共に入院患者が32人から114人と増加することを考慮すると、概略現状の給食業務の外注費から約3倍程度の1,024,000ソースになると想定される。

$$341,324.40\text{s/年} \times 3 = 1,023,973.2 \text{ s/年} \qquad 1,024,000 \text{ s/年}$$

### b) 屋内外の清掃業務

2007年4月～2008年4月までの1年間の屋内外清掃業務の外注費は430,534.36ソースであった。移転後の施設面積は現状の約2.4倍であり、庭部分も約3.5倍程度となることから、2011年度には、現状の約3倍の1,292,000ソースが屋内外の清掃業務の外注費と想定される。

$$430,534.36\text{s/年} \times 3 = 1,291,603.08\text{s/年} \qquad 1,292,000 \text{ s/年}$$

### c) 警備業務

2007年5月～2008年5月までの1年間の警備業務の外注費は251,982.12ソースであった。移転後には施設規模も2.4倍となり、敷地も約3.7ヘクタールに拡大することを考慮し、現状に比べ1.5倍程度の378,000ソースが警備業務の外注費と想定される。

$$251,982.12\text{s/年} \times 1.5 = 377,973.18\text{s/年} \qquad 378,000 \text{ s/年}$$

上記にて想定される外注費を現状(2007年度)の既存INRでの外注費と比較すると、以下のとおり現状に比べ約1,670,000ソースの増額となる。

| 費目       | 2007年度       | 2011年度      | 差額                              |
|----------|--------------|-------------|---------------------------------|
| 給食業務     | 341,324.40   | 1,024,000.0 | 682,675.60                      |
| 屋内外の清掃業務 | 430,534.36   | 1,292,000.0 | 861,465.64                      |
| 警備業務     | 251,982.12   | 378,000.0   | 126,017.88                      |
| 合計       | 1,023,840.88 | 2,694,000.0 | 1,670,159.12<br>( 1,670,000.00) |

(単位：ソース)

## 機材の維持管理費

計画機材は一部の機材を除き、更新機材が中心であり、本計画実施後に新たに増額となる運営維持経費は、以下に示すとおりと推定される。

### a) 消耗品

| コード番号 | 機材名                          | 計画数量 | 消耗品/<br>保守部品など | 年間推定<br>必要数量 | 単価(円)      | 合計                         |
|-------|------------------------------|------|----------------|--------------|------------|----------------------------|
| C-47  | 移動型無影灯                       | 1    | 電球             | 1            | 7,200      | 7,200                      |
| D-10  | 下部尿路機能検査装置                   | 1    | 記録紙            | 10           | 500        | 5,000                      |
|       |                              |      | 筋電パッド50枚       | 10           | 7,500      | 75,000                     |
|       |                              |      | CMG検査用カテーテル10個 | 5            | 60,000     | 300,000                    |
| D-12  | CTスキャナー                      | 1    | フィルム100枚/箱     | 20           | 40,000     | 800,000                    |
| D-15  | 一般用X線撮影装置                    | 1    | X線管球           | 1/3          | 10,000,000 | 3,334,000                  |
| D-20  | 蒸留水製造装置                      | 1    | フィルター          | 12           | 100,000    | 1,200,000                  |
| D-25  | 安全キャビネット                     | 1    | HEPAフィルター      | 1            | 197,000    | 197,000                    |
|       |                              |      | 蛍光灯40Wx2灯      | 10           | 1,000      | 10,000                     |
|       |                              |      | 殺菌灯15Wx2灯      | 10           | 6,000      | 60,000                     |
| P-25  | 工業用マシンセット(厚物用筒型総合送りテープ取りマシン) | 2    | 糸              | 10           | 1,000      | 10,000                     |
|       |                              |      | 交換部品一式         | 1            | 260,000    | 260,000                    |
| P-27  | 革漉機                          | 1    | 替え刃            | 10           | 3,000      | 30,000                     |
| P-44  | 靴部品縫製機セット                    | 1    | 糸              | 10           | 1,000      | 10,000                     |
|       |                              |      | 交換部品一式         | 1            | 100,000    | 100,000                    |
| P-45  | 多ヘッド研磨機                      | 1    | 替え砥石           | 10           | 3,000      | 30,000                     |
| P-46  | 出し縫マシン                       | 1    | 糸              | 10           | 1,000      | 10,000                     |
|       |                              |      | 交換部品一式         | 1            | 250,000    | 250,000                    |
| P-47  | 靴底縫い用マシン                     | 1    | 糸              | 10           | 1,000      | 10,000                     |
|       |                              |      | 交換部品一式         | 1            | 250,000    | 250,000                    |
| 合 計   |                              |      |                |              |            | 7,948,200<br>( 209,000s/.) |

### b) 年間保守契約費用

CT、一般用X線撮影装置、高圧蒸気滅菌器、洗濯機など大型機器に関しては、メーカーあるいは取り扱い代理店と年間保守契約を締結することが望ましい。これらの費用は、料率8%とした場合、概算で約5,000,000円・年(約132,000ソール)が見込まれる。

本計画完成後は、毎年、上記 a)及び b)の合計約341,000ソールの増額が現状に比べ必要となる。

### 3) 移転後の見通し

本計画は2010年末頃に完成が予定され、INRがカジャオ市の既存施設からチョリージョス区の新施設に全面移転して運営を開始するのは2011年度の予定である。2007年から2010年度までの4年間は既存施設での運営が継続される。上記の表-19: INRの2002~2006年度執行予算実績から、今後の各費目に関する傾向および予想金額を想定した試算の前提条件は、以下のとおりである。

- A. 人件費： 年平均7.4%の増加傾向で推移。
- B. 社会保障、他： 年平均0.94%の増加傾向で推移。
- C. 光熱費、外注費、他： 年平均0.80%の増加傾向で推移。
- D. 雑費： 各年度の金額に特定の傾向が認められないため、5年間の平均金額を今後の予想金額と仮定。約74,000s/年
- E. 機材費： 各年度の金額に特定の傾向が認められないため、5年間の平均金額を

今後の予想金額と仮定。約 402,000s/年

上記想定を基にした 2007 年から 2010 年の INR の運営支出は、以下のとおりに想定される。

表 - 20 : INR の 2007 ~ 2010 年度予算想定

(単位 : ヲ-ス)

| 費目                 | 2007       | 2008       | 2009       | 2010       |
|--------------------|------------|------------|------------|------------|
| A. 人件費             | 9,648,000  | 10,362,000 | 11,129,000 | 11,953,000 |
| B. 社会保障、他          | 1,145,000  | 1,156,000  | 1,167,000  | 1,178,000  |
| C. 光熱費、外注費、他       | 5,249,000  | 5,291,000  | 5,333,000  | 5,376,000  |
| D. 雑費              | 74,000     | 74,000     | 74,000     | 74,000     |
| E. 機材費             | 402,000    | 402,000    | 402,000    | 402,000    |
| 合計                 | 16,518,000 | 17,285,000 | 18,105,000 | 18,983,000 |
| 1) 保健省交付金 (83%)    | 13,710,000 | 14,347,000 | 15,027,000 | 15,756,000 |
| 2) 運営収入からの補充 (17%) | 2,808,000  | 2,938,000  | 3,078,000  | 3,227,000  |

2011 年度からは移転後の施設規模の拡大および活動の活性化により A. 人件費約 9,100,000s/年、C. 光熱費、外注費他に約 2,690,000s/年、E. 機材費に約 341,000s/年の増額が見込まれる。それらと毎年の傾向を加味した 2011 年から 2016 年の 6 年間の INR の運営支出は、以下のとおりに想定される。

表 - 21 : INR の 2011 ~ 2016 年度予算想定

(単位 : ヲ-ス)

| 費目                 | 2011       | 2012       | 2013       | 2014       | 2015       | 2016       |
|--------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| A. 人件費             | 21,938,000 | 23,561,000 | 25,305,000 | 27,178,000 | 29,189,000 | 31,349,000 |
| B. 社会保障、他          | 1,189,000  | 1,200,000  | 1,211,000  | 1,223,000  | 1,234,000  | 1,246,000  |
| C. 光熱費、外注費、他       | 8,109,000  | 8,174,000  | 8,239,000  | 8,305,000  | 8,371,000  | 8,438,000  |
| D. 雑費              | 74,000     | 74,000     | 74,000     | 74,000     | 74,000     | 74,000     |
| E. 機材費             | 743,000    | 743,000    | 743,000    | 743,000    | 743,000    | 743,000    |
| 合計                 | 32,053,000 | 33,752,000 | 35,572,000 | 37,523,000 | 39,611,000 | 41,850,000 |
| 1) 保健省交付金 (83%)    | 26,604,000 | 28,014,000 | 29,525,000 | 31,144,000 | 32,877,000 | 34,736,000 |
| 2) 運営収入からの補充 (17%) | 5,449,000  | 5,738,000  | 6,047,000  | 6,379,000  | 6,734,000  | 7,115,000  |

出典 : 質疑回答書を基に作成

一方、過去 5 年間 (2002 ~ 2006 年) の国家予算、保健省予算、INR 予算の推移を以下の表に示す。

表 - 22 : 過去 5 年間の国家予算、保健省予算、INR 予算の推移

(単位 : ヲ-ス)

|           | 2002           | 2003           | 2004           | 2005           | 2006           | 平均%   |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|
| A. 国家予算   | 35,771,987,911 | 44,516,006,305 | 44,115,387,252 | 49,117,162,238 | 50,862,269,961 |       |
| 国家予算の伸率   | 100            | 124            | 99             | 111            | 104            | 109.5 |
| B. 保健省予算  | 1,977,691,877  | 2,099,632,887  | 2,109,915,487  | 2,242,619,425  | 2,473,890,878  |       |
| % (B/A)   | 5.5            | 4.7            | 4.8            | 4.6            | 4.9            | 4.9   |
| C. INR 予算 | 13,559,507     | 15,130,810     | 16,152,945     | 16,280,662     | 15,531,884     |       |
| % (C/B)   | 0.69           | 0.72           | 0.77           | 0.73           | 0.63           | 0.71  |

出典 : 質疑回答書を基に作成

上表から国家予算の上昇傾向は年平均約 9.5% 増であり、保健省予算も国家予算に対して平

均 4.9%と読み取れる。同傾向が継続するものと仮定した場合の 2011～2016 年度の国家、保健省および INR の推定予算は、以下のとおりである。

表 - 23 : 2011～2016 年度の国家予算、保健省予算の推定 (単位: ヲ-ス)

|           | 2011           | 2012           | 2013           | 2014            | 2015            | 2016            |
|-----------|----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| A. 国家予算   | 80,435,637,719 | 88,157,458,940 | 96,620,574,998 | 105,896,150,198 | 116,062,180,617 | 127,204,149,956 |
| B. 保健省予算  | 3,142,374,777  | 3,296,351,141  | 3,457,872,347  | 3,627,308,092   | 3,805,046,189   | 3,991,493,452   |
| C. INR 予算 | 32,053,000     | 33,752,000     | 35,572,000     | 37,523,000      | 39,611,000      | 41,850,000      |
| % (C/B)   | 1.02           | 1.02           | 1.03           | 1.03            | 1.04            | 1.05            |

本計画完了後には、既存 INR に比べ施設規模が約 2.4 倍に拡充し、受け入れ患者数および診療数も大幅に増加することから、2011 年度以降保健省予算に占める INR 予算の割合は現状よりも増加するが、INR 予算は保健省予算の 1.03%に過ぎず、保健省にとって過度な負担とはなりえない。

一方、INR の 2002～2007 年の運営収入の実績は下表の通りである。

表 - 24 : INR の 2002～2007 年度運営収入実績 (単位: ヲ-ス)

| 費目                            | 2002      | 2003      | 2004      | 2005      | 2006      | 2007      |
|-------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| A. 診療報酬                       | 569,906   | 547,506   | 502,377   | 500,558   | 475,008   | 401,398   |
| B. 検査収入 (X 線、 $\beta$ )       | 308,308   | 319,239   | 278,915   | 288,080   | 251,006   | 174,036   |
| C. 入院報酬                       | 178,053   | 222,210   | 183,473   | 160,893   | 224,518   | 234,226   |
| D. 義肢装具販売額                    | 282,951   | 277,517   | 212,995   | 261,525   | 273,030   | 199,147   |
| E. 薬局                         | 107,983   | 184,452   | 204,281   | 221,549   | 197,514   | 160,465   |
| F. その他                        | 977,115   | 1,078,909 | 1,116,312 | 1,142,534 | 1,197,761 | 2,552,688 |
| 合計                            | 2,424,315 | 2,629,833 | 2,498,353 | 2,575,138 | 2,618,837 | 3,721,959 |
| INR 年度執行予算に対する<br>運営収入からの補充実績 | 2,380,317 | 2,114,794 | 3,040,522 | 3,167,005 | 2,343,709 | 未確定       |

出典: 質疑回答書を基に作成

本プロジェクトの完成により、新規に CT 撮影機や治療用プールが導入されること、病床が 3 倍強に増床されることなど、運営が拡充した後の 2011～2016 年の INR の運営収入は、以下のように推計される。

表 - 25 : INR の 2011～2016 年度運営収入推定 (単位: ヲ-ス)

| 費目                             | 2011      | 2012      | 2013      | 2014      | 2015      | 2016      |
|--------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| A. 診療報酬                        | 652,000   | 717,000   | 789,000   | 868,000   | 955,000   | 1,051,000 |
| B. 検査収入 (X 線、 $\beta$ )        | 925,000   | 1,018,000 | 1,120,000 | 1,232,000 | 1,355,000 | 1,491,000 |
| C. 入院報酬                        | 762,000   | 838,000   | 922,000   | 1,014,000 | 1,115,000 | 1,227,000 |
| D. 義肢装具販売額                     | 389,000   | 428,000   | 471,000   | 518,000   | 570,000   | 627,000   |
| E. 薬局                          | 261,000   | 287,000   | 316,000   | 348,000   | 383,000   | 421,000   |
| F. その他                         | 2,763,000 | 3,039,000 | 3,343,000 | 3,677,000 | 4,045,000 | 4,450,000 |
| 合計                             | 5,752,000 | 6,327,000 | 6,961,000 | 7,657,000 | 8,423,000 | 9,267,000 |
| INR 予算に対する運営収入<br>からの補充推定(17%) | 5,449,000 | 5,738,000 | 6,047,000 | 6,379,000 | 6,734,000 | 7,115,000 |
| 運営収入の余剰金<br>(合計 - 補充)          | 303,000   | 589,000   | 914,000   | 1,278,000 | 1,689,000 | 2,152,000 |

出典: 質疑回答書を基に作成

機材はいずれ老朽化により使用できなくなるため、原則として、毎年機材更新費用を予算化すべきである。機材の耐久年数は、各機材により大きく異なるが、INRにおける既存機材の現状から類推して、ベッドなどの簡易な物を除き、8年程度は十分に機能すると思われる。このことから、機材更新費用は該当機材総額の1/8程度が妥当と思われ、概算で約25,000,000円・年（約657,000円/人）が見込まれる。

2011年度以降のINRの予算も現状と変わらず、保健省の交付金83%とINRの運営収入からの補充17%で構成された場合には、毎年運営収入の余剰金があることが予想され、それらを積み立てることで機材の更新費用に充てることも可能であると思料する。

### 3 - 5 プロジェクトの概算事業費

#### 3 - 5 - 1 協力対象事業の概算事業費

日本の無償資金協力により、協力対象事業を実施する場合に必要な事業費について、日本とペルー国との負担区分に基づく事業費の内訳は、下記(3)に示す積算条件によれば、次のとおりと見積もられる。ただし、この額は交換公文上の供与限度額を示すものではない。

#### (1) 日本側負担経費

概算総事業費                      約 2,041.7 百万円

(建築延床面積：10,729.42m<sup>2</sup>)

| 費 目            |           | 概算事業費(百万円) |         |         |
|----------------|-----------|------------|---------|---------|
| 施設             | 外来診療棟     | 1,300.5    | 1,645.5 | 1,876.8 |
|                | ラボ・中央材料棟  | 66.8       |         |         |
|                | 病棟 A      | 142.0      |         |         |
|                | 一般サービス棟 A | 136.2      |         |         |
| 機 材            |           | 231.3      |         |         |
| 実施設計・施工監理・技術指導 |           |            |         | 164.9   |

#### (2) ペルー国側負担経費

| 種類    | 内容   | 概算金額(千ソール) |
|-------|--|------------|
| 手続き事項 | 1) 用地の確保   | 0          |
|       | 2) 国内税の免税措置  | 6,150      |
|       | 3) 建設許可の取得   | 0          |
|       | 4) 銀行手数料   | 101        |
|       | 5) インフラ(電力、上・下水道、電話など)の接続手続き                           | 0          |
|       | 6) 本プロジェクトの業務遂行のためにペルー国に入国し滞在する日本人に対する入国および滞在に必要な便宜の供与 | 0          |
| 負担事項  | 1) 建設予定地の整地工事  | 2,340      |
|       | 2) ペルー側負担施設の設計監理業務                                     | 536        |
|       | 3) ペルー側負担建物の建設費  | 13,950     |
|       | 4) インフラ(電力、上・下水道、電話など)の接続工事                            | 50         |
|       | 5) 植栽工事  | 14         |
|       | 6) 日本側協力対象範囲外の外構工事                                     | 322        |
|       | 7) 外周フェンス設置工事  | 800        |
|       | 8) 日本側協力対象施設の必要機材・家具・什器の調達                             | 19,465     |
|       | 9) 既存機材・家具の移設工事  | 50         |
| 合 計   |  | 43,778     |

(約 1,636.4 百万円)



( 3 ) 積算条件

積算時点 : 平成 20 年 8 月

為替交換レート : 1US\$ = 105.81 円

1US\$ = 2.83s/.

1s/ = 37.38 円

施工・調達期間 : 16 ヶ月

その他 : 本プロジェクトは、日本国政府の無償資金協力制度に従い実施される。

### 3 - 6 協力対象事業実施に当たっての留意事項

#### ( 1 ) 国内税の免税措置

ペルー国では、国内税として付加価値税（IGV）および自治体促進税（IPM）があり、還付方式で免税措置される。還付手続きは法的に規定され、指針 003-2006-APCI-DE により行われるが、申請から還付まで6ヶ月以上の期間が必要となる。

ペルー国保健省は、過去の無償資金協力案件において、保健省が還付金額をあらかじめ確保し、日本の建設業者および機材調達業者からの還付請求に対して、約2ヶ月で還付に応じた。

本案件に関しても、保健省が還付金額を確保し、国内税の還付を着実に短期間で実施することが必要である。

#### ( 2 ) 建設予定地の整地工事

建設予定地は、国防省が操車場、車両ワークショップとして使用していた約37,000m<sup>2</sup>の敷地である。高低差は最大で約3.0mであるが、既存建屋や地下構造物がある。INRはすでに整地工事の予算は確保しているとの事であるが、配置計画図に指示されている地盤レベルに合わせて造成工事を日本側工事の開始（予定では2009年9月頃）前に完了しておく必要がある。

#### ( 3 ) ペルー国側負担施設的设计および施工

INRは本プロジェクトに関して、ペルー国のSNIP制度に則して既にF/Sの承認を9月9日付で保健省の審査機関であるOPIから取得した。この承認により、本プロジェクトは国家プロジェクトとして認知されており、ペルー側負担施設的设计・監理予算は確保されている。F/Sでの施設设计は、日本側協力対象施設的设计同様、基本设计レベルである。F/Sは、日本側作成の日本側協力対象施設の基本设计概要書を基にして作成され、配置計画はほぼ日本側のコンセプトを忠実に反映している。しかし、インフラ整備（電気設備、上下水道設備、電話設備等）は日本側の设计内容と整合していない部分があるため、実施设计段階では、日本側コンサルタントは保健省施設整備局およびINRを交え、ペルー側コンサルタントとインフラ整備に関する十分な協議・調整が必要である。

またペルー国側は、ペルー側負担施設の建設を日本側協力対象施設の建設と同時に進行させ、竣工時期（2011年1月頃を予定）を合わせる予定である。配置計画は、両国の施工区画を明確に区分することを一つのクライテリアとしているが、同一敷地内での施工となるため、工程管理および安全管理には十分に配慮する必要がある。

#### ( 4 ) 資材置場、作業場所の確保

建設予定地は約37,000m<sup>2</sup>と広大であるが、低層建物（平屋部分が多い）が10棟建設されるため、敷地内にまとまったスペースとしての資材置場、作業場所（鉄筋加工場所、型枠製作場等）を確保することが難しい。

幸い本敷地北側は、チョリジョス区に国防省から移管され、将来バスターミナル建設予定地として現状は更地状態である。保健省は今後、同北側の隣接敷地の一部を建設期間中、資材置場および作業場として確保するようにチョリジョス区役所と協議し、確保する必要がある。

## 第4章 プロジェクトの妥当性の検証

## 第4章 プロジェクトの妥当性の検証

### 4-1 プロジェクトの効果

本プロジェクトの実施による効果は、下表のように整理することができる。

表 - 26 : プロジェクト実施による効果

| 現状と問題点  | 協力対象事業での対策  | 直接効果・改善程度   | 間接効果・改善程度   |
|---|---|---|---|
| リハビリテーション診療に関するトップレファラル機関である INR の施設・機材の不備、不足、老朽化により、質的・量的に十分なリハビリテーション診療サービスが提供できない。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来診療部門の移転新築と機材の整備</li> <li>・ 診療支援部門の移転新築と機材の整備</li> <li>・ 病棟（38 床）の移転新築と機材の整備</li> </ul> | <p>外来診療部門における診察数、治療数が増加する。</p> <p>診療支援部門における検査数、治療数が増加する。</p> <p>入院患者受け入れ能力が増加する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リハビリテーション分野の研究・研修が質量共に充実する。</li> <li>・ 下位の医療施設からのレファラル患者の受け入れ態勢が改善する。</li> </ul> |

#### (1) 直接効果

本プロジェクト実施により、以下の直接的効果が期待できる。

- 1) 既存施設は元来総合病院として建設された建物であることから、精神/運動の両機能障害診察室・治療室がばらばらに配置されており、非効率的な診察・治療、患者動線を余儀なくされているが、本計画により各診察・治療室が纏めて配置されて、効率的な診療が可能な施設となる。このことから、2006 年度時点に比べ INR の診療サービスである診察数、治療数は移転新築 2 年後の 2012 年度には外来診療部門および診療支援部門における診察数・治療数が大幅に増加する。
- 2) 移転新築後に新たに導入される水治療用プールを活用することで、運動および精神機能障害者に対する治療をより効果的に実施することができる。
- 3) 既存病棟は 32 床であるが、日本側 38 床、ペルー側 76 床の合計 114 床の規模の病棟を建設することで、現在は容量面から受け入れられない入院を要する患者への対応が可能となる。
- 4) 診断・治療機材の不足・老朽化により適切な診断・治療を提供できない現状が、必要機材の更新・補強により改善される。

#### (2) 間接効果

本プロジェクト実施により、以下の間接効果が期待できる。

- 1) INR はペルー国のトップレファラル・リハビリテーションセンターとして全国のリハビリテーションセンターを指導していると共に、リハビリテーション診療の研究・研修も合わせて行っている。施設・機材の拡充により、INR が実施するリハビリテーション分野の研究・

研修が質量共に充実する。

- 2) 患者受け入れ量の拡大および CT や水治療プールの導入に伴う医療の質の向上を通じ、下位の医療施設からのレファラル患者の受け入れ態勢が改善する。

(3) 成果指標の策定

INR では統計資料課が活動の実績を把握し、毎年保健省に報告している。日本側協力対象事業の外来診療棟およびラボ・中央材料棟の移転新築により、外来診療部門および診療支援部門における以下の診察数、治療数および検査数については各科ごとに年間の実績数を成果指標とすることが妥当であり、その実績は毎年度の統計・資料課の保健省への報告により把握できる。また、その評価時期は本プロジェクトの完成 2 年後の 2012 年度が適切である。

| 成果指標              | 現状 (2006 年度) | プロジェクト後 (2012 年度) |  |
|-------------------|--------------|-------------------|--|
| 精神機能障害リ八部         |              |                   |  |
| 診察サービス            |              |                   |  |
| 学習障害リ八科診察数        | 4,249        | 増加する              |  |
| コミュニケーション障害リ八科診察数 | 4,988        |                   |  |
| 精神運動障害リ八科診察数      | 3,708        |                   |  |
| 知的社会適応障害リ八科診察数    | 2,001        |                   |  |
| 治療サービス            |              |                   |  |
| 学習障害リ八科治療数        | 20,907       |                   |  |
| コミュニケーション障害リ八科治療数 | 41,134       |                   |  |
| 精神運動障害リ八科治療数      | 19,607       |                   |  |
| 知的社会適応障害リ八科治療数    | 25,864       |                   |  |
| 運動機能障害リ八部         |              |                   |  |
| 診察サービス            |              |                   |  |
| 姿勢障害/切断・熱傷リ八科診察数  | 988          |                   |  |
| 運動器官と疼痛障害リ八科診察数   | 6,178        |                   |  |
| 脊髄損傷障害リ八科診察数      | 867          |                   |  |
| 中枢神経障害リ八科診察数      | 3,078        |                   |  |
| 治療サービス            |              |                   |  |
| 身体機能障害治療数         | 77,175       |                   |  |
| 作業療法治療数           | 20,488       |                   |  |
| 診断・治療支援部          |              |                   |  |
| 栄養指導回数            | 1,302        |                   |  |
| ソーシャルサービス回数       | 18,756       |                   |  |
| 精神療法サービス回数        | 17,209       |                   |  |
| 歯科治療回数            | 1,572        |                   |  |
| 画像診断数             | 7,259        |                   |  |
| 視聴覚検査数            | 723          |                   |  |
| 電気診断数 (筋電図)       | 767          |                   |  |
| 臨床検査数 (検体数)       | 16,748       |                   |  |
| レーザー治療回数          | 6,692        |                   |  |
| 義肢・装具製作数          | 607          |                   |  |

## 4 - 2 課題・提言

### 4 - 2 - 1 相手国側の取り組むべき課題・提言

本プロジェクトの実施による施設・機材を最大限に活用し、その効果を発現・持続するためにペルー国側が取り組むべき課題を以下に提言する。

#### ( 1 ) 運営予算の確保

INR は診療報酬などの運営収入があり、施設・機材の充実でプロジェクト完成後は同運営収入の増額が予想される。

しかし、プロジェクト完成に合わせて現在(2007年度)は457名のスタッフが、2011年度までには350名が増員され総計700名以上のスタッフ数となり、人件費の大幅な増加となる。INRの予算がプロジェクト完成後に大幅に増加することは、F/Sにおいても明記されており、保健省は同F/Sを承認している。プロジェクト完成後も現状と同様、INRの運営予算の83%程度は保健省よりの配布予算で賄われることが望まれる。

#### ( 2 ) INR スタッフのレベル向上

現在INRでは、医師を中心に内部研修が行われている。プロジェクトの完成後には350名の増員が計画されているが、プロジェクト完成が2011年初めとすれば、完成まで2年数ヶ月の期間がある。この期間を有効に使い、現在のスタッフは勿論のこと増員予定のスタッフに対して研修を行って診療レベルの向上に努め、移転新築後のINRの運営を支障なく行えるように準備することが望ましい。

#### ( 3 ) 機材維持管理体制の確立

現在、INRでは保有機材に機材番号を貼付し、機材リストを整備している。また軽微な故障は一般サービス課の技師または技能工が修理している。しかし、機材を一元的に管理する体制は整っていない。プロジェクト完成後は機材を一元的に管理する体制の強化が望まれる。

#### ( 4 ) リハビリテーション診療に関するレファラルシステムの推進

移転新築後の新INRは、リマ首都圏の重度障害者をカバーすることは可能であるが、地方の患者をカバーすることは地理的に困難である。既にINRはリハビリテーション診療のレファラルシステムを構築しているが、保健省は同システムを地方の2次医療機関やヘルスセンターに推進することが必要である。更に、コミュニティーレベルでのリハビリテーション診療を普及させるべく、コミュニティー・ベース・リハビリテーションセンターの設立を推進することが望まれる。

### 4 - 2 - 2 技術協力との連携

第2次基本設計現地調査のミニッツ署名後に、INR院長から基本設計調査団の技術参与が所属する国立身体障害者リハビリテーションセンターに対し、非公式に技術協力の要請があった。

無償資金協力と技術協力では、そのスキームが違ふことを調査団からINR側に説明した。技術協力に関する要請はJICAペルー事務所が窓口であることを説明し、ペルー国側は了解した。ペ

ルー国において、障害を持つ人々に対する医療・福祉サービスの提供体制が INR の移転整備を契機として進展させるために、日本が蓄積してきた政策や実績を技術協力のスキームを利用して技術移転することは大変意義の高いことであると思われる。

INR が希望している技術協力の内容は、概ね以下のとおりである。

- ・ ペルー国の障害者に対する医療・福祉サービス提供体制整備に関する政策立案アドバイス（専門家の派遣）
- ・ INR が実施または計画しているリハビリ医療に関する技術協力（専門家の派遣、研修員の受け入れなど）
- ・ リハビリ治療後の自立生活支援及び就労支援に関する技術協力

#### 4 - 3 プロジェクトの妥当性

本プロジェクトは、以下に述べる（１）～（５）の検討結果から、我が国の無償資金協力の対象案件として妥当であると判断される。

##### （１）裨益対象

ペルー国において何らかの身体または精神的障害を抱え、専門的な処置が必要とされる障害者は 2007 年度で約 370 万人に上るものと推計されている。INR がペルー国におけるリハビリテーション診療のトップレファラル機関であることから、本プロジェクトの裨益対象は上記約 370 万人の多数のペルー国民である。

##### （２）ペルー国独自での運営可能性

本プロジェクト完成後の施設・機材は、ペルー国保健省からの配布予算と INR の運営収入で十分運営可能である。活動内容は既存 INR で既に行われている診療活動を発展させるものであり、ペルー国内の人材・技術で運営・維持管理が可能である。

##### （３）上位計画との関連性

ペルー国政府は 2006 年 12 月に「ペルー国障害者の 10 年 2007～2016」を策定し、障害者の機会均等を目標としている。本プロジェクトは上記国家計画に対してリハビリテーション診療分野の充実に貢献することができ、上位計画と整合している。

##### （４）プロジェクトの収益性

INR は診療報酬を患者から徴収しているが、この運営収入は保健省からの配布予算を補填するために使用されている。本プロジェクト完成後には同運営収入も増額することが期待されるが、同収入は将来の機材更新費用として活用される予定である。

##### （５）環境面の影響

新サイトはリマ市チョリジョス区にある国防省の操車場および車両ワークショップとして使用されていた跡地であり、本プロジェクトの実施により環境面で負の影響を与える要因は

ない。

#### 4 - 4 結論

本プロジェクトは、前述のように多大な効果が期待されると同時に、ペルー国の民生の安定に寄与するものであることから、我が国の無償資金協力で実施することの妥当性が確認される。さらに、本プロジェクトの運営・維持管理についても、ペルー国側体制は人員・資金ともに十分であり、問題はないと考えられる。なお、本章 4 - 2 課題・提言で述べた点が改善・整備されれば、本プロジェクトはより円滑かつ効果的に実施しうる。



## 資料編

資料 1 調査団員・氏名

1-1 第 1 次基本設計現地調査 (2007 年 6 月 18 日から 6 月 29 日)

| 氏名                    | 担当                                     | 所属   |
|-----------------------|--|--|
| 原田 秀明<br>岩谷 力<br>近藤 整 | 総 括<br>技術参与<br>計画管理                    | JICA 無償資金協力部業務第二グループ長<br>国立身体障害者リハビリテーションセンター総長<br>JICA 無償資金協力部業務第二グループ保健医療<br>チーム |
| 井出 経一<br>田代 正一        | 業務主任 / 建築計画<br>建築設計                    | 株式会社 横河建築設計事務所<br>株式会社 横河建築設計事務所   |
| 山川 清利<br>佐野 広高        | 通訳 (西語)<br>建築設計・施工計画/積算<br>補佐 (自主補強要員) | 株式会社 横河建築設計事務所<br>株式会社 横河建築設計事務所   |

1-2 第 2 次基本設計現地調査 (2007 年 9 月 2 日から 9 月 28 日)

| 氏名                    | 担当                                     | 所属   |
|-----------------------|--|--|
| 吉新 主門<br>岩谷 力<br>近藤 整 | 総 括<br>技術参与<br>計画管理                    | JICA 無償資金協力部業務第二グループ長<br>国立身体障害者リハビリテーションセンター総長<br>JICA 無償資金協力部業務第二グループ保健医療<br>チーム |
| 井出 経一<br>田代 正一        | 業務主任 / 建築計画<br>建築設計                    | 株式会社 横河建築設計事務所<br>株式会社 横河建築設計事務所   |
| 吉本 隆<br>三澤 喜選         | 設備計画<br>施工計画 / 積算 / 自然条<br>件調査         | 株式会社 横河建築設計事務所<br>株式会社 横河建築設計事務所   |
| 土井 保道<br>岡本 明広        | 機材計画<br>調達計画 / 積算                      | インテムコンサルティング株式会社<br>インテムコンサルティング株式会社   |
| 山川 清利<br>佐野 広高        | 通訳 (西語)<br>建築設計・施工計画/積算<br>補佐 (自主補強要員) | 株式会社 横河建築設計事務所<br>株式会社 横河建築設計事務所   |

1-3 基本設計概要説明調査（2008年2月20日から3月1日）

| 氏名             | 担当                         | 所属  |
|----------------|----------------------------|---|
| 谷口 誠<br>近藤 整   | 総 括<br>計画管理                | JICA ペルー事務所長<br>JICA 無償資金協力部業務第二グループ保健医療<br>チーム |
| 井出 経一<br>土井 保道 | 業務主任 / 建築計画<br>機材計画        | 株式会社 横河建築設計事務所<br>インテムコンサルティング株式会社              |
| 山川 清利          | 通訳（西語）                     | 株式会社 横河建築設計事務所                                  |
| 佐野 広高          | 建築設計・施工計画/積算<br>補佐（自主補強要員） | 株式会社 横河建築設計事務所                                  |

1-4 第3次基本設計現地調査（2008年8月3日から8月9日）

| 氏名    | 担当                         | 所属                       |
|-------|----------------------------|--------------------------|
| 小林 秀弥 | 総 括                        | JICA 資金協力支援部準備室実施監理第二課主査 |
| 井出 経一 | 業務主任 / 建築計画                | 株式会社 横河建築設計事務所           |
| 三澤 喜選 | 施工計画 / 積算 / 自然条<br>件調査     | 株式会社 横河建築設計事務所           |
| 山川 清利 | 通訳（西語）                     | 株式会社 横河建築設計事務所           |
| 佐野 広高 | 建築設計・施工計画/積算<br>補佐（自主補強要員） | 株式会社 横河建築設計事務所           |

資料2 調査行程

2-1 第1次基本設計現地調査(2007年6月18日から6月29日)

| 日数 | 日付 | 曜日   | 官団員  |  |           | コンサルタント       |  |                    |       |  |
|----|----|------|------|--|-----------|---------------|--|--------------------|-------|--|
|    |    |      | 総括   | 技術参与   | 計画管理      | 業務主任/<br>建築計画 | 建築設計   | 建築設計・施工<br>計画/積算補佐 | 通訳    |  |
|    |    |      | 原田秀明 | 岩谷 力   | 近藤 整      | 井出 経一         | 田代 正一  | 佐野 広高              | 山川 清利 |  |
| 1  |    | 6/18 | 月    |  |           |               | 成田 ヒューストン リマ   |                    |       |  |
| 2  |    | 6/19 | 火    |  |           |               | JICA 事務所、INR で調査日程・<br>インセプション・レポート等打ち合わせ<br>新築サイト視察       |                    |       |  |
| 3  |    | 6/20 | 水    |  |           |               | INR との協議 / ローカルコンサルタントとの打ち合わせ (INR<br>の現状施設活動状況確認、質疑回答の確認) |                    |       |  |
| 4  |    | 6/21 | 木    |  |           |               | INR との協議<br>(INR 移転全体計画確認・両者負担範囲検討)                        |                    |       |  |
| 5  |    | 6/22 | 金    |  |           |               | INR との協議<br>(INR 移転全体計画確認・両者負担範囲検討)                        |                    |       |  |
| 6  | 1  | 6/23 | 土    | 成田   | ロサンゼルス    | リマ            | AM: INR との協議<br>PM: 資料整理                                   |                    |       |  |
| 7  | 2  | 6/24 | 日    | 団内協議・全体計画・日本側負担事項方向性確認 / 新築サイト視察                                   |           |               |  |                    |       |  |
| 8  | 3  | 6/25 | 月    | 日本大使館表敬、JICA 事務所、保健省・国際協力庁表敬、<br>INR 表敬・協議 (INR 移転全体計画確認・両者負担範囲検討) |           |               |  |                    |       |  |
| 9  | 4  | 6/26 | 火    | INR との協議 (INR 移転全体計画確認・両者負担範囲検討・ミニッツ内容)                            |           |               |  |                    |       |  |
| 10 | 5  | 6/27 | 水    | INR との協議 (INR 移転全体計画確認・両者負担範囲検討・ミニッツ内容)<br>ミニッツ署名 (保健省にて)          |           |               |  |                    |       |  |
| 11 | 6  | 6/28 | 木    | AM: 日本大使館・JICA 事務所報告   |           |               | INR との協議 (質疑回答書)   |                    |       |  |
|    |    |      |      | PM: NGO (ひまわりの会) による CBR 視察  |           |               | リマ発  |                    |       |  |
| 12 | 7  | 6/29 | 金    | リマ発  | リマ ロサンゼルス |               | ヒューストン   |                    |       |  |
| 13 | 8  | 6/30 | 土    | 他調査で二<br>カラガアへ   | ロス発       | ロス発           | 成田着  |                    |       |  |
| 14 | 9  | 7/1  | 日    |  | 成田着       | 成田着           |  |                    |       |  |

2-2 第2次基本設計現地調査(2007年9月2日から9月28日)

| 日<br>期  | 月<br>日 | 曜<br>日 | 官 団 員  |              |         | コ ン サ ル タ ン ト 団 員                        |                         |                                |                                |                |                     |           |   |      |
|---------|--------|--------|--|--------------|---------|--|-------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------|---------------------|-----------|---|------|
|         |        |        | 総 括  | 技 術 参 与      | 計 画 管 理 | 業 務 主 任 /<br>建 築 計 画                     | 建 築 設 計                 | 設 備 計 画                        | 施 工 計 画 / 積 算 /<br>自 然 条 件 調 査 | 機 材 計 画        | 調 達 計 画 /<br>積 算    | 通 訳       | 自 主 補 強<br>(建 築 設 計・施 工 計 画 / 積 算<br>補 佐) |      |
|         |        |        | 吉 新 主 門  | 岩 谷 力        | 近 藤 整   | 井 出 経 一                                  | 田 代 正 一                 | 吉 本 隆                          | 三 澤 喜 選                        | 土 井 保 道        | 岡 本 明 広             | 山 川 清 利   | 佐 野 広 高                                   |      |
|         |        |        |  |              |         | A  | B                       | C                              | D                              | E              | F                   | G         | H   |      |
| 調 査 日 数 |        |        | 11   | 11           | 11      | 28                                       | 25                      | 21                             | 25                             | 28             | 21                  | 28        | 28  |      |
| 1       | 9/2    | 日      | 成田発 ロサンゼルス経由 リマ着   |              |         |  |                         |                                |                                |                |                     |           |   |      |
| 2       | 3      | 月      | JICA事務所打合せ、INR表敬・協議(インテリム・レポート)                          |              |         |  |                         |                                |                                |                |                     |           |   |      |
| 3       | 4      | 火      | 既存INR視察、計画予定地視察  |              |         |  |                         |                                |                                |                |                     |           |   |      |
| 4       | 5      | 水      | 保健省・INRと協議(計画内容)   |              |         | 現地再委託調査発注準備                              |                         | Aに同行                           |                                | INR現状機材調査      | Aに同行                | Dに同行      |   |      |
| 5       | 6      | 木      | 保健省・INRと協議(計画内容)   |              |         | 現地コンサルタント・ゼネコン訪問・調査                      |                         | Aに同行                           |                                | INR現状機材調査      | Aに同行                | Aに同行      |   |      |
| 6       | 7      | 金      | 成田発  | ヒューストン経由     | リマ着     | 保健省・INRと協議(質問票)                          |                         | 現地再委託調査発注・指示<br>計画予定地インフラ関連再調査 |                                | Aに同行           |                     | INR現状機材調査 | Aに同行                                      | Dに同行 |
| 7       | 8      | 土      | 類似施設視察：コミュニティ・ベース・リハビリセンター(第二次病院内)、野口英世記念病院、社会保険病院 訪問・調査 |              |         |  |                         |                                |                                |                |                     |           |   |      |
| 8       | 9      | 日      | 団内打合せ/資料整理   |              |         |  |                         |                                |                                |                |                     |           |   |      |
| 9       | 10     | 月      | 日本大使館表敬、JICA事務所打合せ、保健省表敬、APCI表敬、INR表敬                    |              |         | 関係機関訪問：法的関連調査・確認<br>(保健省営繕部、市役所建築指導課)    |                         |                                | Aに同行                           |                | 機材調達事情調査            | Aに同行      | Bに同行                                      |      |
| 10      | 11     | 火      | 保健省・INRと協議(インテリム・レポート、計画内容)<br>保健省にて協議(障害者政策等)           |              |         | 関係機関訪問：法的関連調査・確認<br>(市役所都市計画・市消防署)       |                         | Aに同行                           | Bに同行                           |                | Aに同行                | Aに同行      | Aに同行                                      | Bに同行 |
| 11      | 12     | 水      | 保健省・INRと協議(インテリム・レポート、計画内容)                              |              |         | インフラ設備関連機関訪問・調査・確認<br>(電力会社、上下水道公社、電話会社) |                         |                                | Aに同行                           |                | 機材調達事情調査            | Aに同行      | Dに同行                                      |      |
| 12      | 13     | 木      | 軍病院視察、保健省・INRとミニッツ協議                                     |              |         | インフラ設備関連機関訪問・調査・確認<br>(電力会社、上下水道公社、電話会社) |                         |                                | Aに同行                           |                | 機材調達事情・現地代理店調査      | Aに同行      | Bに同行                                      |      |
| 13      | 14     | 金      | ミニッツ署名 日本大使館報告   |              |         | 現地コンサルタント訪問・調査・確認、<br>現地ゼネコン訪問・調査・確認     |                         |                                | Aに同行                           |                | 機材調達事情・現地代理店調査      | Aに同行      | Bに同行                                      |      |
| 14      | 15     | 土      | 類似施設視察<br>リマ発  | リマ発 ヒューストン経由 |         | 類似施設：日秘友好病院、保健省総合病院(3次病院) 訪問・調査          |                         |                                |                                |                |                     |           |   |      |
| 15      | 16     | 日      | ボリビア   | 成田着          |         | 団内打合せ/資料整理                               |                         |                                |                                |                |                     |           |   |      |
| 16      | 17     | 月      | 保健省・INRと協議(計画内容)   |              |         | 建設資材販売店訪問・調査                             |                         | Aに同行                           |                                | 機材調達事情・現地代理店調査 | Aに同行                | Dに同行      |   |      |
| 17      | 18     | 火      | 保健省・INRと協議(計画内容)   |              |         | 現地コンサルタント訪問・調査・確認、<br>現地ゼネコン訪問・調査・確認     |                         | Aに同行                           |                                | 機材調達事情・現地代理店調査 | Aに同行                | Dに同行      |   |      |
| 18      | 19     | 水      | 保健省・INRと協議(計画内容)   |              |         | 建設事情調査(市内の建設現場訪問・<br>調査・確認)              |                         | Aに同行                           |                                | 現地代理店調査        | Aに同行                | Dに同行      |   |      |
| 19      | 20     | 木      | 保健省・INRと協議(計画内容)   |              |         | 現地再委託調査状況<br>確認・協議                       |                         | Aに同行                           |                                | 現地代理店調査        | Aに同行                | Dに同行      |   |      |
| 20      | 21     | 金      | 保健省・INRと協議<br>(計画内容)                                     |              |         | リマ発 ロサンゼルス経由                             | 現地コンサルタント・<br>ゼネコン訪問・調査 |                                | 医療機材<br>関連調査                   | リマ発 ロサンゼルス経由   |                     | Aに同行      | Dに同行                                      |      |
| 21      | 22     | 土      | 保健省・INRと協議<br>(計画内容)                                     |              |         | 成田着                                      | 建設事情関連調査                |                                | 医療機材<br>関連調査                   | 成田着            |                     | Aに同行      | Dに同行                                      |      |
| 22      | 23     | 日      | 団内打合せ/資料整理   |              |         |  |                         |                                |                                |                |                     |           |   |      |
| 23      | 24     | 月      | 保健省・INRと協議   |              |         | 建設事情関連調査                                 |                         | Aに同行                           |                                | Aに同行           | Dに同行                | Dに同行      |   |      |
| 24      | 25     | 火      | 保健省・INRと協議   |              |         | リマ発 ロサンゼルス経由                             | Aに同行                    |                                | Aに同行                           | Aに同行           | 建設事情<br>関連調査        |           |   |      |
| 25      | 26     | 水      | 国立がんセンター視察<br>保健省・INRと協議<br>(テクニカルノート)                   |              |         | 成田着                                      |                         | Aに同行                           |                                | Aに同行           | Aに同行                |           |   |      |
| 26      | 27     | 木      | 保健省・INRと最終協議<br>(テクニカルノート署名)、<br>JICA報告                  |              |         | Aに同行                                     |                         | Aに同行                           |                                | Aに同行           | Aに同行                |           |   |      |
| 27      | 28     | 金      | リマ発<br>ロサンゼルス経由  |              |         | Aに同行                                     |                         | リマ発 ロサンゼルス<br>経由               |                                | Aに同行           | リマ発<br>ロサンゼルス<br>経由 |           |   |      |
| 28      | 29     | 土      | 成田着  |              |         | 成田着                                      |                         | 成田着                            |                                | 成田着            | 成田着                 |           |   |      |

2-3 基本設計概要説明調査（2008年2月20日から3月1日）

| 日順   | 月日   | 曜日 | 官団員  |                  | コンサルタント団員                       |                    |                                 |                  |
|------|------|----|--|------------------|---------------------------------|--------------------|---------------------------------|------------------|
|      |      |    | 総括   | 計画管理             | 業務主任/<br>建築計画                   | 機材計画               | 通訳                              | 建築設計/積算/<br>自主補強 |
|      |      |    | 谷口 誠   | 近藤 整             | 井出 経一                           | 土井 保道              | 山川 清利                           | 佐野 広高            |
| 調査日数 |      |    | 4  | 7                | 12                              | 12                 | 12                              | 6                |
| 1    | 2/20 | 水  | /  | /                | 成田発 ロサンゼルス経由 リマ着                |                    |                                 |                  |
| 2    | 21   | 木  |  |                  | JICA事務所打ち合わせ、保健省・INR協議          |                    |                                 |                  |
| 3    | 22   | 金  |  |                  | 保健省・INRと協議（基本設計概要）              |                    |                                 |                  |
| 4    | 23   | 土  |  |                  | 保健省・INRと協議、補足調査                 |                    |                                 |                  |
| 5    | 24   | 日  |  |                  | 資料整理                            |                    |                                 |                  |
| 6    | 25   | 月  | AM:チヨリ-シヨヌ区役所表敬訪問  | 成田発 ロサンゼルス経由 リマ着 | AM:サイトにて電力会社と打合せ、チヨリ-シヨヌ区役所表敬訪問 | 保健省・INRと協議（基本設計概要） | AM:サイトにて電力会社と打合せ、チヨリ-シヨヌ区役所表敬訪問 |                  |
|      |      |    | PM: 保健省・INRと協議（基本設計概要）   |                  |                                 |                    |                                 |                  |
| 7    | 26   | 火  | JICA事務所打合せ（日本大使館担当者同席）、INR・APCI・保健省表敬  |                  |                                 |                    |                                 | リマ発              |
| 8    | 27   | 水  | 保健省・経済財政省・INRと協議（SNIP制度について）<br>保健省・INRと協議（基本設計概要、ミニッツ）<br>リマ水道公社（SEDAPAL）訪問調査（下水道敷設計画を確認） |                  |                                 |                    |                                 | /                |
| 9    | 28   | 木  | 保健省・INRと協議（基本設計概要、ミニッツ）  |                  |                                 |                    |                                 |                  |
| 10   | 29   | 金  | ミニッツ署名、日本大使館 報告  |                  |                                 |                    |                                 |                  |
| 11   | 3/1  | 土  | リマ発 ロサンゼルス経由   |                  |                                 |                    |                                 |                  |
| 12   | 2    | 日  | 成田着  |                  |                                 |                    |                                 |                  |

2-4 第3次基本設計現地調査（2008年8月3日から8月9日）

| 日順   | 月日  | 曜日 | 官団員                          |   | コンサルタント団員 |                    |                              |  |
|------|-----|----|------------------------------|---|-----------|--------------------|------------------------------|--|
|      |     |    | 総括                           | 業務主任/<br>建築計画   | 通訳        | 施工計画/積算/<br>自然条件調査 | 自主補強<br>(建築設計・施工<br>計画/積算補佐) |  |
|      |     |    | 小林 秀弥                        | 井出 経一   | 山川 清利     | 三澤 喜選              | 佐野 広高                        |  |
| 調査日数 |     |    | 3                            | 8   | 8         | 8                  | 8                            |  |
| 1    | 8/3 | 日  | /                            | 成田 ロサンゼルス   |           |                    | リマ着                          |  |
| 2    | 4   | 月  |                              | リマ着<br>AM: JICA事務所打ち合わせ、日本大使館表敬<br>PM: 保健省・INR協議 建設物価調査 |           |                    |                              |  |
| 3    | 5   | 火  | 成田 ロサンゼルス<br>リマ              | 保健省・INRと協議  |           | 建設物価調査             |                              |  |
| 4    | 6   | 水  | 保健省・INRと協議                   |   |           | 建設物価調査             |                              |  |
| 5    | 7   | 木  | 保健省・INRと協議（ミニッツ協議）<br>ミニッツ署名 |   |           | 建設物価調査             |                              |  |
| 6    | 8   | 金  | (以降、他案件調査に参加)                | 保健省・INRと協議（テクニカルノート作成）、日本大使館報告（JICA事務所合同）               |           | 建設物価調査             |                              |  |
| 7    | 9   | 土  |                              | リマ ロサンゼルス   |           |                    |                              |  |
| 8    | 10  | 日  |                              | 成田着   |           |                    |                              |  |

### 資料3 関係者リスト

#### 1. 保健省 (MINSA)

- Dr. Carlos Vallejos Sologuren 大臣
- Dr. Elías Melitón Arce Rodríguez 副大臣
- Dr. Abel Salinas Rivas 保健省官房長
- Arq. Hernán Roig Arosemena プロジェクト調整官
- Dra. Ana Mendoza Arana OPI 局長
- Dra. Nidia Guardia 人事局長
- Sra. Midori Kishimoto Kanashiro 国際協力局長
- Arq. Clotilde Espinoza Sanabria インフラ・機材・維持管理局長

#### 2. 国際協力庁 (APSI)

- Sra. Jacquelin Mori 国際交渉課長
- Sra. Mery Masuda 国際交渉課日本・米国担当

#### 3. 国立障害者リハビリテーションセンター (INR)

- Dr. Juan Daniel Guillén Cabrejos 院長
- Dra. Adriana Rebaza Flores 病院顧問 (病院創始者)
- Dr. Rómulo Alcalá Ramírez INR 新規建設委員会委員長
- Dra. Maria Mendez Campos 副院長 (精神機能障害部門長)
- Dr. Fernando Urcia Fernández INR 新規建設委員会副委員長 (運動機能障害部門長)
- Dr. Venjamin Monts Cervantes 診断支援部門長
- Dr. Gelberth Revilla Stamp 戦略計画局部長
- Ing. Luisa Vera Cárdenas INR 新規建設プロジェクト機材担当者
- Dr. Asencio Quintana Gonzales 脊髄損傷障害リハビリ科長
- Dra. Teresa Martinez Romero 脊髄損傷障害リハビリ科副科長
- Lic. Carmen Julian Rivero 看護部長
- Sra. Nora Saavedra Chumbe 一般サービス課長
- Dra. Maria del Carmen Rodriguez 疾病対策課長
- Dra. Hermelinda Maria Iriarte Vlíz 義肢装具製作科長
- Lic. TM Martin Nomura Ruiz 臨床検査科長
- Dra. Nelly Roncal Valasco コミュニケーション障害リハビリ科長
- Sr. Nestor Miguel Beravides INR 協賛団体代表

#### 4. チョリージョス区役所

- Ing. Augusto Miyashiro Yamashiro 区長

5. サン・ルイス・ゴンサガ国立大学 (F/S 作成コンサルタント)

- |   |           |
|---|-----------|
| ・ Ing. Mario Francisco Bonifas Henandez | 工学部学部長    |
| ・ Ing. Juan Yimer Zamudio               | F/S 作成調整官 |
| ・ Arq. Jorge Abregü Lara                | 建築担当官     |

6. 在ペルー日本大使館

- |           |             |
|-----------|-------------|
| ・ 目賀田 周一郎 | 特命全権大使      |
| ・ 石田 仁宏   | 特命全権大使 (前任) |
| ・ 荻原 孝裕   | 一等書記官       |
| ・ 田阪 昭彦   | 一等書記官       |
| ・ 中島 良幸   | 二等書記官       |

7. JICA ペルー事務所

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| ・ 谷口 誠                | 所長      |
| ・ 表 孝雄                | 所長 (前任) |
| ・ 吉田 英之               | 次長      |
| ・ 小澤 正司               | 次長 (前任) |
| ・ 中村 史                | 所員      |
| ・ Sr. Rodolfo SOEDA   | 所員      |
| ・ Sra. Yolanda CAMPOS | 所員      |



**MINUTA DE DISCUSIONES  
SOBRE EL ESTUDIO DE DISEÑO BASICO PARA EL PROYECTO DE  
CONSTRUCCION DE LA NUEVA SEDE DEL INSTITUTO NACIONAL DE  
REHABILITACION "DRA. ADRIANA REBAZA FLORES"  
EN LA REPUBLICA DEL PERU**

En respuesta a la solicitud del Gobierno de la República del Perú ( en adelante se denominará "Perú"), el Gobierno del Japón decidió realizar un Estudio de Diseño Básico sobre el Proyecto de Construcción de la Nueva Sede del Instituto Nacional de Rehabilitación "Dra. Adriana Rebaza Flores" ( en adelante se denominará "el Proyecto") y encargó dicho estudio a la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en adelante se denominará "JICA").

JICA envió al Perú una Misión del Estudio de Diseño Básico ( en adelante se denominará "la Misión") encabezado por el Lic. Hideaki Harada, Jefe del Segundo Grupo del Departamento de la Cooperación Financiera No Reembolsable de JICA. La Misión permanecerá en el Perú desde el 19 de junio hasta el 28 de junio de 2007.

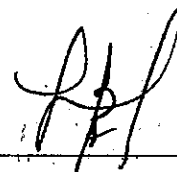
La Misión sostuvo una serie de discusiones con las autoridades interesadas del Gobierno del Perú y realizó también los estudios locales.

Como consecuencia de dichas discusiones y estudios locales, ambas partes comprobaron los ítems relevantes descritos en el documento adjunto. La Misión, después de regresar al Japón, informará al Gobierno del Japón dichos ítems comprobados. Si el Gobierno del Japón aprueba el resultado del Estudio de Diseño Básico, se enviará la segunda Misión del Estudio de Diseño Básico al Perú.

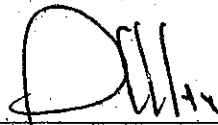
Lima, 27 de junio de 2007



Lic. Hideaki Harada  
Jefe de la Misión del Estudio de  
Diseño Básico  
JICA



Arq. Hernán Roig Arosemena  
Coordinador General del Proyecto  
Oficina de Cooperación Internacional  
Ministerio de Salud  
República del Perú



Dr. Juan Daniel Guillén Cabrejos  
Director General  
Instituto Especializado de Rehabilitación  
"Dra. Adriana Rebaza Flores"

## DOCUMENTO ADJUNTO

### 1. Objetivo del Proyecto

El Proyecto tiene por objeto fortalecer el sistema de servicios de rehabilitación para los discapacitados en el Instituto Nacional de Rehabilitación y mejorar el acceso a los servicios de rehabilitación (atenciones y curación) para los discapacitados en el Perú a través de la construcción de instalaciones del área de Funciones Motoras y de otras áreas relacionadas, que son una parte del Proyecto de traslado general del Instituto Nacional de Rehabilitación, y disposición de equipos médicos relacionados.

### 2. Objeto del Proyecto

El objeto del Proyecto es el Instituto Nacional de Rehabilitación Dra. Adriana Rebaza Flores. Y, la ubicación del predio para la nueva sede de dicho Instituto se muestra en el Anexo-1.

### 3. Entidad responsable y ejecutora

La entidad responsable del Proyecto es el Ministerio de Salud de la República del Perú y la entidad ejecutora es el Instituto Nacional de Rehabilitación "Dra. Adriana Rebaza Flores".

### 4. Contenido de la solicitud presentada por el Gobierno del Perú

Como consecuencia de las discusiones sostenidas, la parte peruana, dentro del plan de traslado general de dicho Instituto, solicitó a la parte japonesa la construcción de las instalaciones mostradas en el Anexo-2. En especial, la parte peruana solicitó a la parte japonesa que esta ayudara en una parte del área de funciones mentales además del área de funciones motoras. JICA verificará la pertinencia del contenido solicitado y se lo informará al Gobierno del Japón. Sin embargo, con respecto al detalle de la magnitud y contenido de dichas instalaciones y contenido y cantidad de equipos, será examinado nuevamente durante el segundo estudio de diseño básico que se ejecutará en adelante. Y, con respecto a la solicitud de equipamiento, la parte peruana se comprometió a notificar por escrito a la oficina de JICA en Perú antes del 31 de julio de 2007 en caso de que hubiera alguna adición o modificación aparte del contenido solicitado durante el estudio preliminar llevado a cabo en octubre de 2005.

### 5. Esquema de la cooperación financiera no reembolsable

- (1) La Misión explicó a la parte peruana acerca del esquema de la cooperación financiera no reembolsable del Japón descrito en el Anexo-3 y la parte peruana lo comprendió.
- (2) La parte peruana se comprometió a tomar medidas necesarias descritas en el Anexo-4.
- (3) La parte peruana comprendió que el acuerdo con JICA a través de la Minuta no significa el

compromiso de ejecución del Proyecto por parte japonesa.

## 6. Cronograma del Estudio

- (1) JICA explicará al Gobierno del Japón el contenido del Estudio de Diseño Básico de campo y los puntos acordados entre ambas partes después de regresar al Japón.
- (2) JICA enviará la segunda Misión del Estudio de Diseño Básico a primeros de septiembre de 2007 con el fin de examinar el contenido y magnitud de las instalaciones a construirse, contenido de adquisición de equipos y su cantidad y especificaciones. Antes de enviar dicha Misión, elaborará en español el informe intermedio para explicar el resultado del primer estudio local y puntos acordados, y los ítems del segundo estudio local y su cronograma de trabajos. Se lo explicará a la parte peruana al inicio del segundo estudio local.

## 7. Otros puntos discutidos

- (1) El predio donde está previsto construirse la nueva sede

Ambas partes acordaron que el predio a donde está previsto trasladarse el Instituto Nacional de Rehabilitación "Adriana Rebazas Flores" es el sitio para el Proyecto, mostrado en el Anexo-1. Y, ambas partes comprobaron que dicho predio, como se menciona en el Anexo-5, es del estado peruano y que el Ministerio de Salud tiene derecho al uso.

La parte peruana se comprometió a terminar de retirar construcciones existentes y aplanar dicho predio antes de empezarse las obras por la parte japonesa.

- (2) División de responsabilidades y plan de distribución de instalaciones en el plan de traslado general

Ambas partes acordaron que, con respecto al plan de distribución de distintas áreas o departamentos en el plan de traslado general del Instituto Nacional de Rehabilitación "Dra. Adriana Rebazas Flores", se va a examinar con base al borrador de la planta conceptual mostrada en el Anexo-6.

- (3) Período de traslado general del Instituto

La parte peruana acordó, con respecto al área de su responsabilidad que examinará el plan de trabajo para terminar el traslado e inauguración de todas las instalaciones, en el mismo período que cuando se inaugure el área asignada por la parte japonesa, de acuerdo al cronograma tentativo de ejecución (Anexo-7). Y, tomará las medidas necesarias para su cumplimiento, así como, de su presupuesto. Y, la parte japonesa acordó que, con el fin de avanzar bien estos trabajos, se colaborará adecuadamente con la parte peruana, de acuerdo con distintos resultados logrados a través del estudio de diseño básico.

(4) Cronograma del estudio de factibilidad

Con respecto al estudio de factibilidad a realizarse por la parte peruana como parte del proceso de aprobación del SNIP, la parte peruana acordó que, con el propósito de tener coherencia con el contenido de las instalaciones y equipos a examinarse durante el estudio de diseño básico previsto por la parte japonesa, realizará el estudio de factibilidad en consideración al período de ejecución del estudio de diseño básico.

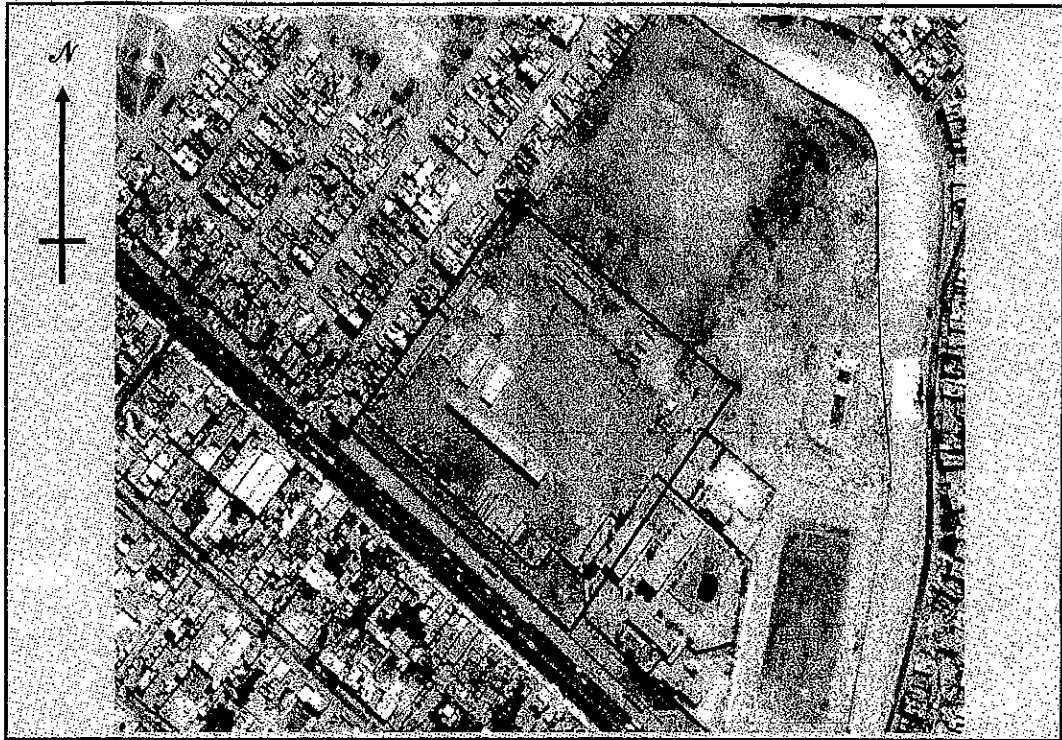
(5) Distribución de recursos humanos y presupuesto

- 1) La parte peruana, en caso de ejecutarse el Proyecto, se comprometió a disponer de recursos humanos y presupuesto necesarios y adecuados para el mantenimiento de las nuevas instalaciones que se construyeran y de equipos que se suministraran a través del Proyecto.
- 2) La parte peruana, además de comprender el esquema de la cooperación financiera no reembolsable del Japón y comprobar que se eximan impuestos de importación, IGV y otras cargas fiscales internas relacionados con el Proyecto, se comprometió a tomar medidas necesarias para su cumplimiento.

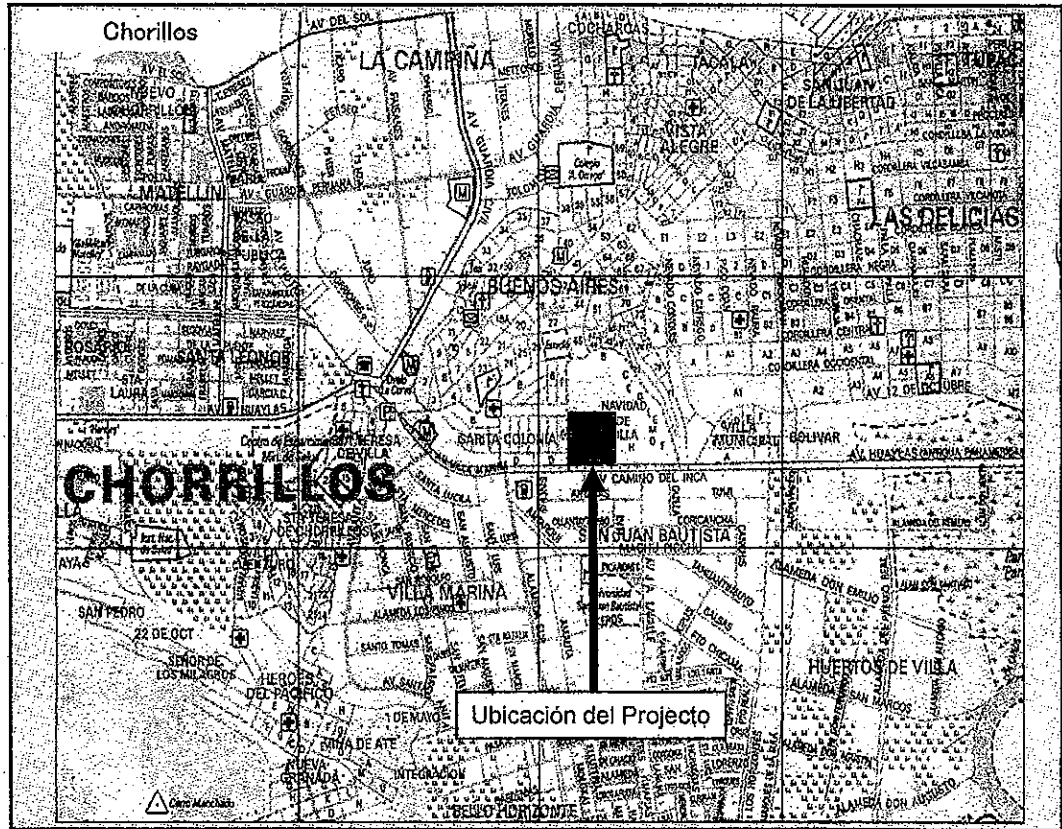
Anexo 1. Mapa de ubicación del sitio objeto

2. Lista de departamentos solicitados a construirse por la parte japonesa
3. Esquema de la cooperación financiera no reembolsable del Japón
4. Compromisos de ambos gobiernos
5. Afectación en Uso del terreno a favor del Ministerio de Salud
6. Plan de traslado general • planta propuesta
7. Cronograma de ejecución tentativo

ANEXO 1



Fotografía Aérea de Chorillos



Mapa de Chorillos

*Handwritten mark resembling a stylized 'P' or 'F'.*

*Handwritten signature or initials.*

**Anexo 2**

**Lista de departamentos solicitados a construirse por la parte japonesa**

- (1) Unidad de Consulta Externa y Terapias
  - 1) Admisión
  - 2) Rehabilitación Funciones Motoras
  - 3) Rehabilitación Funciones Mentales
  
- (2) Unidad de Ayuda al Diagnóstico y Tratamiento
  - 1) Laboratorio, Farmacia, Ortodoncia, Rayos-X
  - 2) Unidad Biomecánica
  - 3) Esterilización Central
  
- (3) Unidad de Hospitalización (50 camas)
  
- (4) Unidad de Servicios Generales

£

21.  
Qlh

## Anexo 3

### Sistema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón

La Cooperación Financiera No Reembolsable consiste en la donación de fondos que no requiere la obligación de reembolso por parte de los países receptores, y permiten a través del fondo adquirir equipos, materiales y servicios (técnicos, transportes, etc.) necesarios para el desarrollo económico y social de los países, bajo las normas siguientes y las leyes relacionadas del Japón. La Cooperación no se extiende a donaciones en especie.

#### **(1) Procedimiento de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón.**

El procedimiento de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón es el siguiente.

- 1) Solicitud (Presentación de una solicitud oficial por el país receptor)  
Estudio (Estudio de Diseño Básico conducido por JICA) Evaluación y Aprobación (Evaluación del Proyecto por el Gobierno del Japón y aprobación por el Gabinete) Decisión de Realización (Firma del Canje de Notas por ambos gobiernos) Realización (realización del Proyecto)
- 2) En la primera etapa, el Gobierno del Japón (el Ministerio de Relaciones Exteriores) estudia la solicitud formulada por el país receptor si el Proyecto es apropiado para la Cooperación Financiera No Reembolsable. Si se confirma que la solicitud tiene alta prioridad como Proyecto para la Cooperación Financiera No Reembolsable, el Gobierno del Japón ordena a JICA a efectuar el Estudio.

Luego viene la segunda etapa, que se refiere al Estudio de Diseño Básico; JICA realiza este estudio, en principio, contratando una compañía consultora japonesa.

En la tercera etapa, la Evaluación y la Aprobación, el Gobierno del Japón evalúa y confirma que el Proyecto es apropiado para la Cooperación Financiera No Reembolsable, en base al informe de Diseño Básico elaborado por JICA en la segunda etapa, luego envía el contenido del Informe al Gabinete para su aprobación.

En la cuarta etapa, la Decisión de Realización, una vez aprobado el Proyecto por el Gabinete se firma el Canje de Notas por los representantes del Gobierno del Japón y del Gobierno receptor.

Durante la realización del Proyecto, JICA extenderá ayudas necesarias al Gobierno receptor en los procesos de licitación, contrato, etc.

#### **(2) Estudio de Diseño Básico**

- 1) Contenido del Estudio

El Estudio de Diseño Básico conducido por JICA está destinado a proporcionar el documento básico necesario para que el Gobierno del Japón evalúe si el Proyecto es viable o no para el sistema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón. El contenido del Estudio incluye;

- confirmación de los antecedentes, el objetivo, la eficiencia del Proyecto, y la capacidad de la organización responsable para la administración y mantenimiento del Proyecto.
- examen de la viabilidad técnica y socio-económica.
- confirmación del concepto básico del Plan Optimo del Proyecto a través de la mutua deliberación con el país receptor.
- preparación del Diseño Básico del Proyecto.
- estimación del costo del Proyecto.

El contenido del Proyecto aprobado arriba mencionado no necesariamente coincide totalmente con la solicitud original, sino que se confirma en consideración al esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable.

Al realizar el Proyecto bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable, el Gobierno del Japón desea que el Gobierno del país receptor tome todas las medidas necesarias para promover su auto-suficiencia. Esas medidas deberán asegurarse aunque estén fuera de la jurisdicción de la entidad ejecutora del Proyecto en el país receptor. Por lo tanto, la ejecución del Proyecto es confirmada por todas las organizaciones relevantes en el país receptor mediante las Minutas de Discusiones.

#### 2) Selección de la compañía consultora

Al realizar el Estudio, JICA selecciona una de las compañías consultoras - entre aquellas registradas en JICA - mediante una licitación en la que presentan sus propuestas. La compañía seleccionada realiza el Estudio de Diseño Básico y elabora el Informe bajo la supervisión de JICA. Después de la firma del Canje de Notas, con el fin de asegurar coherencia técnica entre el Diseño Básico y el Diseño Detallado, JICA recomienda al país receptor emplear la misma compañía consultora que se hizo cargo del Diseño Básico para el Diseño Detallado y supervisión de la realización del Proyecto.

### (3) Esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable

#### 1) Firma del Canje de Notas

En la realización de la Cooperación Financiera No Reembolsable, se necesita el acuerdo y la firma del Canje de Notas (C/N) entre ambos gobiernos. En el C/N se aclaran el objetivo, el período efectivo de la donación, las condiciones de realización y el límite del monto de la donación.

#### 2) Período de ejecución



El período efectivo de la donación debe ser dentro del mismo año fiscal del Japón (del 1 de abril hasta el 31 de marzo del siguiente año) en el que el Gabinete aprobó la cooperación. Durante este período debe concluirse todo el proceso desde la firma del C/N hasta el contrato con la compañía consultora o constructora, incluyendo el pago final.

Sin embargo, en el caso de un retraso en el transporte, instalación o construcción por la condición de desastre natural u otros, existe la posibilidad de prolongar a lo más por un año (un año fiscal) previa consulta entre ambos gobiernos.

### 3) Adquisición de los productos y servicios

La Cooperación Financiera No Reembolsable será utilizada apropiadamente por el Gobierno del país receptor para la adquisición de los productos japoneses o del país receptor y los servicios de nacionales japoneses y nacionales del país receptor para la ejecución del Proyecto: (El término "nacionales japoneses" significa personas físicas japonesas o personas jurídicas japonesas controladas por personas físicas japonesas.)

No obstante, lo arriba mencionado, la Cooperación Financiera No Reembolsable podrá ser utilizada, cuando los dos Gobiernos lo estimen necesario, para la adquisición de productos de terceros países (excepto Japón y el país receptor) y los servicios para el transporte que no sean de los nacionales japoneses ni de nacionales del país receptor.

Sin embargo, considerando el esquema de la donación del Japón, los contratistas principales para la ejecución del Proyecto como consultores, constructores y proveedores deberán ser nacionales japoneses.

### 4) Necesidad de Aprobación

El Gobierno del país receptor o la autoridad designada por él, concertará contratos, en yenes japoneses, con nacionales japoneses. A fin de ser aceptable, tales contratos deberán ser verificados por el Gobierno del Japón. Esta verificación se debe a que el fondo de donación proviene de los impuestos generales de los nacionales japoneses.

### 5) Responsabilidad del Gobierno Receptor

El Gobierno del país receptor tomará las medidas necesarias como sigue:

- ① asegurar la adquisición y preparación del terreno necesario para los lugares del Proyecto, limpiar y nivelar terreno previamente al inicio de los trabajos de construcción.
- ② proveer de instalaciones para la distribución de electricidad, suministro de agua, el sistema de desagüe y otras instalaciones adicionales dentro y fuera de los lugares del Proyecto.
- ③ proporcionar los edificios y los espacios necesarios en caso de que el Proyecto incluya la provisión de equipos.
- ④ asegurar todos los gastos y la pronta ejecución del desembarco y despacho

aduanero en el país receptor y en el transporte interno de los productos adquiridos bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable.

- ⑤ eximir del pago de derechos aduaneros, impuestos internos y otras cargas fiscales que se impongan a los nacionales japoneses en el país receptor con respecto al suministro de los productos y los servicios bajo los Contratos Verificados.
- ⑥ otorgar a nacionales japoneses, cuyos servicios sean requeridos en conexión con el suministro de los productos y los servicios bajo los Contratos Verificados, las facilidades necesarias para su ingreso y estadía en el país receptor para el desempeño de sus funciones.

6) Uso Adecuado

El país receptor deberá asegurar que las instalaciones construidas y los productos adquiridos bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable sean debida y efectivamente mantenidos y utilizados asignando el personal necesario para la ejecución del Proyecto.

Deberá también sufragar todos otros gastos necesarios, a excepción de aquellos gastos a ser cubiertos por la Donación.

7) Reexportación

Los productos adquiridos bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable no deberán ser reexportados del País receptor.

8) Arreglo Bancario

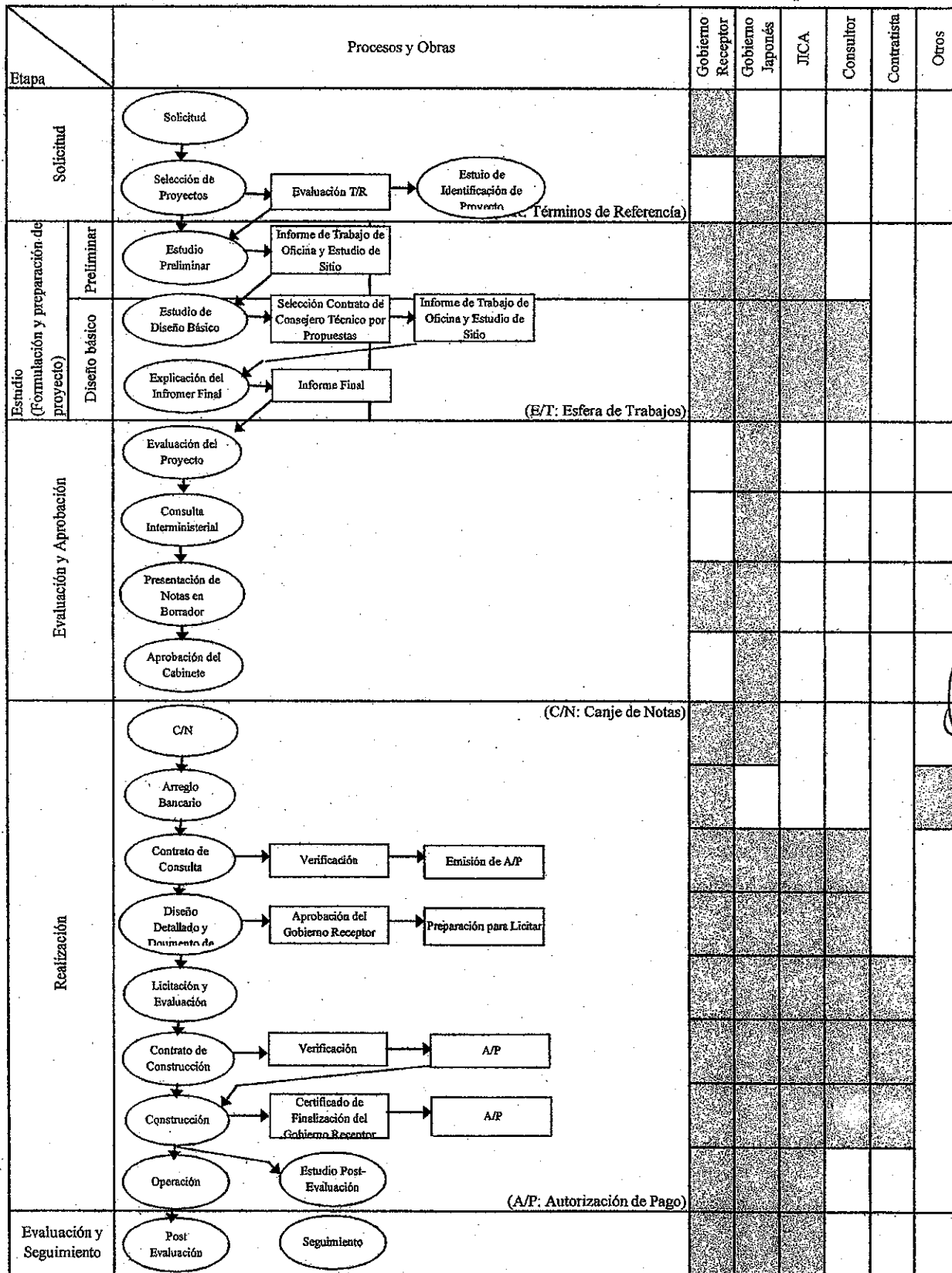
- a) El Gobierno del país receptor o la autoridad designada por él deberá abrir una cuenta bancaria a nombre del Gobierno del país receptor en un banco en Japón (en adelante, referido como "el Banco"). El Gobierno del Japón llevará a cabo la Cooperación Financiera No Reembolsable efectuando pagos, en yenes japoneses, para cubrir las obligaciones contraídas por el Gobierno del país receptor o la autoridad designada por él, bajo los Contratos Verificados.
- b) Los pagos por parte del Japón se efectuarán cuando las solicitudes de pago sean presentadas por el Banco al Gobierno del Japón en virtud de una autorización de pago (A/P) expedida por el Gobierno del país receptor o la autoridad designada por él.

9) Autorización de Pago (A/P)

El Gobierno Beneficiario correrá con la comisión de (notificación de) Autorización de Pago (A/P) y la comisión de pago al Banco.

## Cooperación Financiera No Reembolsable

**Esquema del Proceso de la cooperación Financiera no Reembolsable del Japón**



Anexo 4

Principales Medidas que han de Tomar Ambos Gobiernos

| No | Elementos   | Cubierto por la Cooperación Financiera No Reembolsable | Cubierto por el país receptor |
|----|---|--|-------------------------------|
| 1  | Asegurar la adquisición y preparación del terreno.  |  | ●                             |
| 2  | Limpiar y nivelar terreno previamente al inicio de los trabajos de construcción.  |  | ●                             |
| 3  | Construir portones y cercos en y alrededor del lugar.   |  | ●                             |
| 4  | Construir un estacionamiento de vehículos.  | ●  |                               |
| 5  | Construir caminos.  |  |                               |
|    | 1) Dentro del lugar   | ●  |                               |
|    | 2) Fuera del lugar  |  | ●                             |
| 6  | Construir los edificios.  | ●  |                               |
| 7  | Proveer de instalaciones para la distribución de electricidad, suministro de agua, sistema de desagüe y otras instalaciones adicionales dentro y fuera de los lugares del Proyecto.   |  |                               |
|    | 1) Electricidad   |  |                               |
|    | a. La línea de distribución al lugar  |  | ●                             |
|    | b. El cableado descendente e interior dentro del lugar  | ●  |                               |
|    | c. El disyuntor del circuito principal y transformador  | ●  |                               |
|    | 2) Suministro de agua   |  |                               |
|    | a. Tubería principal de distribución de agua de la ciudad al lugar  |  | ●                             |
|    | b. Sistema de abastecimiento dentro del lugar (recepción y tanques elevados)  | ●  |                               |
|    | 3) Desagüe  |  |                               |
|    | a. Tubería principal de drenaje de la ciudad (para aguas pluviales, aguas servidas y otros) al lugar  |  | ●                             |
|    | b. El sistema de drenaje (de aguas negras, residuos ordinarios, drenaje de aguas pluviales y otros) dentro del lugar  | ●  |                               |
|    | 4) Suministro de Gas  |  |                               |
|    | a. Tubería principal de gas al lugar  |  | ●                             |
|    | b. Sistema de suministro de gas dentro del lugar  | ●  |                               |
|    | 5) Sistema telefónico   |  |                               |
|    | a. Línea troncal de teléfono al bastidor/panel de distribución principal (MDF) del edificio   |  | ●                             |
|    | b. El MDF y las extensiones después del bastidor/panel  | ●  |                               |
|    | 6) Muebles y equipo   |  |                               |
|    | a. Muebles en general   |  | ●                             |
|    | b. Equipo del Proyecto  | ●  |                               |
| 8  | Pagar las comisiones siguientes al banco japonés de cambio extranjero en concepto de servicios bancarios basados en el A/B  |  |                               |
|    | 1) Comisión de aviso de A/P   |  | ●                             |
|    | 2) Comisión de pago   |  | ●                             |
| 9  | Descarga y trámite aduanero en el puerto de desembarque del país receptor   |  |                               |
|    | 1) Transporte marítimo (aéreo) de productos desde el Japón hasta el país receptor   | ●  |                               |
|    | 2) Exención de impuestos y despacho de aduanas de productos en el puerto de desembarque   |  | ●                             |
|    | 3) Transporte interno desde el puerto hasta el sitio del proyecto   | (●)  | (●)                           |
| 10 | Otorgar a los nacionales japoneses, cuyos servicios sean requeridos en conexión con el suministro de los productos y servicios estipulados en los contratos verificados, las facilidades necesarias para su ingreso y estadía en el país receptor para el desempeño de sus funciones. |  | ●                             |
| 11 | Eximir del pago de derechos aduaneros, impuestos internos y otras cargas fiscales que se impongan a los nacionales japoneses en el país receptor con respecto al suministro de los productos y los servicios bajo los contratos verificados.  |  | ●                             |
| 12 | Mantener y utilizar adecuada y efectivamente las instalaciones construidas y los equipos suministrados por la cooperación financiera no reembolsable.   |  | ●                             |
| 13 | Sufragar todos los gastos necesarios para la construcción de instalaciones así como para la instalación del equipo que no sean cubiertos por la cooperación financiera no reembolsable.   |  | ●                             |

ANEXO 5

"Decenio de las Personas con Discapacidad en el Perú"  
"Año del Deber Ciudadano"

|   |       |
|---|-------|
| MINISTERIO DE SALUD<br>SECRETARÍA GENERAL<br>TRÁMITE DOCUMENTARIO |       |
| 28 MAYO 2007  |       |
| <b>RECIBIDO</b>   |       |
| Exp. N°   | ..... |
| Firma:  | ..... |
| Hora:   | ..... |

OFICIO N° 1137-2007-OL/MINSA

Lima, 25 MAYO 2007

Doctor  
**JUAN DANIEL GUILLEN CABREJOS**  
Director General  
Instituto Nacional de  
Rehabilitación Doctora Adriana Rebaza Flores  
Presente.

Referencia : Resolución N° 039-2007/SBN-GO-JAD

Asunto : Afectación en Uso del inmueble Fundo Villa

De mi consideración:

Tengo el agrado de dirigirme a usted, a fin de saludarlo muy cordialmente y en atención al documento de la referencia hago de su conocimiento la Resolución N° 039-2007/SBN-GO-JAD notificada por la Superintendencia de Bienes Nacionales, la cual resuelve, entre otros puntos, lo siguiente:

"Modificar lo dispuesto en el Artículo 3° de la Resolución N° 075-2005/SBN-GO-JAD de fecha 31 de agosto del 2005, de acuerdo al siguiente texto:  
Afectar en uso a favor del Ministerio de Salud, de conformidad con el plano N° 119-2007/SBN-GO-JAD que forma parte integrante de la presente resolución, el predio de 37 536,14 m², que forma parte de un área mayor de propiedad del Estado, inscrita en la Ficha Registral N° 311310 con continuación en la Partida Electrónica N° 42164526 del Registro de Predios de Lima, a fin de que sea destinado a la construcción de la Sede del Instituto Nacional de Rehabilitación Doctora Adriana Rebaza Flores".

En tal sentido, siendo los beneficiarios directos del inmueble submateria, alcanzo a vuestro Despacho la Resolución mencionada para su conocimiento y fines pertinentes.

En otro particular, hago propicia la ocasión para testimoniarle las muestras de mi consideración y estima.

Atentamente,

MINISTERIO DE SALUD  
OFICINA GENERAL DE ADMINISTRACIÓN

*[Firma]*  
C. DC. ELMER HERNÁNDEZ TORRES  
DIRECTOR GENERAL DE LA OFICINA DE LEGISLACIÓN

EDF/JGA

*[Firma]*

*[Firma]*  
C. DC. ELMER HERNÁNDEZ TORRES  
DIRECTOR GENERAL DE LA OFICINA DE LEGISLACIÓN

4128  
14:30





**RESOLUCIÓN N°039-2007/SBN-GO-JAD**

La Molina, 26 de enero de 2007

Visto el Expediente N° 023-2007/SBN-JAD correspondiente a la modificación de las afectaciones en uso dispuestas mediante la Resolución N° 076-2005/SBN-GO-JAD de fecha 31 de agosto de 2005, otorgadas a favor del Ministerio de Defensa - Ejército del Perú, Ministerio de Salud e Instituto Metropolitano Protransporte de Lima de la Municipalidad Metropolitana de Lima, sobre parte del predio de propiedad del Estado de 150 165,35 m<sup>2</sup>, que formó parte del Fundo Villa, ubicado frente a la antigua carretera Panamericana Sur, distrito de Chorrillos, provincia y departamento de Lima;

**CONSIDERANDO:**

Que, de conformidad con lo dispuesto por el Decreto Ley N° 25738, Ley N° 27395, Decreto Supremo N° 131-2001-EF - Estatuto de la Superintendencia de Bienes Nacionales y Decreto Supremo N° 154-2001-EF - Reglamento General de Procedimientos Administrativos de los Bienes de Propiedad Estatal, y sus modificatorias, la Superintendencia de Bienes Nacionales tiene como finalidad optimizar el aprovechamiento económico de los bienes del Estado en armonía con el interés social, promoviendo su intercambio, maximizando su rentabilidad y estableciendo mecanismos para el registro, inscripción y fiscalización de los bienes de propiedad estatal;

Que, el Estado es propietario del predio de 150 165,35 m<sup>2</sup>, que formó parte del Fundo Villa, ubicado frente a la antigua carretera Panamericana Sur, distrito de Chorrillos, provincia y departamento de Lima, inscrito en la Ficha Registral N° 311310 con continuación en la Partida Electrónica N° 42164526 del Registro de Predios de Lima y registrado en el Asiento N° 3222 del Sistema de Información Nacional de Bienes de Propiedad Estatal -SINABIP, correspondiente al departamento de Lima;

Que, sobre el predio descrito en el considerando precedente, se ha constituido un derecho de servidumbre perpetua a favor de la empresa Luz del Sur S.A, sobre un área de 4 113,43 m<sup>2</sup> conforme aparece inscrito en el asiento 3-d de la Ficha Registral N° 311310;

Que, de acuerdo a la información remitida a esta Superintendencia por el Ministerio de Defensa - Ejército del Perú, entidad que mantenía la posesión del inmueble, se determinó que 5 871,60 m<sup>2</sup> constituían sección de vía de la prolongación de la antigua carretera Panamericana Sur (actual Av. Defensores del Morro) y un área aproximada de 20 702,20 m<sup>2</sup> se encontraba ocupada por vía pública (losas deportivas y calles de acceso al Asentamiento Humano Buenos Aires de Villa), dando como resultado la

*J.R.*

17 MAY 2007  
COPIA AUTENTICADA DE  
DOCUMENTO ORIGINAL



existencia de un área de 119 478,12 m<sup>2</sup> que se encontraba cercada y ocupada por las instalaciones militares;

Que, mediante los oficios N° 0096-2005-MML/PROTRANSPORTE-IMPL/PE de fecha 27 de julio del 2005; 353D-10.J.2/10.00 de fecha 02 de Agosto del 2005 y 0471-2005-JGAADM/JA/MINSA de fecha 09 de agosto del 2005, el Instituto Metropolitano Protransporte de Lima de la Municipalidad Metropolitana de Lima, el Ministerio de Defensa - Ejército del Perú y el Ministerio de Salud, respectivamente, solicitan la afectación en uso de parte del área de 119 478,12 m<sup>2</sup>, con la finalidad de implementar proyectos de desarrollo social diferenciados;

Que, mediante la Resolución N° 076-2005/SBN-GO-JAD de fecha 31 de agosto de 2005, se aprueba la afectación en uso a favor del Instituto Metropolitano Protransporte de Lima de la Municipalidad Metropolitana de Lima, Ministerio de Defensa - Ejército del Perú y el Ministerio de Salud, respecto de las áreas de 39 549,44 m<sup>2</sup>, 39 928,68 m<sup>2</sup> y 40 000,00 m<sup>2</sup>, respectivamente;

Que, las áreas materia de disposición fueron definidas tomando como base la información técnica del anteproyecto presentado por el Ministerio de Defensa - Ejército del Perú;

Que, posteriormente con fecha 05 de diciembre de 2006, profesionales de la Jefatura de Adjudicaciones realizaron una inspección ocular sobre el área materia de disposición, la misma que fue contrastada con un levantamiento de información técnica realizada por encargo del Sector Salud, verificándose discrepancias con las áreas dispuestas en mérito a la Resolución N° 076-2005/SBN-GO-JAD;

Que, se ha determinado que una extensión de 5.871,60 m<sup>2</sup>, constituye sección de vía de la prolongación de la antigua carretera Panamericana Sur (actual Av. Defensores del Morro) y un área aproximada de 21 191,63 m<sup>2</sup> corresponde a las calles de acceso al Asentamiento Humano Buenos Aires de Villa;

Que, tomando en cuenta lo señalado en el considerando precedente y que se ha constituido un derecho de servidumbre perpetua a favor de la empresa Luz del Sur S.A. sobre un área de 4 113,43 m<sup>2</sup>, se ha calculado un área real de 118 988,69 m<sup>2</sup> que estuvo ocupada por instalaciones militares, la misma que debe ser materia de disposición;

Que, es necesario efectuar la modificación de las áreas y medidas de las extensiones dispuestas en mérito a la Resolución N° 076-2005/SBN-GO-JAD de fecha 31 de agosto de 2005, a fin de que las mismas correspondan a los espacios físicos reales que se han destinado a cada entidad dentro del predio estatal;

Que, mediante Oficio N° 072-2007/JGAAD/MINSA de fecha 26 de enero del 2007, el Ministerio de Salud solicita la modificación de la finalidad del predio afectado a su sector a efectos de que se destine exclusivamente a la construcción de la nueva sede del Instituto Nacional de Rehabilitación.

Que, la afectación en uso es el derecho que permite usar y administrar predios de propiedad del Estado a título gratuito, para un fin compatible con las funciones del Estado, de conformidad con lo dispuesto en el Artículo 78° del Decreto Supremo N° 154-2001-EF "Reglamento General de Procedimientos Administrativos de los Bienes de Propiedad Estatal";

COPIA AUTENTICADA DE DOCUMENTO ORIGINAL

17 MAY 2007  
Abog. CARLOS HUMBERTO RODRIGUEZ BARRON



Que, la afectación en uso se otorga para un fin determinado compatible con las funciones del Estado, pudiendo éste desafectar el terreno si la entidad afectataria incurre en las causales previstas en el artículo 96° del Decreto Supremo N° 154-2001-EF "Reglamento General de Procedimientos Administrativos de los Bienes de Propiedad Estatal", modificado por los Decretos Supremos N° 042 y 195-2006-EF;

Que, las afectaciones en uso de propiedad estatal, se otorgarán a favor de las entidades del Sector Público Nacional y excepcionalmente a favor de personas naturales o instituciones privadas que realicen actividades afines con el interés público y se aprueban mediante Resolución de la Superintendencia de Bienes Nacionales, de conformidad con lo dispuesto por el Artículo 87° del Decreto Supremo N° 154-2001-EF "Reglamento General de Procedimientos Administrativos de los Bienes de Propiedad Estatal" modificado por el Decreto Supremo N° 107-2003-EF y concordado con el artículo 3° literal b) del Decreto de Urgencia N° 071-2001;

Que, estando a lo expuesto en los Informes Técnico Legales N° 0044-2007/SBN-GO-JAD, N° 045-2007/SBN-GO-JAD y N° 046-2007/SBN-GO-JAD, de fecha 25 de enero del 2007, se considera pertinente proceder a la modificación de las afectaciones dispuestas en la Resolución N° 076-2005/SBN-GO-JAD de fecha 31 de agosto de 2005, respecto al área y finalidad de las mismas;

Que, de conformidad con el artículo 117° del Reglamento de Inscripciones del Registro de Predios es factible la inscripción de la afectación en uso respecto de parte de un predio, sin necesidad de efectuar previamente la independización;

Que conforme se vaya dando la ejecución de los proyectos y cumplimientos de las finalidades de las respectivas afectaciones en uso, esta Superintendencia evaluará la factibilidad de proceder a la transferencia de propiedad de cada una de las áreas afectadas en uso;

Que, los incisos a) y l) del artículo 41° de la Resolución de Superintendencia N° 315-2001/SBN, de fecha 03 de setiembre del 2001, que aprueba el Reglamento de Organización y Funciones de la Superintendencia de Bienes Nacionales, faculta a la Jefatura de Adjudicaciones a afectar en uso la propiedad inmobiliaria estatal, así como emitir en primera instancia las Resoluciones de su competencia;

De conformidad con lo establecido en el Decreto Ley N° 25556 modificado por Decreto Ley N° 25738, Ley N° 27395, Decreto Ley N° 25554 modificado por Decreto de Urgencia N° 071-2001, Decreto Supremo N° 131-2001-EF, Decreto Supremo N° 107-2003-EF, modificado por los Decretos Supremos N° 107-2003-EF, 042-2006-EF, 195-2006-EF y 164-2006-EF, Resolución N° 315-2001/SBN y Resolución N° 003-2007/SBN;

**SE RESUELVE:**

**Artículo 1°.-** Modificar lo dispuesto en el Artículo 1° de la Resolución N° 076-2005/SBN-GO-JAD de fecha 31 de agosto de 2005, de acuerdo al siguiente texto: "Afectar en uso a favor del Instituto Metropolitano Protransporte de Lima de la Municipalidad Metropolitana de Lima, de conformidad con el plano N° 119-2007/SBN-GO-JAD que es parte integrante de la presente resolución, el predio de 37 774,48 m<sup>2</sup>, que forma parte de un área mayor de propiedad del Estado, inscrita en la Ficha Registral N° 311310 con continuación en la Partida Electrónica N° 42164526 del Registro de Predios de Lima, a fin de que sea destinado a patio sur del nuevo sistema metropolitano de transporte público".

*[Handwritten signature]*

*[Handwritten signature]*

17 MAY 2007  
COPIA AUTENTICADA DE  
DOCUMENTO ORIGINAL





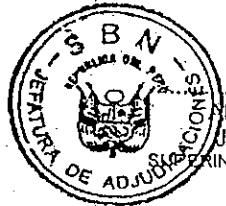
**Artículo 2°.-** Modificar lo dispuesto en el Artículo 2° de la Resolución N° 076-2005/SBN-GO-JAD de fecha 31 de agosto de 2005, de acuerdo al siguiente texto : "Afectar en uso a favor del Ministerio de Defensa - Ejército del Perú, de conformidad con el plano N° 119-2007/SBN-GO-JAD que es parte integrante de la presente resolución, el predio de 43 678,07 m², que forma parte de un área mayor de propiedad del Estado, inscrita en la Ficha Registral N° 311310 con continuación en la Partida Electrónica N° 42164526 del Registro de Predios de Lima, a fin de que sea destinado al funcionamiento de instalaciones militares".

**Artículo 3°.-** Modificar lo dispuesto en el Artículo 3° de la Resolución N° 076-2005/SBN-GO-JAD de fecha 31 de agosto de 2005, de acuerdo al siguiente texto: "Afectar en uso a favor del Ministerio de Salud, de conformidad con el plano N° 119-2007/SBN-GO-JAD que forma parte integrante de la presente resolución, el predio de 37 536,14 m², que forma parte de un área mayor de propiedad del Estado, inscrita en la Ficha Registral N° 311310 con continuación en la Partida Electrónica N° 42164526 del Registro de Predios de Lima, a fin de que sea destinado a la construcción de la Sede del Instituto Nacional de Rehabilitación Doctora Adriana Rebaza Flores".

**Artículo 4°.-** Las afectaciones en uso dispuestas en los artículos precedentes se encuentran sujetas a las causales de desafectación previstas en el artículo 96° del Decreto Supremo N° 154-2001-EF y sus modificatorias.

**Artículo 5°.-** La Zona Registral N° IX - Sede Lima de la Superintendencia Nacional de los Registros Públicos, por el mérito de la presente Resolución, procederá a inscribir lo resuelto en los artículos primero, segundo, tercero y cuarto.

Regístrese y Comuníquese.



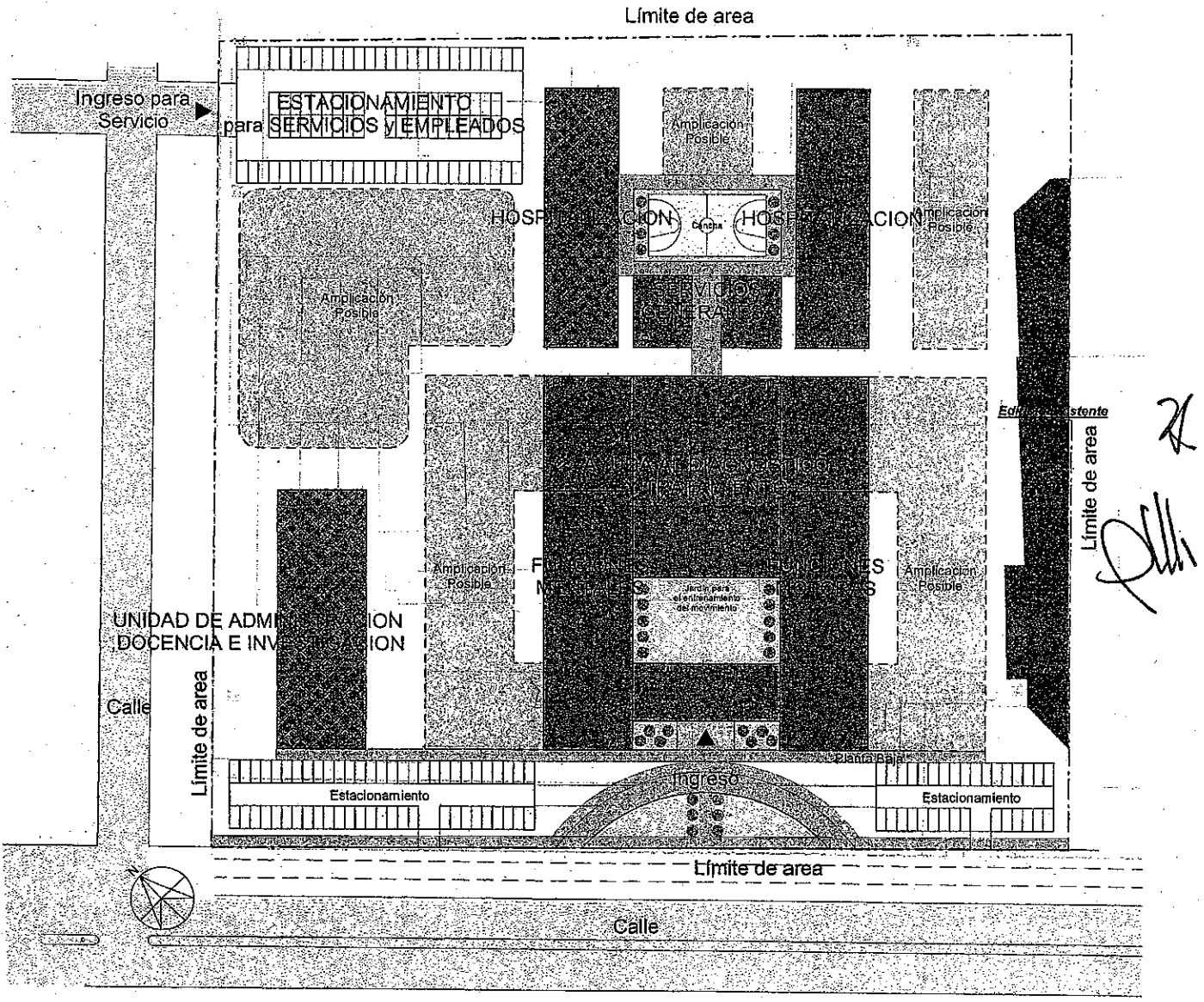
*Franso*  
Abog. Franco Soria Palacios  
Jefe (e) de Adjudicaciones  
SUPERINTENDENCIA DE BIENES NACIONALES

17 MAY 2007  
COPIA AUTENTICADA DE  
DOCUMENTO ORIGINAL

*Carlos*  
Abog. CARLOS HUMBERTO RODRIGUEZ BARRON  
Fidatario Alterno  
SUPERINTENDENCIA DE BIENES NACIONALES



EL PROYECTO DE LA CONSTRUCCIÓN DEL  
INSTITUTO NACIONAL DE REHABILITACIÓN EN LA REPÚBLICA DE PERÚ  
Plano de Ubicacion y Divisiones de las ambos países

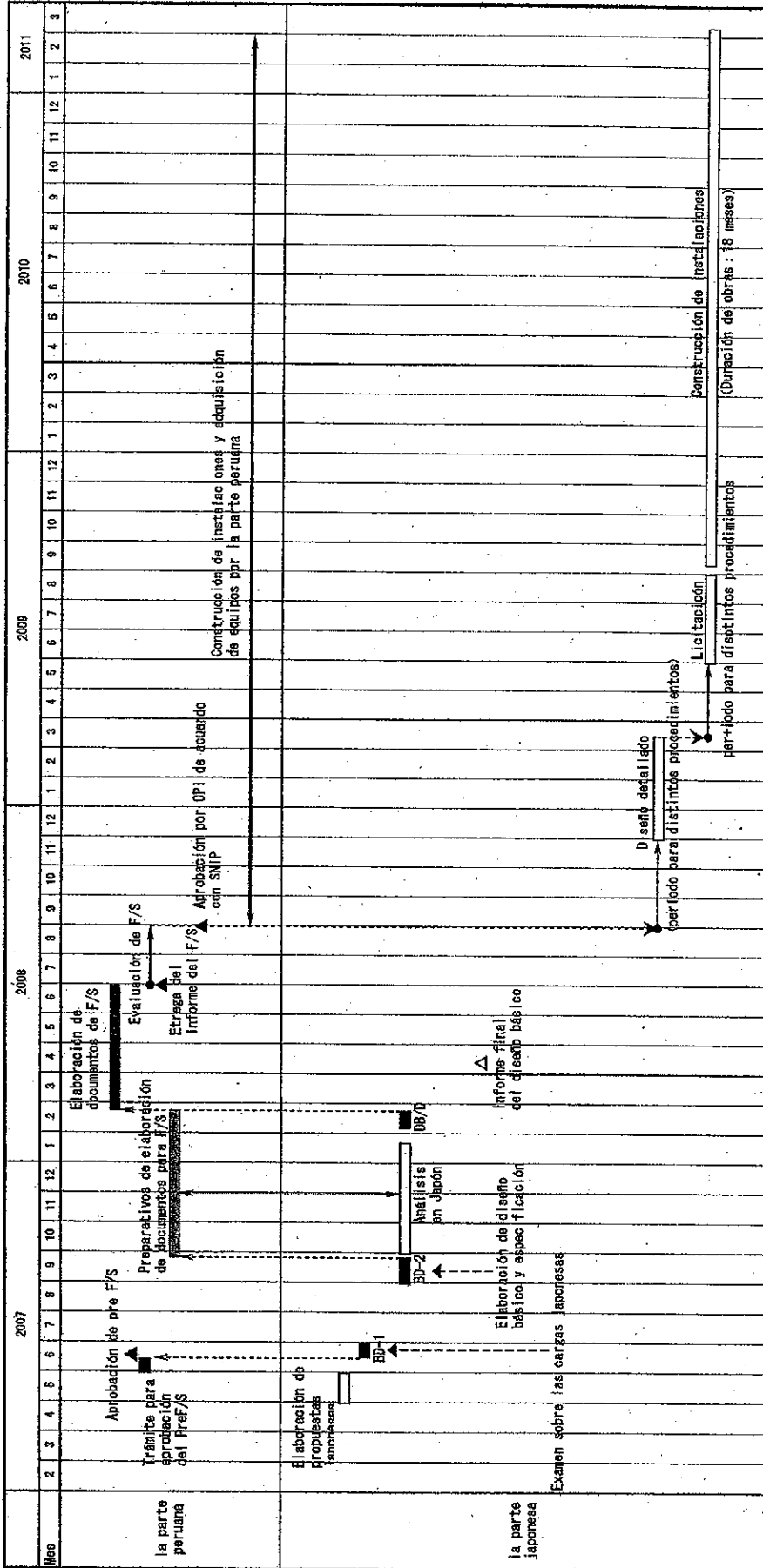


Scale: 1/2000(A4)

Plano de Ubicación

\*Alguna parte del área de Servicios Generales que no es prioritaria estará a cargo de la parte peruana.

Cronograma de ejecución tentativo



*Handwritten signature*

ペルー共和国  
国立障害者リハビリテーションセンター建設計画基本設計調査  
第一次現地調査協議議事録  
(抜粋)

ペルー共和国(以下、「ペルー国」と称す。)政府からの要請に応え、日本国政府は「国立障害者リハビリテーションセンター建設計画」(以下、「プロジェクト」と称す。)に係る基本設計調査の実施を決定し、その調査実施を独立行政法人国際協力機構(以下、「JICA」と称す。)に委託した。

JICAは、無償資金協力部業務第二グループ長 原田秀明を団長とする基本設計調査団(以下、「調査団」と称す。)をペルー国へ派遣し、調査団は2007年6月18日から6月29日までペルー国に滞在する予定である。

調査団は、ペルー国政府関係者(以下、「ペルー側」と称す。)と協議を行うとともに、現地調査を実施した。

一連の協議と現地調査の結果、ペルー側・日本側双方は、付属書に記述された主要項目につき確認を行った。調査団は、帰国後日本側関係者に本確認事項を報告し、結果について合意が得られた後に第二次現地調査団が派遣される予定である。

2007年6月27日、リマ

---

原田 秀明  
総括  
基本設計調査団  
JICA

---

Arq. Hernán Roig Arosemena  
プロジェクト調整官  
国際協力室  
保健省  
ペルー共和国

---

Dr. Juan Daniel Guillón Cabrejos  
院長  
国立障害者リハビリテーションセンター  
ペルー共和国

## 付属書

### 1. プロジェクトの目的

本プロジェクトの目的は、国立障害者リハビリテーションセンターの全面移転計画の一部となる運動リハビリテーション部門および関連部門の施設を建設し、関連医療機材を整備することにより、当該センターの障害者リハビリテーションサービス提供体制が強化され、ペルー国における障害者リハビリテーションへの診察・治療へのアクセスが向上することである。

### 2. プロジェクトの対象

本プロジェクトの対象は、国立障害者リハビリテーションセンターである。

なお、対象病院の新設予定地については、別添 1 に示すとおり。

#### 責任機関及び実施機関

本プロジェクトの責任機関はペルー国保健省、実施機関は国立障害者リハビリテーションセンターである。

### 3. ペルー国政府からの要請内容

調査団との協議の結果、ペルー側は、国立障害者リハビリテーションセンターの全体移転計画のうち、別添 2 に示す範囲の施設の建設を日本側に要請した。特に、ペルー側は、運動機能リハビリテーション部門に加えて、精神機能リハビリテーション部門の一部についても日本側が支援することを強く要請した。JICA は、要請の妥当性を検証し、日本国政府に報告する。ただし、本プロジェクトが対象とする施設の規模・内容の詳細、および機材の内容、数量の詳細については、今後実施予定の第二次現地調査で再度検討がなされる予定である。また、機材に関する要請に関して、ペルー側は、2005 年 10 月に行われた予備調査において要請された内容から追加・変更がある場合には 2007 年 7 月 31 日までに JICA ペルー事務所に対して書面で伝達することを約束した。

### 4. 日本の無償資金協力スキーム

(1) 調査団は、別添 3 に記載された日本の無償資金協力スキームをペルー側に説明し、ペルー側はそれを理解した。

(2) ペルー側は、日本の無償資金協力が実施された場合には、本プロジェクトの円滑な実施のために、別添 4 に記載された必要な措置を取ることを約束した。

(3) ペルー側は、本ミニッツによる JICA との合意は、本プロジェクトそのものの実施を日本側が約束するものではないことについて了解した。

### 6. 調査スケジュール

(1) JICA は、今回の現地調査結果および合意内容を日本政府に対して調査団帰国後に説明する。

(2) JICA は、施設建設の規模・内容、機材調達の内容および数量・仕様等を検討するため、2007 年 9 月上旬に第二次現地調査団を派遣する。調査団の派遣に際しては、第一次現地調査の結果および合意事項、第二次現地調査の調査項目および作業工程を説明するためのインテリム・レポートをスペイン語で作成し、第二次現地調査の冒頭でペルー側に説明する。

## 7. その他協議事項

### (1) 建設予定地について

双方は、国立障害者リハビリテーションセンターの移転予定地を、別添1に示されたサイトとすることで合意した。また、双方は別添5に示されているとおり同土地はペルー国有地であり、使用権が保健省にあり、用地確保済みであることを確認した。ペルー側は、本計画が実施に移される場合には建設予定地に存在する既存の建屋の撤去、地価埋設物の撤去、および整地を日本側工事着工前までに完了することを約束した。

### (2) 全体移転計画における両国の責任分担、施設配置計画について

双方は、国立障害者リハビリテーションセンターの全体移転計画における各部門の配置計画について、別添6に示された概念平面図を基に今後の検討を進めることについて合意した。

### (3) 全体移転の工期について

ペルー側は、日本側負担部分以外のペルー側負担で実施予定の国立障害者リハビリテーションセンターの移転に関し、別添7に示した工程案に基づき、日本側負担による施設供用時期と同時期の全体施設の移転・供用のための工程計画を検討し、これに必要な予算措置等の所要の手続きを講じていくことについて合意した。また、日本側はこれらの所要の作業を円滑に進めるため、基本設計調査で得られた各種の結果を基に適宜ペルー側と協力していくことに合意した。

### (4) F/S のスケジュールについて

SNIP(公共投資審査システム)の承認プロセスの一環としてペルー側が実施を予定するF/Sに関して、ペルー側は日本側が実施予定の基本設計調査における施設・機材の内容と整合的な内容とするため、基本設計調査の実施時期を配慮しつつ行うことについて合意した。

### (5) 人員・予算の配置について

1) ペルー側は、本プロジェクトが実施される場合、本プロジェクトにより建設された施設及び調達された機材の運営維持管理に必要な人員と予算を適切に用意することを約束した。

2) ペルー側は、日本の無償資金協力を理解した上で、特に、本プロジェクトの実施に係る輸入税、付加価値税等ペルー国内において課される全ての税を免除することを確認し、履行のために必要な措置を採ることを約束した。

#### 別添1：対象サイト位置図

2：要請施設部門リスト

3：無償資金協力をスキーム

4：両国政府の負担事項

5：土地使用承認文書

6：全体移転計画・平面図(案)

7：実施工程(案)

要請施設部門リスト

- (1) 外来診療部門
  - 1) 受付
  - 2) 運動機能リハビリテーション部門
  - 3) 精神機能リハビリテーション部門
  
- (2) 診療支援部門
  - 1) 検査、薬局、歯科、X線
  - 2) 義肢装具製作所
  - 3) 中央滅菌材料部
  
- (3) 病棟（50床）
  
- (4) サービス部門

**MINUTA DE DISCUSIONES**  
**SOBRE EL SEGUNDO ESTUDIO LOCAL DEL ESTUDIO DE DISEÑO BASICO PARA**  
**EL PROYECTO DE CONSTRUCCION DE LA NUEVA SEDE DEL INSTITUTO**  
**NACIONAL DE REHABILITACION "DRA. ADRIANA REBAZA FLORES"**  
**EN LA REPUBLICA DEL PERU**

En respuesta a la solicitud del Gobierno de la República del Perú (en adelante se denominará "Perú"), el Gobierno del Japón decidió realizar un Estudio de Diseño Básico sobre el Proyecto de Construcción de la Nueva Sede del Instituto Nacional de Rehabilitación "Dra. Adriana Rebaza Flores" (en adelante se denominará "el Proyecto") y encargó dicho estudio a la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en adelante se denominará "JICA").

JICA envió al Perú una Misión del Estudio de Diseño Básico ( en adelante se denominará "la Misión") encabezado por el Ing. Shumon YOSHIARA, Jefe del Equipo de Salud, Segundo Grupo del Departamento de la Cooperación Financiera No Reembolsable de JICA. La Misión permanecerá en el Perú desde el 3 de septiembre hasta el 27 de septiembre de 2007.

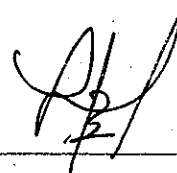
La Misión sostuvo una serie de discusiones con las autoridades interesadas del Gobierno del Perú y realizó también los estudios locales.

Como consecuencia de dichas discusiones y estudios locales, ambas partes comprobaron los ítems relevantes descritos en el documento adjunto. La Misión, después de regresar al Japón, elaborará el informe del estudio de diseño básico.

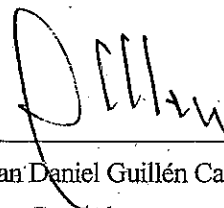
Lima, 14 de septiembre de 2007.



Ing. Shumon YOSHIARA  
Jefe de la Misión del Estudio de  
Diseño Básico  
JICA



Arq. Hernán Roig Arosemena  
Coordinador General del Proyecto  
Oficina de Cooperación Internacional  
Ministerio de Salud  
República del Perú



Dr. Juan Daniel Guillén Cabrejos  
Director General  
Instituto Nacional de Rehabilitación  
"Dra. Adriana Rebaza Flores"



## DOCUMENTO ADJUNTO

### 1. Contenido del Informe intermedio

La parte peruana comprendió y acordó básicamente sobre el contenido del informe intermedio explicado por la Misión. El borrador del plan de distribución de instalaciones en el plan general de traslado se menciona en el Anexo-1.

### 2. Objeto del Proyecto

La entidad objeto del Proyecto es el Instituto Nacional de Rehabilitación Dra. Adriana Rebaza Flores. Y, con respecto al predio donde está previsto construirse la Nueva Sede de la entidad objeto y su derecho al uso, ambas partes confirmaron nuevamente lo que está descrito en el Anexo-1 y Anexo-5 de la Minuta firmada el día 27 de junio de 2007.

### 3. Entidad responsable y ejecutora

La entidad responsable del Proyecto es el Ministerio de Salud de la República del Perú y la entidad ejecutora es el Instituto Nacional de Rehabilitación "Dra. Adriana Rebaza Flores". Los organigramas del Ministerio de Salud y del Instituto Nacional de Rehabilitación "Dra. Adriana Rebaza Flores" se muestran en el Anexo-2 y Anexo-3.

### 4. Contenido de la solicitud presentada por el Gobierno del Perú

Como consecuencia de las discusiones sostenidas, la parte peruana, dentro del plan general de traslado de dicho Instituto, solicitó definitivamente a la parte japonesa la construcción de las instalaciones mostradas en el Anexo-4 y la provisión de equipos mostrados en el Anexo-5. En especial, la parte peruana, con respecto a la solicitud de instalaciones, solicitó a la parte japonesa que esta ayudara también el departamento de aprendizaje, y el de deficiencias intelectuales y adaptaciones sociales del área de funciones mentales.

JICA verificará la pertinencia de dicha solicitud y se lo informará al Gobierno del Japón. Sin embargo, con respecto a la magnitud y contenido de dichas instalaciones y contenido y cantidad de equipos del Proyecto, será determinado después de hacer análisis en el Japón.

### 5. Esquema de la cooperación financiera no reembolsable

La parte peruana comprendió el esquema de la cooperación financiera no reembolsable del Japón y las responsabilidades de la parte peruana, explicado por la Misión y descrito en el Anexo-3 y el Anexo-4 de la Minuta firmada entre ambas partes el día 27 de junio de 2007.

## 6. Cronograma del Estudio

- (1) Los miembros de la parte consultora continuarán con los estudios locales hasta el 27 de septiembre de 2007 en el Perú.
- (2) JICA elaborará en español el borrador del informe final y enviará la Misión en febrero de 2008 para explicar su contenido.
- (3) En caso de que el contenido del borrador del informe final sea aceptado por la parte peruana, dicha parte ejecutará el estudio de factibilidad como parte del proceso de aprobación del SNIP, relacionado con la ejecución del plan general de traslado. La parte peruana prometió que el contenido de su estudio de factibilidad tendrá coherencia con el contenido de las instalaciones y equipamiento examinados a través del presente estudio de diseño básico. Paralelo al trabajo de la parte peruana, JICA elaborará en español el informe final y lo hará llegar a la parte peruana alrededor del mes de junio de 2008.

## 7. Otros puntos discutidos

### (1) Distribución de recursos humanos y presupuesto

La parte peruana, en caso de ejecutarse el Proyecto, se compromete a disponer de recursos humanos y presupuesto necesarios y adecuados para el mantenimiento de las nuevas instalaciones que se construyeran y de equipos que se suministraran a través del Proyecto.

### (2) Responsabilidad de conservar la confidencialidad

Ambas partes acuerdan no revelar a terceros no relacionados con el Proyecto todos los datos del mismo tales como: los documentos de diseño y las especificaciones de los equipos antes de terminar los procedimientos de la licitación del Proyecto.

### (3) Medidas de exoneración de impuestos

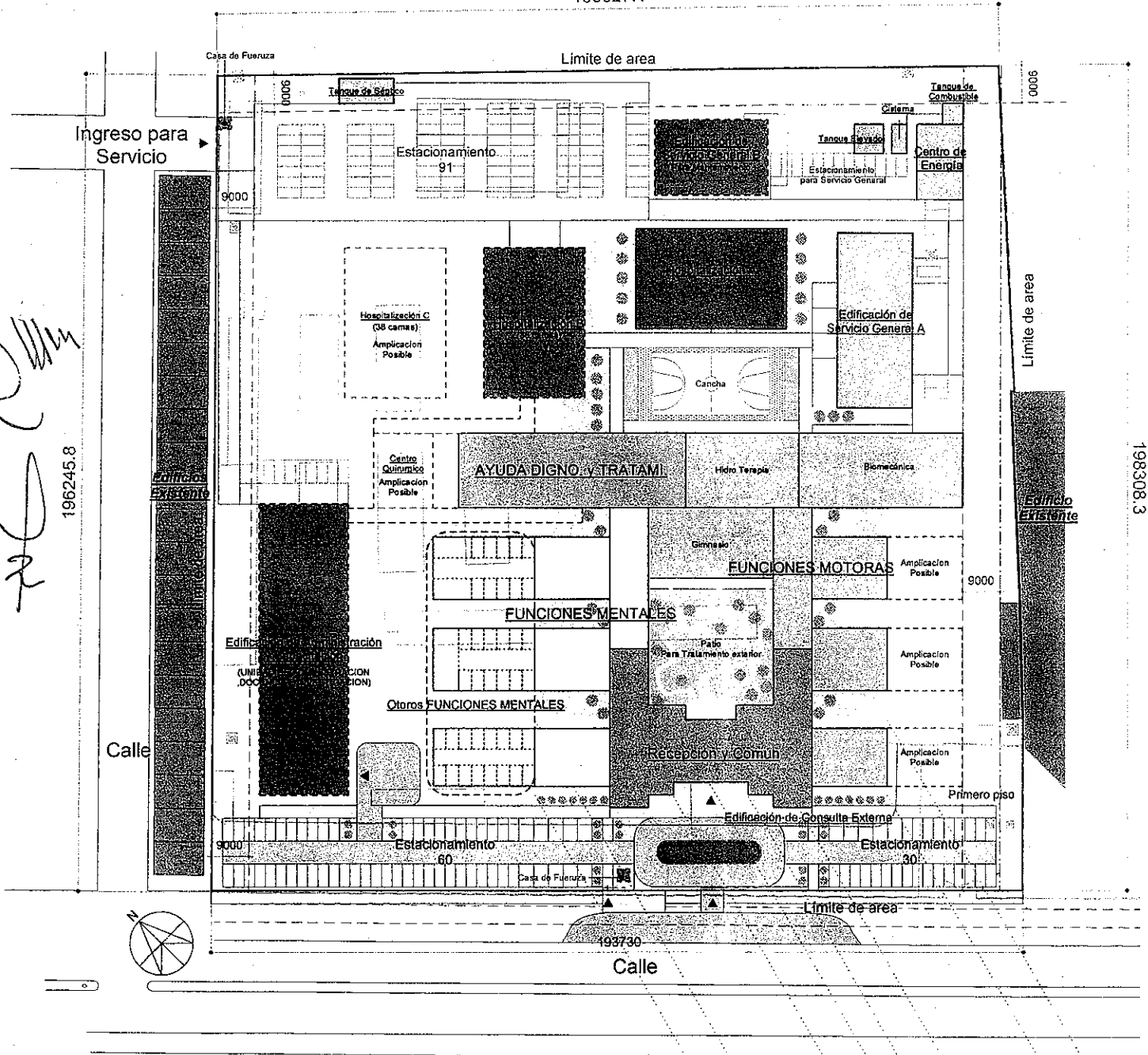
- 1) La parte peruana, con respecto a las medidas de exoneración de impuestos, se compromete informar a la parte japonesa sobre los procedimientos para la exoneración de impuestos durante la permanencia de la presente Misión del estudio de diseño básico en coordinación con las entidades peruanas relacionadas.
- 2) La parte peruana manifestó a la parte japonesa que al momento de firmar el acuerdo del servicio de consultoría en la etapa de ejecución del Proyecto no requeriría de carta de fianza ni carta de cumplimiento.

## Anexo 1. Plano de ubicación en el plan general de traslado

2. Organigrama del Ministerio de Salud
3. Organigrama del Instituto Nacional de Rehabilitación "Dra. Adriana Rebaza Flores"
4. Plan general de construcción de instalaciones y contenido de la solicitud presentada a la parte japonesa
5. Plan general de equipamiento y contenido de la solicitud presentada a la parte japonesa

EL ESTUDIO DE DISEÑO BÁSICO PARA EL PROYECTO DE CONSTRUCCIÓN DE LA NUEVA SEDE DEL INSTITUTO NACIONAL DE REHABILITACIÓN "DRA. ADRIANA REBAZA FLORES" EN LA REPÚBLICA DEL PERÚ  
 Plano de Ubicación  
 (Planta de Unidades)

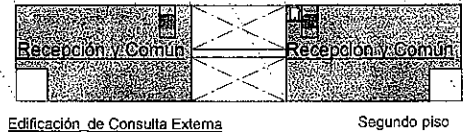
186027.1



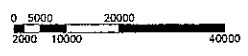
*Handwritten signature*  
 198245.8

198308.3

- Funciones Motoras
- Funciones Mentales
- Ayuda Dignó. y Tratami.
- Servicio General
- Recepción y Común
- Hospitalización
- Esta Parte para Obla de Perú



*Handwritten number 87*





**ORGANIGRAMA DEL INSTITUTO ESPECIALIZADO DE REHABILITACION**

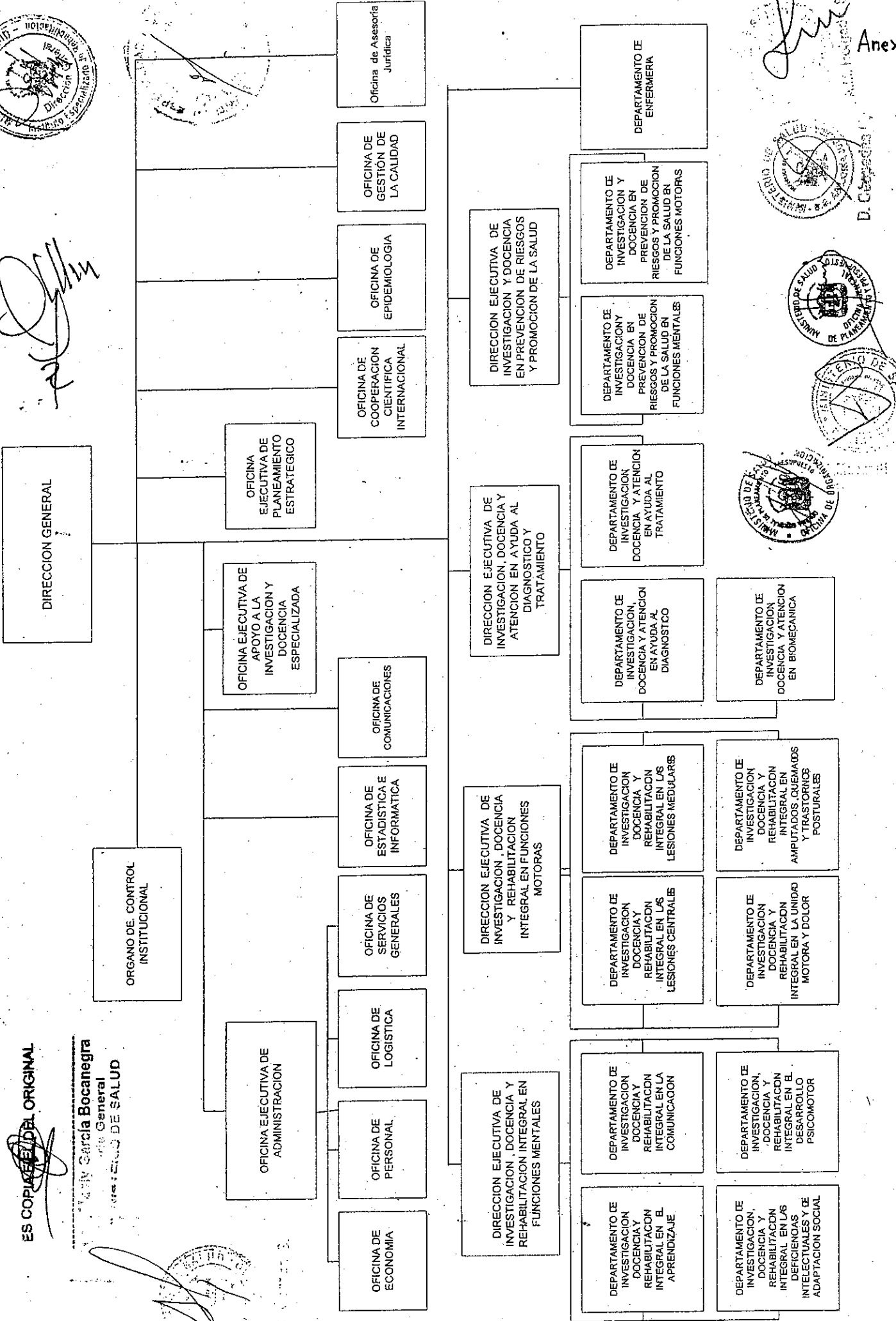


*[Handwritten signature]*

ES COPIA DEL ORIGINAL

**Lucy García Bocanegra**  
Directora General  
INSTITUTO ESPECIALIZADO DE SALUD

*[Handwritten signature]*



Anexo-  
*[Handwritten signature]*  
D. C. García

MINISTERIO DE SALUD  
SECRETARÍA DE PLANEACIÓN  
INSTITUTO ESPECIALIZADO DE REHABILITACION

MINISTERIO DE SALUD  
SECRETARÍA DE PLANEACIÓN  
INSTITUTO ESPECIALIZADO DE REHABILITACION

MINISTERIO DE SALUD  
SECRETARÍA DE PLANEACIÓN  
INSTITUTO ESPECIALIZADO DE REHABILITACION

84

Plan general de construcción de instalaciones  
y contenido de la solicitud presentada a la parte japonesa

| División                                      | Instalaciones                              | Unidades y principales salas   | Prioridad  |   |
|---|--|--|--|---|
| Instalaciones solicitadas a la parte japonesa | Pabellón de Consulta Externa (ambulatoria) | Recepción y Consulta Externa   | ⊙  |   |
|   |  | Rehabilitación de Funciones Motoras  | ⊙  |   |
|   |  | Rehabilitación de Funciones Mentales   | departamento de rehabilitación integral en la comunicación y el de desarrollo psicomotor | ⊙ |
|   |  |  | departamento de aprendizaje y el de deficiencia intelectual y adaptación social          | ○ |
|   |  | Unidad de Ayuda al Diagnóstico y Tratamiento                                       | ⊙  |   |
|   | Hospitalización A                          | Sala de hospitalización con 38 camas y las salas anexas                            | ⊙  |   |
|   | Pabellón de Servicios Generales A          | Cocina / comedor y lavandería  | ⊙  |   |
|   | Centro de Energía                          | Sala de control eléctrico, casa de fuerza, sala de caldera                         | ⊙  |   |
| Contrapartida peruana                         | Pabellón de Administración y Capacitación  | Salas de la Unidad de Administración, aulas, biblioteca, auditorio, etc.           | —  |   |
|   | Hospitalización B                          | Sala de hospitalización con 38 camas y las salas anexas                            | —  |   |
|   | Pabellón de Servicios Generales B          | Administración, Mantenimiento (talleres de carpintería de madera y metálica, etc.) | —  |   |

## Notas :

⊙ : Instalaciones solicitadas a la parte japonesa

○ : Instalaciones solicitadas a la parte japonesa, en caso de que no se incluya en el Proyecto después de examinárselas por la parte japonesa, se cubrirán por la parte peruana.

## Plan general de equipamiento y contenido de la solicitud presentada a la parte japonesa

| Co. N0. | Descripción   | Japón | Perú |
|---------|---|-------|------|
| C-1     | Minigym   | ○     | △    |
| C-2     | Parapodium digital para niños   |       | ◎    |
| C-3     | Computadora con software especializado en comunicación                        | ○     | △    |
| C-4     | Computadora con software especializado para entrenamiento en retardo mental   | ○     | △    |
| C-5     | Equipo de fibra optica para estimulación visual y tactil                      |       | ◎    |
| C-6     | Computadora con software especial y accesorios, para problemas de aprendizaje | ○     | △    |
| C-7     | Optiflex - movimiento pasivo continuado                                       | ○     | △    |
| C-8     | Mesa de bipedestación eléctrica para niño con tablero                         | ○     | △    |
| C-10    | Congeladoras para compresas frías   | ○     | △    |
| C-11    | Refrigeradora pequeña (tipo frío bar)   |       | ◎    |
| C-12    | Juego de Hidrocolectores con juego de compresas calientes                     | ○     | △    |
| C-13    | Tanques calentadores para cera de parafina                                    | ○     | △    |
| C-14    | Unidad de tracción cervical y lumbar con 2 camillas                           | ○     | △    |
| C-15    | Unidad para terapia de onda corta con accesorios                              | ○     | △    |
| C-16    | Unidad combinada ultrasonido y electroterapia, con accesorio y mesa           | ○     | △    |
| C-17    | Electroestimuladores portátiles de 4 salidas (EMS)                            | ○     | △    |
| C-18    | Equipo de magnetoterapia con accesorios y mesa digitalizado                   | ○     | △    |
| C-19    | Equipo de electroterapia Bio feedback   | ○     | △    |
| C-21    | Equipo de electroterapia para fortalecimiento muscular con accesorios y mesas | ○     | △    |
| C-22    | Equipo para manejo de escaras con accesorio y mesa                            | ○     | △    |
| C-23    | Mesa de bipedestación electrica para adulto, con tablero                      | ○     | △    |
| C-25    | Máquinas para subir escaleras profesional de sistema magnético                | ○     | △    |
| C-26    | Bandas sin fin  | ○     | △    |
| C-27    | Bicicletas ergométricas   | ○     | △    |
| C-29    | Multigym  | ○     | △    |
| C-30    | Equipos de poleas con pesas para fortalecimiento muscular                     | ○     | △    |
| C-31    | Escalera sueca  | ○     | △    |
| C-32    | Transportador eléctrico de pacientes  | ○     | △    |
| C-33    | Aparato de presoterapia   | ○     | △    |
| C-34    | Equipo láser, elio y neón + scanner   | ○     | △    |
| C-35    | Equipo de laserpuntura  | ○     | △    |
| C-36    | Equipo de laser infraroja   | ○     | △    |
| C-37    | Tanque de HUBBARD con dos turbinas  | ○     | △    |
| C-38    | Tanque de WHIRLPOOL para miembro superior con turbina                         | ○     | △    |
| C-39    | Tanque de WHIRLPOOL para miembro inferior con turbina                         | ○     | △    |
| C-40    | Grúa para traslado de pacientes   | ○     | △    |
| C-41    | Mesa para Operaciones para quirofano  |       | ◎    |
| C-42    | Mesa para Operaciones   | ○     | △    |
| C-43    | Lámpara Cialítica de Techo, 4 Reflectores                                     |       | ◎    |
| C-44    | Equipo de Electrocirugia p/Cirugia Mayor y Menor                              |       | ◎    |
| C-45    | Máquina de Anestesia de Tres Gases con Sistema de Monitoreo                   |       | ◎    |
| C-46    | Lámpara Cialítica de Pie Rodable 5 Reflectores                                |       | ◎    |
| C-47    | Lámpara Cialítica de Pie Rodable 5 Reflectores                                | ○     | △    |
| C-48    | Aspiradora Eléctrica Rodable p/Secreciones                                    |       | ◎    |
| C-49    | Laringoscopio para Adultos y para Niños                                       |       | ◎    |
| C-50    | Bomba de Infusión   |       | ◎    |
| C-51    | Monitor para Funciones Vitales (Pulsocímetro, ECG)                            |       | ◎    |
| C-52    | Oxigeno Baktón-Regulador  |       | ◎    |
| C-53    | Desfibrilador (Equipo de Cardio Versión)                                      |       | ◎    |
| C-54    | Esterilizador Eléctrico al Seco, CAP, 28 LTS.                                 | ○     | ◎    |
| C-55    | Aspiradora Eléctrica Rodable p/Secreciones                                    | ○     | ◎    |
| C-56    | Tensiometro de Pie Rodante de Cuatro Puntos                                   | ○     | ◎    |

| Co. NO. | Descripción   | Japón | Perú |
|---------|---|-------|------|
| C-57    | Cama Clínica Metálica, Rodable p/Adultos, DIM. 202 x 92 x 60 cms. C/Baranda |       | ⊙    |
| C-58    | MONITOR DE FUNCIONES VITALES DE DOS PARAMETROS                              |       | ⊙    |
| C-59    | Vacum (Cámara al vacío para férula)   |       | ⊙    |
| C-60    | Unidad dental   |       | ⊙    |
| C-61    | Çoncine electtrica da cuatro homilla  |       | ⊙    |
| C-62    | Campana ostractora electrica  |       | ⊙    |
| C-63    | Refrigeradora de 12 pes   |       | ⊙    |
| C-64    | Lavadora con secadora   |       | ⊙    |
| C-65    | Home microonda  |       | ⊙    |
| C-66    | Maquina de conser selmii industrial   |       | ⊙    |
| C-67    | Maquina de tejer  |       | ⊙    |
| C-68    | Home para ceramica  |       | ⊙    |
| C-69    | Caladors de bancos  |       | ⊙    |
| C-70    | Taladro de pie  |       | ⊙    |
| D-1     | Audiómetro  | ○     | △    |
| D-2     | Audiómetro de screening   | ○     | △    |
| D-3     | Cabinas audiométricas   | ○     | △    |
| D-4     | Potenciales evocados auditivos (BERA)                                       | ○     | △    |
| D-5     | Equipo de emisiones otoacusticas portátil                                   | ○     | △    |
| D-6     | Equipo de video nistagmografía  |       | ⊙    |
| D-7     | Equipo de electroglotografía  |       | ⊙    |
| D-8     | Camillas neumáticas   | ○     | △    |
| D-9     | Laboratorio análisis de marcha  |       | ⊙    |
| D-10    | Equipo de urodinamia, computarizado,  | ○     | △    |
| D-11    | Espirometro Digital   | ○     | △    |
| D-12    | Tomógrafo axial computarizado   | ○     | △    |
| D-13    | Densitómetro Oseo   |       | ⊙    |
| D-15    | Equipo de Rayos X   | ○     | △    |
| D-16    | Procesador de Rayos X   | ○     | △    |
| D-17    | Microscópios Binoculares  | ○     | △    |
| D-18    | Incubadoras   | ○     | △    |
| D-19    | Autoclave   | ○     | △    |
| D-20    | Desionizador  | ○     | △    |
| D-21    | Espéctrómetro   | ○     | △    |
| D-23    | Microcentrífuga de 24 capilares   | ○     | △    |
| D-24    | Centrífuga de 20 Tubos  |       | ⊙    |
| D-25    | Camara de Flujo Lamariado Tipo 2 (Microbiología)                            | ○     | △    |
| P-1     | Medidores de talla y peso   |       | ⊙    |
| P-2     | Tornillo de Banco (Vertical)  |       | ⊙    |
| P-3     | Molde automático  |       | ⊙    |
| P-4     | Maquina Rectificadora   | ○     | ⊙    |
| P-5     | Compresor   | ○     | △    |
| P-6     | Pistola de Aire Caliente para Soldar Polipropileno                          | ○     | △    |
| P-7     | Yunque  |       | ⊙    |
| P-8     | Horno Eléctrico (Polipropileno)   | ○     | △    |
| P-9     | Bomba de Vácio con Equipo Completo (4 mordazas y mesa de trabajo)           | ○     | △    |
| P-10    | Cizallas  | ○     | △    |
| P-11    | Amoladora a doble cabezal (grande)  |       | ⊙    |
| P-12    | Amoladora a doble cabezal (pequeño)   |       | ⊙    |
| P-13    | Extractor de Polvo  | ○     | △    |
| P-14    | Amoladora de la Correa  |       | ⊙    |
| P-15    | Máquina para labrar madera (horizontal)                                     |       | ⊙    |
| P-16    | Máquina para labrar madera (diagonal)                                       |       | ⊙    |
| P-17    | Máquina Inyectora (Polipropileno)   | ○     | △    |
| P-18    | Máquina de Soldadura Eléctrica  | ○     | △    |
| P-19    | Sierra Cinta de Metal   | ○     | △    |

BY



| Co. NO. | Descripción   | Japón | Perú |
|---------|---|-------|------|
| P-20    | Taladro de Columna  | ○     | △    |
| P-21    | Laminador para Metal  |       | ◎    |
| P-22    | Tornillo de Banco (Lateral)   |       | ◎    |
| P-23    | Máquina Contorno  |       | ◎    |
| P-24    | Máquina de coser recto  |       | ◎    |
| P-25    | Máquina de Coser Industrial   | ○     | △    |
| P-26    | Máquina Anchadora de Calzado  | ○     | △    |
| P-27    | Máquina Desbastadora  | ○     | △    |
| P-28    | Rectificadora multicabezal  |       | ◎    |
| P-29    | Herramientas para la fabricación de calzado                                       |       | ◎    |
| P-30    | Máquina de Soldadura de Gas   | ○     | △    |
| P-31    | Rectificadora doble cabezal   |       | ◎    |
| P-32    | Rectificadora de cinta  |       | ◎    |
| P-33    | Fresadora de pie  |       | ◎    |
| P-34    | Taladro de pie  |       | ◎    |
| P-35    | Taladro de columna  |       | ◎    |
| P-36    | Torno (pequeño)   |       | ◎    |
| P-37    | Torno (medio)   |       | ◎    |
| P-38    | Torno (grande)  | ○     | △    |
| P-39    | Máquina para tomar el molde de socket cuadrilateral de Prótesis arriba de rodilla | ○     | △    |
| P-40    | Escariadora   | ○     | △    |
| P-41    | Sierra Cinta de Madera  | ○     | △    |
| P-42    | Esmeriles   | ○     | △    |
| P-43    | Máquina Dobladora de Tubos Diferentes Medidas                                     | ○     | △    |
| P-44    | Máquina Aparadora   | ○     | △    |
| P-45    | Maquina Rematadora  | ○     | △    |
| P-46    | Máquina Pespunteadora (Cosido de Cerco de Calzado)                                | ○     | △    |
| P-47    | Máquina Coseadora (Cose Suela)  | ○     | △    |
| P-48    | Máquina Cortadora - Desbastadora de Suela y Ribeteadora de Cerco                  | ○     | △    |
| P-49    | Plancha de Zinc   | ○     | △    |
| W-1     | Cama Clínica Metálica, Rodable p/Adultos mas colchon                              | ○     | ◎    |
| W-2     | Un alzamiento para el cuidado paciente  | ○     | △    |
| S-1     | Autoclave (Calor Humedo)  | ○     | △    |
| S-2     | Pupinel (Esterilizador a Calor Seco)  | ○     | △    |
| S-3     | Destilador de Agua  | ○     | △    |
| S-4     | Cocina Electrica de Cuatro Hornillas  | ○     | △    |
| S-5     | Campana Extractora  | ○     | △    |
| S-6     | Refrigeradora   | ○     | △    |
| S-7     | Lavadora de Platos  | ○     | △    |
| S-8     | Horno Microondas  | ○     | △    |
| S-9     | Marmitas de 300 lts Volcables   | ○     | △    |
| S-10    | Maquina Cortadora   | ○     | △    |
| S-11    | Maquina Picadora  | ○     | △    |
| S-12    | Batidora Semindustrial  | ○     | △    |
| S-13    | Licuada Semindustrial   | ○     | △    |
| S-14    | Sarten Volcable Mediana   | ○     | △    |
| S-15    | Calandria de Secado y Planchado Plano   | ○     | △    |
| S-16    | Prensa Para Planchado   | ○     | △    |
| S-17    | Lavadora Automatica   | ○     | △    |
| S-18    | Centrifuga  | ○     | △    |

Notas:

○: Equipo solicitado a la parte japonesa (La prioridad y cantidad de cada equipo se mencionarán en el Memorandum Técnico del cual se conversará entre la parte japonesa y los consultores durante la segunda mitad del período del estudio local.)

◎: Equipo a cubrirse por la parte peruana

△: En caso de que no se incluya en el Proyecto después de examinárselo por la parte japonesa, se cubrirá por la parte peruana.

ペルー共和国  
国立障害者リハビリテーションセンター整備計画基本設計調査  
第二次現地調査協議議事録  
(抜粋)

ペルー共和国(以下、「ペルー国」と称す。)政府からの要請に応え、日本国政府は「国立障害者リハビリテーションセンター整備計画」(以下、「プロジェクト」と称す。)に係る基本設計調査の実施を決定し、その調査実施を独立行政法人国際協力機構(以下、「JICA」と称す。)に委託した。

JICAは、無償資金協力部業務第二グループ保健医療チーム長吉新主門を団長とする基本設計調査団(以下、「調査団」と称す。)をペルー国へ派遣し、調査団は2007年9月3日から9月27日までペルー国に滞在する予定である。

調査団は、ペルー国政府関係者(以下、「ペルー側」と称す。)と協議を行うとともに、現地調査を実施した。

一連の協議と現地調査の結果、ペルー側・日本側双方は、付属書に記述された主要項目につき確認を行った。調査団は、帰国後基本設計調査報告書の作成作業を進める予定である。

2007年9月14日、リマ

---

吉新 主門  
総括  
基本設計調査団  
JICA

---

Arq. Hernán Roig Arosemena  
プロジェクト調整官  
国際協力室  
保健省  
ペルー共和国

---

Dr. Juan Daniel Guillón Cabrejos  
院長  
国立障害者リハビリテーションセンター  
ペルー共和国

## 付属書

### 1. インテリム・レポートの内容

ペルー側は調査団により説明されたインテリム・レポートの内容について基本的に理解し合意した。全体移転計画における配置計画案は別添 1 に示したとおりである。

### 2. プロジェクトの対象

本プロジェクトの対象機関は、国立障害者リハビリテーションセンターである。なお、対象機関の新設予定地、同土地の使用権については、2007年6月27日に署名した討議議事録の別添 1 および別添 5 に示されているとおりであることを双方は再度確認した。

### 3. 責任機関及び実施機関

本プロジェクトの責任機関はペルー国保健省、実施機関は国立障害者リハビリテーションセンターである。ペルー国保健省および国立障害者リハビリテーションセンターの組織図は別添 2 および別添 3 のとおりである。

### 4. ペルー国政府からの要請内容

調査団との協議の結果、ペルー側は、国立障害者リハビリテーションセンターの全体移転計画のうち、最終的に別添 4 に示す施設の建設及び別添 5 に示す機材の調達を、日本側に要請した。**ただし**、施設の要請に関して、ペルー側は精神機能リハビリテーション部門のうち学習障害リハビリテーション科、知的障害・社会適応障害リハビリテーション科についても日本側が支援することを強く要請した。JICA は、要請の妥当性を検証し、日本国政府に報告する。ただし、本プロジェクトの施設の規模・内容、機材の品目・仕様・数量については、今後の国内解析を経て、決定される。

### 5. 日本の無償資金協力スキーム

ペルー側は、調査団により説明され双方が 2007年6月27日に署名した討議議事録の別添 3 および別添 4 に記載された日本の無償資金協力スキームとペルー側に求められる必要な措置について理解した。

### 6. 調査スケジュール

- (1) コンサルタント団員は、2007年9月27日までペルー国で現地調査を継続する。
- (2) JICA は、基本設計概要書をスペイン語で作成し、その内容を説明するために 2008年2月に調査団を派遣する。
- (3) 基本設計調査概要書の内容が、ペルー側に原則受け入れられた場合、ペルー側は全体移転計画の実施にかかる SNIP (公共投資審査システム) の承認プロセスの一環として F/S を実施する。同 F/S において、ペルー側は本基本設計調査により検討された施設・機材の内容と整合的な内容とすることを約束した。この作業と並行し、JICA は最終報告書をスペイン語で作成し、2008年6月までにペルー側に送付する。

## 7. その他協議事項

### (1) 人員・予算の配置について

ペルー側は、本プロジェクトが実施される場合、本プロジェクトにより建設された施設及び調達された機材の運営維持管理に必要な人員と予算を適切に用意することを約束した。

### (2) 守秘義務について

双方は、設計図書、機材仕様書等、本プロジェクトに関連するあらゆる資料を、プロジェクトの入札終了まで関係者以外の第三者に開示しないことを確認した。

### (3) 免税手続きについて

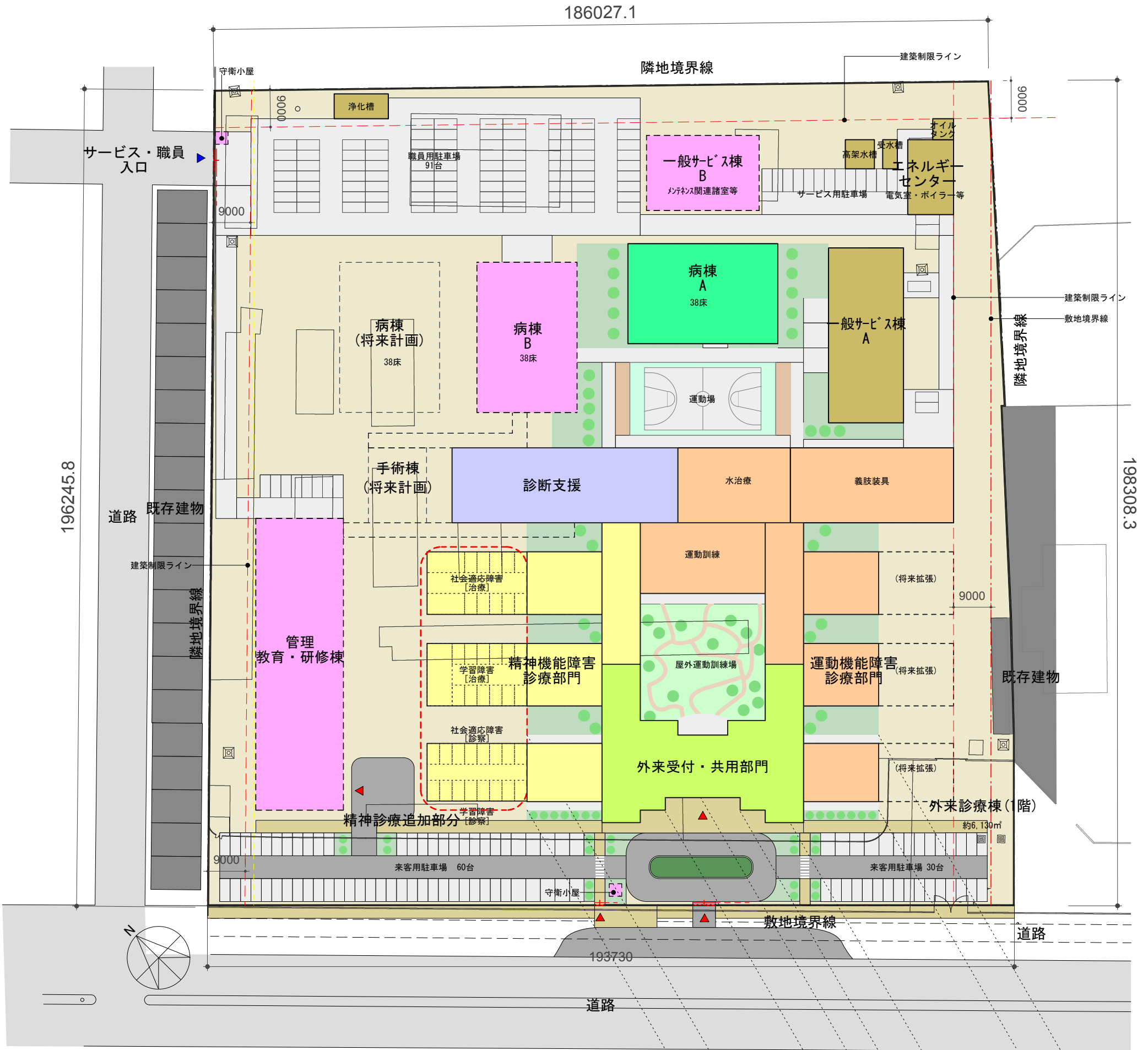
- 1) ペルー側は、免税措置に関し、ペルー側関係機関と調整のうえ、免税方法について、今次調査団滞在中に日本側に報告することを約束した。
- 2) ペルー側は、プロジェクト実施段階において、コンサルタント契約締結に際し、前払保証を含むいかなる履行保証を求めない旨表明した。

## 別添 1：全体移転計画検討図

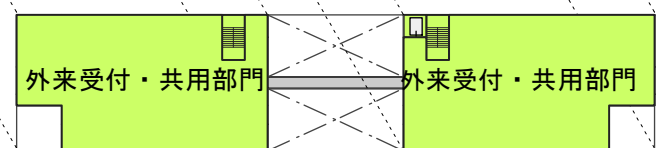
- 2：保健省組織図
- 3：国立障害者リハビリテーションセンター組織図
- 4：全体施設整備計画および日本側への要請内容
- 5：全体整備機材および日本側への要請内容

ペルー国 国立リハビリテーションセンター建設計画 基本設計調査  
 ブロックプラン検討図

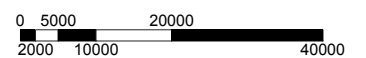
ANEXO 1



- 運動機能障害部門
- 精神機能障害部門
- 診断支援部門
- 一般サービス部門
- 外来受付・共用部門
- 病棟部門
- ペルー側整備範囲



外来診療棟(2階)  
約1,150㎡



## 全体施設整備計画および日本側への要請内容

| 区分        | 施設名称      | 部門および主要諸室  |
|-----------|-----------|--|
| 日本側への要請施設 | 外来診療棟     | 外来受付諸室、運動機能障害リハビリ部、精神機能障害リハビリ部（同部のうち、学習障害リハビリ科および知的障害・社会適応障害リハビリ科の診察室・診療室関連諸室は除く）、診断・治療支援部 |
|           | 病棟 A      | 38 床の病室および関連諸室   |
|           | 一般サービス棟 A | 厨房・食堂、洗濯室  |
|           | エネルギーセンター | 電気室、発電機室、ボイラー室   |
| ペルー側負担工事  | 管理・研修棟    | 管理部門諸室、研修教室、図書室、講堂、等   |
|           | 外来診療棟     | 精神機能障害リハビリ部のうち、学習障害リハビリ科および知的障害・社会適応障害リハビリ科の診察室・診療室関連諸室                                    |
|           | 病棟 B      | 38 床の病室および関連諸室   |
|           | 一般サービス棟 B | 管理事務室、メンテナンス諸室（木工作業、金工作業など）他   |

## 全体整備機材および日本側への要請内容

注：

- ：日本側に要請された機材（各機材の優先度および要請数量は現地調査の後半でペルー側とコンサルタントで協議されるテクニカル・ノートにおいて示される予定である）
- ：ペルー側で整備予定の機材
- ：日本側の検討により計画に含まれなかった場合、ペルー側で整備すべき機材

## MINUTA DE DISCUSIONES

### SOBRE EL ESTUDIO DE DISEÑO BASICO PARA EL PROYECTO DE CONSTRUCCION DE LA NUEVA SEDE DEL INSTITUTO NACIONAL DE REHABILITACION

#### “DRA. ADRIANA REBAZA FLORES” EN LA REPUBLICA DEL PERU

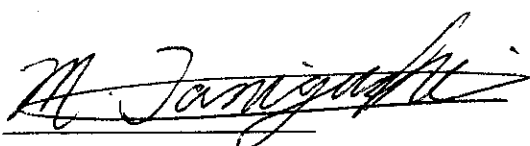
(MISION DE EXPLICACION DEL BORRADOR DEL INFORME DEL ESTUDIO DE DISEÑO BASICO)

La Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en adelante se denominará “JICA”) envió a la República del Perú (en adelante se denominará “Perú”) la Misión del Estudio de Diseño Básico para el Proyecto de Construcción de la Nueva Sede del Instituto Nacional de Rehabilitación “Dra. Adriana Rebaza Flores” dos veces, desde el 18 al 29 de junio de 2007 y desde el 2 al 28 de septiembre del mismo año. Después de mantener conversaciones con las autoridades interesadas del Gobierno del Perú y realizar el estudio de campo y su análisis en Japón, JICA elaboró el Borrador del Informe del Estudio de Diseño Básico.

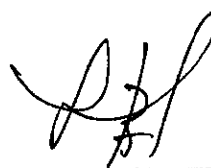
JICA envió al Perú otra Misión de Explicación del Borrador del Informe del Estudio de Diseño Básico (en adelante se denominará “La Misión”) encabezada por el Lic. Makoto TANIGUCHI, Representante Residente de la Oficina de JICA en Perú, desde el 20 al 29 de febrero de 2008, con el fin de explicar y conversar con las autoridades peruanas sobre el contenido del Borrador del Informe del Estudio de Diseño Básico.

Como consecuencia de una serie de discusiones, la parte peruana y la japonesa comprobaron los ítems relevantes descritos en el documento adjunto. La Misión continuará su estudio y elaborará el Informe del Estudio de Diseño Básico.

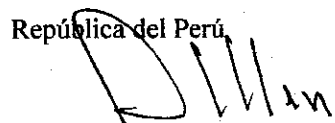
Lima, 29 de febrero de 2008



Lic. Makoto TANIGUCHI  
Jefe de la Misión de Explicación  
del Borrador del Informe del Estudio  
de Diseño Básico  
JICA



Arq. Hernán Roig Arosemena  
Coordinador General del Proyecto  
Oficina de Cooperación Internacional  
Ministerio de Salud,  
República del Perú,



Dr. Juan Daniel Guillén Cabrejos  
Director General  
Instituto Nacional de Rehabilitación  
“ Dra. Adriana Rebaza Flores”

## DOCUMENTO ADJUNTO


### 1. Contenido del Borrador del Informe del Estudio de Diseño Básico

La parte peruana acordó y aceptó básicamente el contenido del Borrador del Informe explicado por la Misión.

### 2. Esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón

La parte peruana comprendió el esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón y las responsabilidades que le corresponde, explicados por la Misión y descritos en el Anexo-3 y el Anexo-4 de la Minuta firmada por los representantes de ambas partes el día 27 de junio de 2007.



### 3. Cronograma del Estudio

- 
- (1) La parte peruana, en base al borrador del proyecto presentado y explicado por la Misión, se comprometió a ejecutar los procedimientos necesarios para la elaboración del estudio de factibilidad en base al Sistema Nacional de Inversión Pública (en adelante se denominará "SNIP"), el cual deberá ser aprobado en julio de 2008. En el desarrollo del estudio de factibilidad, la parte peruana tendrá en cuenta que el contenido de su estudio tenga coherencia con el contenido de las instalaciones y del equipamiento del Estudio de Diseño Básico de la parte japonesa.
  - (2) JICA enviará otra Misión a fines de julio y primeros días de agosto de 2008, con el fin de confirmar el avance de los procedimientos en el SNIP, el contenido del Proyecto e ítems a considerarse, para ejecutarse las obras de construcción en forma paralela por ambas partes.
  - (3) JICA elaborará el Informe final del Estudio de Diseño Básico y lo enviará a la parte peruana antes de fines de noviembre de 2008.

### 4. Conservación de confidencialidad

Ambas partes acordaron no revelar los documentos concernientes al Borrador del Informe del Estudio de Diseño Básico y especificaciones técnicas del equipamiento a terceros, excepto al personal involucrado hasta que termine la licitación del Proyecto.

### 5. Otros puntos conversados

- 
- (1) La Misión explicó sobre el costo aproximado del Proyecto descrito en el Anexo-1. Ambas partes confirmaron que no revelarán dicho costo a terceros salvo al personal involucrado hasta que se determine al contratista. La Misión explicó que el costo es aproximado por lo cual es posible que cambie. La parte peruana lo comprendió.
  - (2) Ambas partes estuvieron de acuerdo en el contenido de las instalaciones y del equipamiento descritos en el Anexo-2 y Anexo-3.
  - (3) La parte peruana se comprometió a distribuir el presupuesto y personal necesarios con el fin de gestionar y mantener de manera apropiada y eficiente las instalaciones a construirse y equipamiento a adquirirse a través del Proyecto.
  - (4) La parte peruana se comprometió a tomar medidas presupuestarias apropiadas y medidas de mantenimiento para renovar en el futuro con su auto-ayuda los equipos comprendidos en el Proyecto.
- 



- MJ
- (5) El Ministerio de Salud gestionará y coordinará con las instancias correspondientes con el propósito de exonerar todo tipo de cargas fiscales a imponerse por el Gobierno del Perú sobre los equipos y materiales concernientes al Proyecto a ser importados por las personas japonesas, así como los servicios necesarios.
  - (6) El Ministerio de Salud proveerá el presupuesto necesario para la devolución de las cargas fiscales según solicitud del contratista, cuyo plazo de atención no será mayor de dos meses para su devolución.
  - (7) El Ministerio de Salud realizará los trámites aduaneros necesarios. El Instituto Nacional de Rehabilitación " Dra. Adriana Rebaza Flores" obtendrá el permiso de construcción antes de que se ejecute el Proyecto.
  - (8) La parte peruana se comprometió a terminar las obras de demolición de las edificaciones existentes y de nivelación del terreno, antes de fines de marzo de 2009, donde está previsto realizar el Proyecto.
  - (9) El cronograma tentativo de ejecución del Proyecto se describe en el Anexo-4.

Anexo-1 : Costo aproximado del Proyecto

Anexo-2 : Lista de instalaciones solicitadas

Anexo-3 : Lista de equipamiento solicitado

Anexo-4 : Cronograma tentativo de ejecución del Proyecto

R

Qllm

## Anexo-1 Estimación del Costo del Proyecto

Con respecto al costo necesario en caso de implementar las obras objeto de la cooperación mediante la Cooperación Financiera No Reembolsable, se estiman los costos desglosados basados en los compromisos asumidos por el Japón y el Perú como se indican a continuación, sin embargo, lo que se muestra no es un monto límite de la Cooperación que se describirá en el Canje de Notas.

### (1) Condiciones de la Estimación

- 1) Fecha de estimación : Septiembre del año 2007
- 2) Tasa de cambio : 1US\$= 120.63 yenes  
: 1US\$=3.16 soles (S/.)  
: 1 sol=38.17 yenes
- 3) Duración de ejecución : 16 meses
- 4) Otros : La presente cooperación se realizará de acuerdo al sistema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Gobierno del Japón.

### (2) Costos aproximados de las Obras de la Parte Japonesa

Costo total estimado: aproximadamente 1,910 millones de yenes

| Partidas                          | Costo estimado (millones de yenes) |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| Construcción de las edificaciones | 1,510                              |
| Adquisición de equipos            | 243                                |
| Diseño definitivo, supervisión    | 157                                |

### (3) Costos aproximados de las Obras de la Parte Peruana

| Partidas  | Costo estimado (millones de yenes) | Costo estimado (miles de soles) |
|---|------------------------------------|---------------------------------|
| Elaboración de F/S y obtención de la aprobación de F/S por el MEF   | 10                                 | 263                             |
| Preparación del terreno   | 132                                | 3,460                           |
| Instalación de cercos perimetrales del terreno  | 3                                  | 70                              |
| Diseño y supervisión de las edificaciones de la parte peruana (pabellones de administración y docencia, de hospitalización B y de servicio general B, y obras externas) | 33                                 | 871                             |
| Construcción del Pabellón de administración y docencia  | 203                                | 5,324                           |
| Construcción del Pabellón de hospitalización B  | 64                                 | 1,683                           |
| Construcción del Pabellón de servicio general B   | 46                                 | 1,207                           |
| Obras externas  | 19                                 | 500                             |
| Plan, diseño y supervisión de plantación  | 2                                  | 50                              |
| Plantación de arboles   | 19                                 | 500                             |
| Compra de muebles y enseres   | 30                                 | 795                             |
| Traslado de equipos y muebles existente   | 2                                  | 50                              |
| Conexión de las infraestructuras (energía eléctrica, acueducto y alcantarillado)  | 2                                  | 50                              |
| Obtención de la autorización de construcción  | 22                                 | 584                             |
| Devolución de impuestos internos (IGV, etc.) relacionados con los servicios de la parte japonesa  | 235                                | 6,150                           |
| Arregros bancarios (B/A) y expedición e la autorizaciónde pago (A/P)  | 4                                  | 101                             |
| <b>TOTAL</b>  | <b>826</b>                         | <b>21,658</b>                   |

Anexo-2 Lista de Instalaciones

(1) Edificaciones:

| División              | Instalaciones                            | Estructura                   | Área                   | Unidades y Principales Salas  |
|-----------------------|--|------------------------------|------------------------|---|
| Cooperación japonesa  | Pabellón de consulta externa             | Hormigón armado<br>2 plantas | 8.480,0m <sup>2</sup>  | Recepción y consulta externa, Rehab. de F. motoras, Rehab. de F. mentales, Ayuda al diag. y tratamiento |
|                       | Pabellón de laboratorio y esterilización | Hormigón armado<br>1 planta  | 435,0m <sup>2</sup>    | Laboratorios, Salas de esterilización, tratamiento y anexas   |
|                       | Pabellón de servicios generales A        | Horm. armado<br>1 planta     | 888,0m <sup>2</sup>    | Cocina, Comedor, Lavandería, Sala de electricidad, Sala de fuerza                                       |
|                       | Pabellón de hospitalización A            | Horm. armado<br>1 planta     | 924,5m <sup>2</sup>    | Salas de hospitalización para 38 camas y salas anexas   |
|                       | Subtotal                                 |                              |                        | 10.727,5m <sup>2</sup>  |
| Contrapartida peruana | Pabellón de administración y docencia    | Horm. armado<br>2 plantas    | 2.925,5m <sup>2</sup>  | Salas de administración, aulas, biblioteca, auditorio, etc.   |
|                       | Pabellón de hospitalización B            | Horm. armado<br>1 planta     | 924,5m <sup>2</sup>    | Salas de hospitalización para 38 camas y salas anexas   |
|                       | Pabellón de servicios generales B        | Horm. armado<br>1 planta     | 663,0m <sup>2</sup>    | Administración, Mantenimiento (talles de carpintería de madera y metálica, etc.)                        |
|                       | Subtotal                                 |                              |                        | 4.513,0m <sup>2</sup>   |
| TOTAL                 |  |                              | 15.240,5m <sup>2</sup> |   |

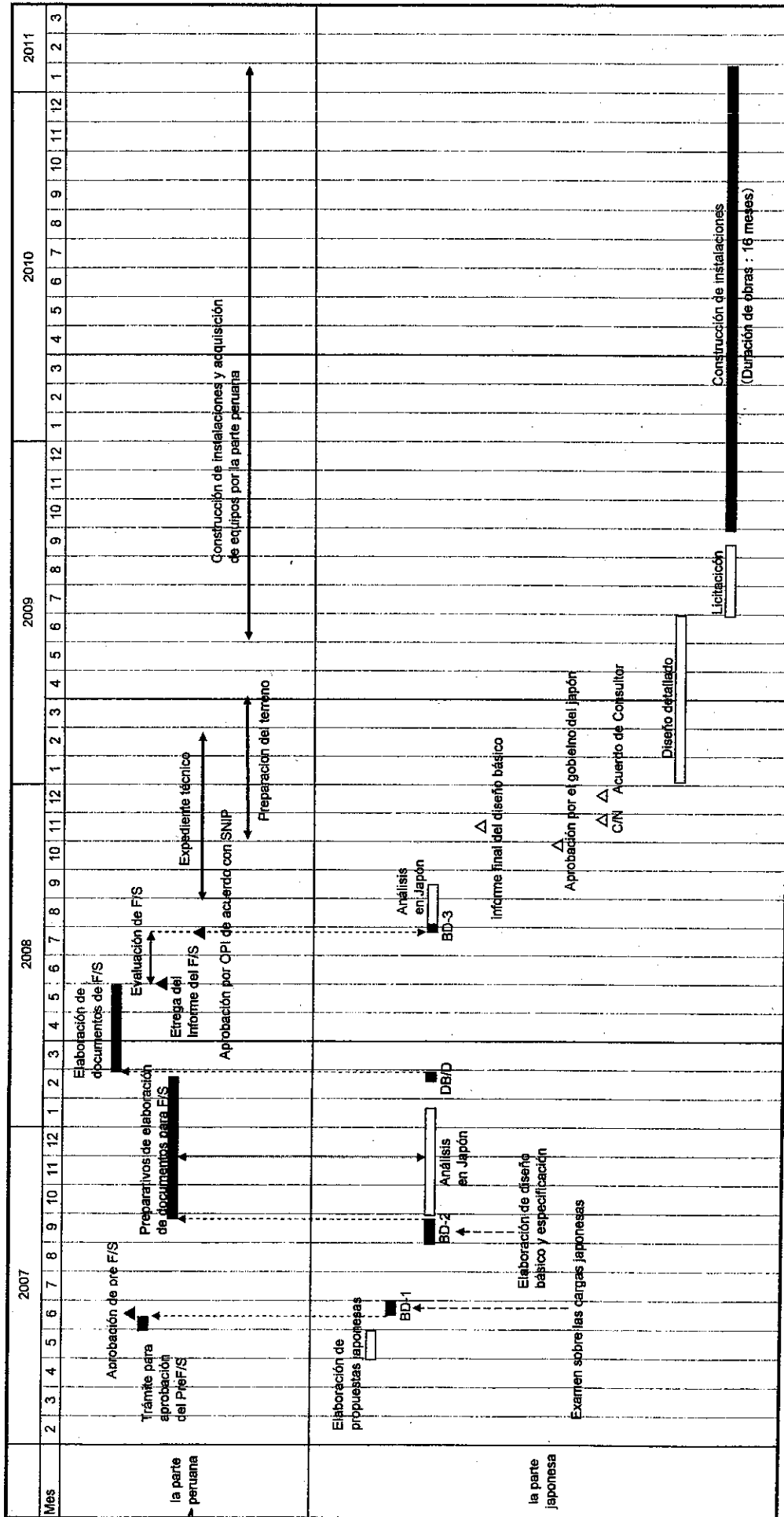
(2) Obras Externas

| División                   | Obras Externas  | Descripción de las Obras  |
|----------------------------|---|---|
| Obras de la parte japonesa | Camino de acceso principal y estacionamiento para visitantes                                | Calzada y acera de entrada principal, estacionamiento para visitantes para unos 30 autos y 3 astas de bandera. (No incluida la plantación)                                    |
|                            | Patio para ejercicio externo de andadura  | Instalar acera para ejercicio externo de andadura, jardín y estanque en el patio del Pabellón de Consulta Externa. (No incluida la plantación).                               |
|                            | Cancha de ejercicios para rehabilitación  | Cancha ubicada entre el Pabellón de Hospitalización A y el Pabellón de Laboratorio y Esterilización. (No incluida la plantación)  |
|                            | Calzada de servicio   | Calzada desde la entrada auxiliar hasta el Pabellón de Servicios Generales A  |
|                            | Acera   | Acera que conecta entre el Pabellón de Consulta Externa, el Pabellón de Laboratorio y Esterilización, el Pabellón de Hospitalización A y el Pabellón de Servicios Generales A |
|                            | Tanque de recepción de agua, Tanque de combustible, depósito de basuras                     | Tanque de recepción de agua, sala de bombas de suministro de agua, tanque de combustible para caldera y generador, depósito de basuras para su recolección                    |
| Obras de la parte peruana  | Preparación del terreno   | Demolición y retiro de las edificaciones existente, obra de nivelación de suelo   |
|                            | Instalación de cercos perimetrales del terreno  | Incluidos cercos perimetrales del recinto.  |
|                            | Plantación de árboles   | Todas las obras de plantación dentro del recinto  |
|                            | Caseta de portón  | Casetas de portón a ser instaladas en la entrada principal y en la auxiliar   |
|                            | Camino de acceso al Pabellón de Administración y Docencia y estacionamiento para visitantes | Calzada que va desde el camino de acceso principal hasta el Pabellón de Administración y Docencia, con estacionamiento para visitantes para unos 52 autos                     |
|                            | Estacionamiento para personal   | Estacionamiento para personal para unos 43 autos ubicado en la entrada auxiliar   |
|                            | Calzada de servicio   | Calzada que va desde la entrada auxiliar hasta el Pabellón de Administración y Docencia   |

### Anexo-3 Lista de Equipamiento

| No.  | Descripción   | Cantidad Total | Tarifa de Dpto. Aprendizaje | Tarifa Física | Hydroterapia | Gimnasio | Laserterapia | Sala de Tratamiento | Cabina Auditométrica | Pabellón de Hospitalización | T.A.C. | Rayos X | Cámara Oscura | Laboratorio | Biomecánica | Centros de Estudios y Equipos | Lavandería | TOTAL |
|------|---|----------------|-----------------------------|---------------|--------------|----------|--------------|---------------------|----------------------|-----------------------------|--------|---------|---------------|-------------|-------------|-------------------------------|------------|-------|
| C-1  | Minigym   | 1              | 1                           |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| C-6  | Computadora con software especial y accesorios, para problemas de aprendizaje | 8              | 8                           |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 8     |
| C-8  | Set para entrenamiento en la posición de pie (para niños)                     | 1              | 1                           |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| C-10 | Congeladoras para compresas frías   | 1              |                             | 1             |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| C-12 | Set de Hidrocollectores con set de compresas calientes                        | 1              |                             | 1             |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| C-13 | Tanques calentadores para cera de parafina                                    | 1              |                             |               | 1            |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| C-14 | Unidad de tracción cervical y lumbar con 2 camillas                           | 1              |                             | 1             |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| C-15 | Unidad para terapia de onda corta con accesorios                              | 2              |                             | 2             |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 2     |
| C-16 | Unidad combinada ultrasonido y electroterapia, con accesorio y mesa           | 18             |                             | 18            |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 18    |
| C-17 | Electroestimuladores portátiles de 4 salidas (EMS)                            | 1              |                             | 1             |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| C-19 | Equipo de electroterapia Bio feedback   | 2              |                             | 2             |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 2     |
| C-21 | Equipo de electroterapia para fortalecimiento muscular con accesorios y mesas | 2              |                             |               |              | 2        |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 2     |
| C-23 | Mesa de bipedestación eléctrica para adulto, con tablero                      | 6              |                             |               |              | 6        |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 6     |
| C-25 | Máquinas para subir escaleras profesional de sistema magnético                | 1              |                             |               |              | 1        |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| C-26 | Bandas sin fin  | 2              |                             |               |              | 2        |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 2     |
| C-27 | Bicicletas ergométricas   | 4              |                             |               |              | 4        |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 4     |
| C-29 | Multigym  | 2              |                             |               |              | 2        |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 2     |
| C-30 | Equipos de peleas con pesas para fortalecimiento muscular                     | 3              |                             |               |              | 3        |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 3     |
| C-31 | Escalera sueca  | 5              |                             |               |              | 5        |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 5     |
| C-32 | Transportador eléctrico de pacientes  | 2              |                             |               | 2            |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 2     |
| C-33 | Aparato de presoterapia   | 1              |                             | 1             |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| C-35 | Equipo de laserpuntura  | 1              |                             |               |              |          |              | 1                   |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| C-36 | Equipo de láser infrarrojo  | 2              |                             |               |              |          |              | 2                   |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 2     |
| C-37 | Tanque de HUBBARD con dos turbinas  | 2              |                             |               | 2            |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 2     |
| C-38 | Tanque de WHIRLPOOL para miembro superior con turbina                         | 4              |                             |               | 4            |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 4     |
| C-39 | Tanque de WHIRLPOOL para miembro inferior con turbina                         | 4              |                             |               | 4            |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 4     |
| C-40 | Grúa para traslado de pacientes   | 1              |                             |               | 1            |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| C-42 | Mesa para sala de procedimientos  | 1              |                             |               |              |          |              | 1                   |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| C-47 | Lámpara Calórica de Pie Rodable 6 Reflectores                                 | 1              |                             |               |              |          |              | 1                   |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| C-54 | Esterilizador Eléctrico al Seco, CAP. 28 LTS.                                 | 2              |                             |               |              |          |              | 1                   |                      | 1                           |        |         |               |             |             |                               |            | 2     |
| C-55 | Aspiradora Eléctrica Rodable p/Secreciones                                    | 2              |                             |               |              |          |              | 2                   |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 2     |
| C-58 | Set para triaje   | 2              |                             |               |              |          |              | 2                   |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 2     |
| D-4  | Potenciales evocados auditivos (BERA)   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      | 1                           |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| D-5  | Equipo de emisiones otoacústicas portátil                                     | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      | 1                           |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| D-8  | Camillas neumáticas   | 8              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         | 8             |             |             |                               |            | 8     |
| D-10 | Equipo de urodinamia, computarizado,  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      | 1                           |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| D-11 | Set para examen de funciones respiratorias                                    | 2              |                             |               |              |          |              |                     |                      | 2                           |        |         |               |             |             |                               |            | 2     |
| D-12 | Tomógrafo axial computarizado   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        | 1       |               |             |             |                               |            | 1     |
| D-15 | Equipo de Rayos X   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        | 1       |               |             |             |                               |            | 1     |
| D-16 | Procesador de Rayos X   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         | 1             |             |             |                               |            | 1     |
| D-17 | Microscopios binoculares  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               | 1           |             |                               |            | 1     |
| D-18 | Incubadoras   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               | 1           |             |                               |            | 1     |
| D-19 | Autoclave   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               | 1           |             |                               |            | 1     |
| D-20 | Desionizador  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               | 1           |             |                               |            | 1     |
| D-21 | Espectrómetro   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               | 1           |             |                               |            | 1     |
| D-23 | Centrífuga  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               | 1           |             |                               |            | 1     |
| D-25 | Cabina de Flujo Laminar Tipo 2 (Microbiología)                                | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               | 1           |             |                               |            | 1     |
| P-6  | Pistola de Aire Caliente  | 2              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             | 2                             |            | 2     |
| P-8  | Horno Eléctrico (para polipropileno)  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             | 2                             |            | 2     |
| P-9  | Bomba de Vacío (equipo completo)  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-10 | Cizallas  | 2              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 2           |                               |            | 2     |
| P-18 | Máquina de Soldadura Eléctrica  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-19 | Sierra Cinta para metal   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-20 | Taladro de Columna (Grande)   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-25 | Set de máquinas de costura pesada   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-26 | Máquina Ancladora de Calzado  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-27 | Máquina Desbastadora  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-30 | Máquina de Soldadura de Gas (Oxígeno-acetileno)                               | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-36 | Set de máquinas de corte y cepillado  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-38 | Máquina para impresión de molde cuadrifacial                                  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-40 | Escariadora   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-41 | Sierra Cinta para Madera  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-42 | Set de lijado y pulido  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-43 | Set de Máquinas Dobladoras: de tubos (diferentes medidas)                     | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-44 | Set de Máquinas Aparadoras  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-45 | Máquina Rematadora  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-46 | Máquina Paspunteadora (Cosido de Cerco de Calzado)                            | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| P-47 | Máquina Pasadora de suela   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             | 1           |                               |            | 1     |
| W-1  | Set de camas clínicas   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| W-2  | Elevador portátil de paciente   | 2              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             | 2      |         |               |             |             |                               |            | 2     |
| S-1  | Autoclave y equipo complementario   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| S-2  | Pupinel (Esterilizador a Calor Seco)  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| S-3  | Destilador de Agua  | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| S-15 | Calandria de Secado y Planchado Plano   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| S-16 | Prensa Para Planchado   | 2              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 2     |
| S-17 | Set de Lavado   | 1              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 1     |
| S-18 | Set de Secado   | 2              |                             |               |              |          |              |                     |                      |                             |        |         |               |             |             |                               |            | 2     |

Cronograma de ejecución tentativo



ペルー共和国  
国立障害者リハビリテーションセンター建設計画基本設計調査  
(基本設計概要説明)  
協議議事録

(抜粋)

独立行政法人国際協力機構(以下「JICA」と記す)は、2007年6月18日から6月29日および9月2日から9月28日の二次にわたり、ペルー共和国(以下、「ペルー国」と称す。)に対して「国立障害者リハビリテーションセンター建設計画」に係る基本設計現地調査団を派遣し、ペルー国政府関係者との協議、サイト調査、及びその後の日本国内での国内解析を踏まえて基本設計概要書を取りまとめた。

今般、JICAは、基本設計概要書の内容をペルー国政府関係者に説明し、協議することを目的として、2008年2月20日から2月29日まで、JICAペルー事務所の谷口誠所長を団長とする基本設計概要説明調査団(以下「調査団」という)をペルー国に派遣した。

一連の協議の結果、ペルー国側・日本側双方は、付属書に記述された主要項目につき確認を行った。調査団は、さらに調査を継続し、基本設計調査報告書を取りまとめる。

2008年2月29日、リマ

---

谷口 誠  
総括  
基本設計概要説明調査団  
JICA

---

Arq. Hernán Roig Arosemena  
プロジェクト総合調整官  
保健省  
ペルー共和国

---

Dr. Juan Daniel Guillón Cabrejos  
院長  
国立障害者リハビリテーションセンター  
ペルー共和国

## 付属書

1. 基本設計概要書の内容  
ペルー側は調査団により説明された基本設計概要書の内容について基本的に合意し受容した。
2. 日本の無償資金協力スキーム  
ペルー側は、調査団により説明され双方が2007年6月27日に署名した協議議事録の別添3および別添4に記載された日本の無償資金協力スキームとペルー国側に求められる必要な措置について理解した。
3. 調査スケジュール
  - (1) ペルー側は、調査団により説明された日本側負担部分の計画案に基づき、ペルー国のSNIP（公共投資審査システム）に必要なF/S手続きを実施し、2008年7月中にその承認を完了することを約束した。同調査において、ペルー国側は日本側が実施予定の基本設計調査における施設・機材の内容と統合的な内容となるよう留意する。
  - (2) JICAは同F/Sの承認状況、全体計画内容および両国同時に施工を行うに際しての留意事項等を確認するため、2008年7月末から8月初頭に頃調査団を派遣する。
  - (3) JICAは2008年11月までに最終報告書を作成しペルー側に送付する。
4. 秘密保持  
双方は、基本設計概要書及び機材仕様書（案）など、本プロジェクトに関連するあらゆる資料をプロジェクトの入札終了まで関係者以外の第三者に開示しないことを確認した。
5. その他協議事項
  - (1) 調査団は別添1に示すとおり、本プロジェクトの概算事業費について説明した。双方は概算事業費について受注者決定まで関係者以外の第三者に開示しないことを確認した。調査団は概算事業費は概算であり変更する可能性があることを説明し、ペルー国側はこれを了解した。
  - (2) 双方は、別添2および3に示された施設建設および必要な機材調達の内容につき合意した。
  - (3) ペルー国側は、本計画実施により建設される施設、調達される機材を適切かつ効果的に運用、維持管理していくために十分な人員と予算を配分することを約束した。
  - (4) ペルー国側は、本計画の実施により導入される機材を今後自助努力により更新していくために適切な予算措置・メンテナンス措置を講じていくことを約束した。
  - (5) 保健省は、本プロジェクトに関与する日本人が認証された契約に基づき行う機材・資材の輸入およびサービスの提供に対して、ペルー国政府の課する全ての税が免除されるよう関係機関と調整を行う。
  - (6) 保健省は、契約業者からの要請に対応し、契約業者への還付に必要な予算を供給する。そのための期間は、二ヶ月を超えない。
  - (7) 保健省は、必要な税関手続きのための措置を取る。国立障害者リハビリテーションセンターは、プロジェクトの実施前に建築許認可を取得する。
  - (8) ペルー国側は、本計画実施に必要な用地に存在する施設の解体及び整地を2009年3月までに行うことを約束した。
  - (9) 現時点で想定される概略工程案は別添4のとおりである。

- 別添1 概算事業費
- 別添2 要請施設リスト
- 別添3 要請機材リスト
- 別添4 概略工程案

添付 - 1 プロジェクトの概算事業費

日本の無償資金協力により、協力対象事業を実施する場合に必要な事業費について、日本とペルー国の負担区分に基づく事業費内訳は次のとおりに見積もられる。ただし、これは交換公文上の供与限度額を示すものではない。

(1) 積算条件

- 1) 積算時点 : 平成 19 年 9 月
- 2) 為替交換レート : 1US\$ = 120.63 円  
: 1US\$ = 3.16 ソーレス (S/.)  
: 1 ソル = 38.17 円
- 3) 施工期間 : 16 ヶ月
- 4) その他 : 本プロジェクトは、日本国政府の無償資金協力制度に従い実施される。

(2) 日本側負担概算事業費

概算総事業費 : 約 1,910 百万円

| 費 目       | 概算事業費 (百万円) |
|-----------|-------------|
| 施設建設      | 1,510       |
| 機材調達      | 243         |
| 実施設計・監理業務 | 157         |

(3) ペルー側負担概算事業費

| 費 目   | 概算事業費 (百万円) | 概算事業費 (千ソル) |
|---|-------------|-------------|
| F/S の作成と経済財務省からの承認取得                          | 10          | 263         |
| 建設予定地の整地                                      | 132         | 3,460       |
| 外周フェンス設置                                      | 3           | 70          |
| ペルー側負担施設 (管理・研修棟、病棟 B、一般サービス棟 B、外構工事) の設計監理業務 | 33          | 871         |
| 管理・研修棟建設                                      | 203         | 5,324       |
| 病棟 B 建設                                       | 64          | 1,683       |
| 一般サービス棟 B 建設                                  | 46          | 1,207       |
| 外構工事  | 19          | 500         |
| 植栽計画、設計監理業務                                   | 2           | 50          |
| 植栽工事  | 19          | 500         |
| 家具・什器の調達                                      | 30          | 795         |
| 既存機材、家具の移転                                    | 2           | 50          |
| インフラ接続 (電力、上下水)                               | 2           | 50          |
| 建設許可取得  | 22          | 584         |
| 日本側協力対象事業の国内税 (付加価値税等) 還付                     | 235         | 6,150       |
| 銀行取極め (B/A) 支払い授權書 (A/P) 発行                   | 4           | 101         |
| 合 計   | 826         | 21,658      |



添付-2 要請施設リスト

(1) 建物

| 区分       | 施設名称      | 構造        | 規模                     | 部門および主要諸室                                     |
|----------|-----------|-----------|------------------------|---|
| 日本側の計画施設 | 外来診療棟     | RC 造*2 階建 | 8,480.0m <sup>2</sup>  | 外来受付諸室、運動機能障害リハビリ部諸室、精神機能障害リハビリ部諸室、診断・治療支援部諸室 |
|          | ラボ・中央材料棟  | RC 造平屋建   | 435.0m <sup>2</sup>    | 臨床検査諸室、滅菌センター諸室、処置室および関連諸室                    |
|          | 一般サービス棟 A | RC 造平屋建   | 888.0m <sup>2</sup>    | 厨房・食堂、洗濯室、電気室、機械室                             |
|          | 病棟 A      | RC 造平屋建   | 924.5m <sup>2</sup>    | 38 床の病室および関連諸室                                |
|          | 施設面積小計    |           |                        | 10,727.5m <sup>2</sup>                        |
| ペルー側負担施設 | 管理・研修棟    | RC 造 2 階建 | 2,925.5m <sup>2</sup>  | 管理部門諸室、研修教室、図書室、講堂、等                          |
|          | 病棟 B      | RC 造平屋建   | 924.5m <sup>2</sup>    | 38 床の病室および関連諸室                                |
|          | 一般サービス棟 B | RC 造平屋建   | 663.0m <sup>2</sup>    | 管理事務室、メンテナンス諸室（木工作業、金工作業など）他                  |
|          | 施設面積小計    |           |                        | 4,513.0m <sup>2</sup>                         |
| 施設面積合計   |           |           | 15,240.5m <sup>2</sup> |   |

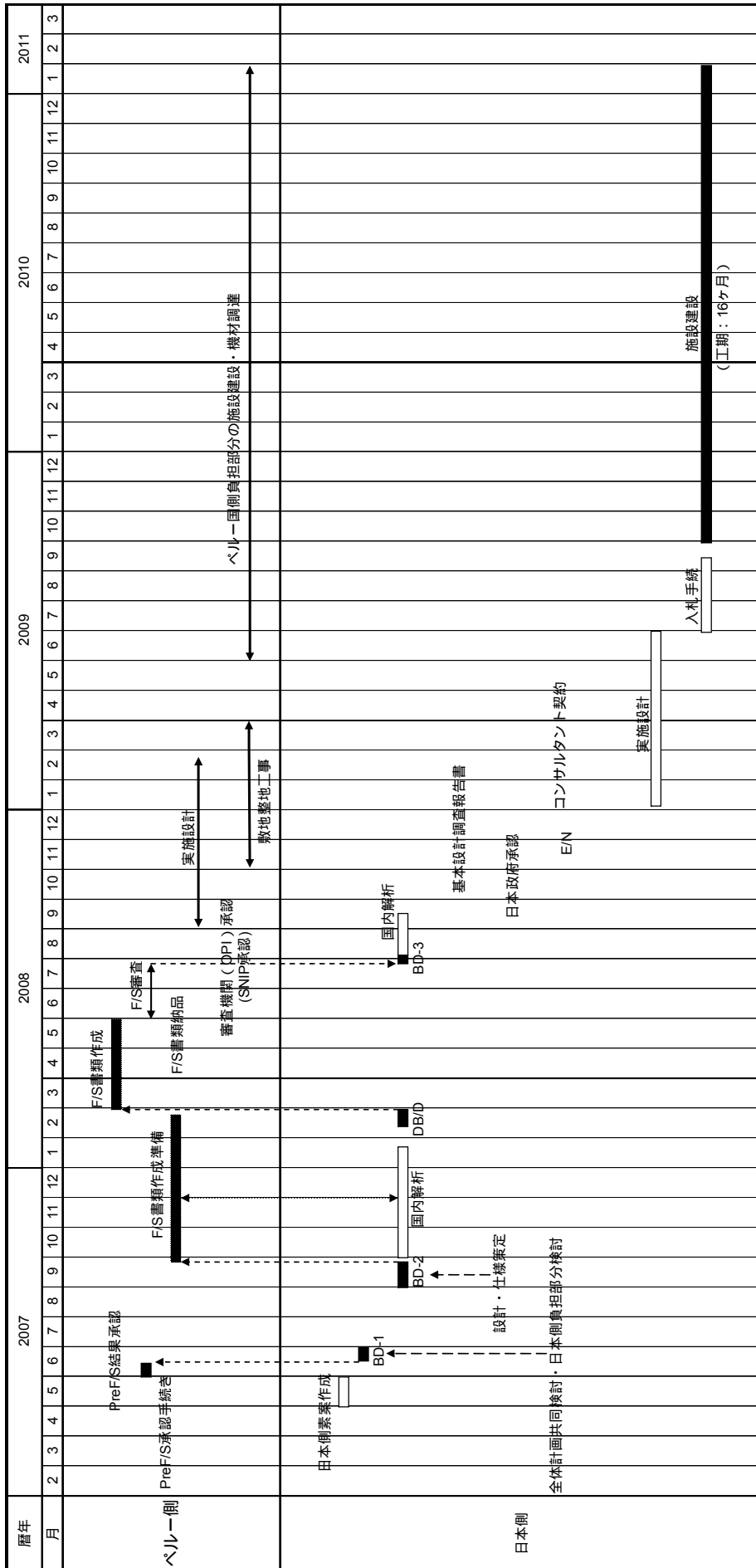
(2) 外構工事

| 区分       | 外構工事名                    | 工事内容   |
|----------|--------------------------|--|
| 日本側負担工事  | メインアプローチ道路および来客用駐車場      | メインエントランスの車道、歩道および約 30 台の来客駐車場。フラッグポール（3 本）を含む。（ただし植栽は含まない。） |
|          | 屋外歩行訓練場                  | 外来診療棟の中庭にある歩行訓練用の歩道、花壇、池の設置（ただし植栽は含まない。）                     |
|          | 訓練用運動場                   | 病棟 A とラボ・中央材料棟の間に設ける運動場（ただし植栽は含まない。）                         |
|          | サービス用道路                  | サブエントランスから一般サービス棟 A に至る車道                                    |
|          | 歩道                       | 外来診療棟、ラボ・中央材料棟、病棟 A、一般サービス棟 A を結ぶ歩道                          |
|          | 受水槽、オイルタンク、ゴミ置場          | 受水槽・給水ポンプ室、ボイラー及び発電機用オイルタンク、ゴミ回収用ゴミ置場                        |
| ペルー側負担工事 | 整地工事                     | 既存施設の撤去、地盤レベル造成工事  |
|          | 外周フェンス                   | 敷地周囲のフェンスを含む。  |
|          | 植栽工事                     | 敷地内のすべての植栽工事   |
|          | ゲートハウス                   | メイン・サブエントランスに設けるゲートハウス                                       |
|          | 管理・研修棟へのアプローチ道路および来客用駐車場 | メインアプローチ道路から管理・研修棟に至る車道と約 52 台の来客用駐車場                        |
|          | 職員駐車場                    | サブエントランスにある約 43 台の職員駐車場                                      |
|          | サービス用道路                  | サブエントランスから管理・研修棟に至る車道  |

添付-3 要請機材リスト

| 番号   | 機材名                   | 台数 | 学習障害療<br>法室 | 理学療法室 | 水治療室 | 運動療法室 | レーザー治療<br>室 | 処置室 | 聴覚検査室 | 病棟 | C T撮影室 | X線撮影室 | 暗室 | 臨床検査室 | 義肢装具製作<br>室 | 中央材料室 | 洗濯室 | 計量<br>台数 |
|------|-----------------------|----|-------------|-------|------|-------|-------------|-----|-------|----|--------|-------|----|-------|-------------|-------|-----|----------|
| C-1  | ミニジム                  | 1  | 1           |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| C-6  | 学習障害訓練用システム           | 8  | 8           |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 8        |
| C-8  | 自立訓練機器セット(小児用)        | 1  | 1           |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| C-10 | 冷パック用冷凍庫セット           | 1  |             | 1     |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| C-12 | 湿式パックヒーターセット          | 1  |             | 1     |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| C-13 | パラフィン浴槽               | 1  |             |       | 1    |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| C-14 | 頸椎・腰椎牽引機              | 1  |             | 1     |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| C-15 | 短波治療器                 | 2  |             | 2     |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 2        |
| C-16 | 超音波・電気刺激複合治療器         | 18 |             | 18    |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 18       |
| C-17 | 携帯型4極電気刺激装置           | 1  |             | 1     |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| C-19 | バイオフィードバック治療器         | 2  |             | 2     |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 2        |
| C-21 | 筋力増強用電気刺激治療器          | 2  |             |       |      | 2     |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 2        |
| C-23 | 電動式チルトテーブル            | 6  |             |       |      | 6     |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 6        |
| C-25 | 起立踏み込み式下肢運動器          | 1  |             |       |      | 1     |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| C-26 | 電動式トレッドミル             | 2  |             |       |      | 2     |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 2        |
| C-27 | 自転車エルゴメータ             | 4  |             |       |      | 4     |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 4        |
| C-29 | マルチジム                 | 2  |             |       |      | 2     |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 2        |
| C-30 | 重錘滑車四肢運動器             | 3  |             |       |      | 3     |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 3        |
| C-31 | 肋木                    | 5  |             |       |      | 5     |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 5        |
| C-32 | ハバードタンク用患者搬送リフト       | 2  |             |       | 2    |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 2        |
| C-33 | 下肢空圧マッサージ器            | 1  |             | 1     |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| C-35 | レーザー治療器               | 1  |             |       |      |       | 1           |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| C-36 | 赤外線レーザー治療器            | 2  |             |       |      |       | 2           |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 2        |
| C-37 | ハバードタンク               | 2  |             |       | 2    |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 2        |
| C-38 | 上肢用ワールプール             | 4  |             |       | 4    |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 4        |
| C-39 | 下肢用ワールプール             | 4  |             |       | 4    |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 4        |
| C-40 | 水中リハビリプール用患者搬送ストレッチャー | 1  |             |       | 1    |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| C-42 | 処置台                   | 1  |             |       |      |       |             | 1   |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| C-47 | 移動型无影灯                | 1  |             |       |      |       |             | 1   |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| C-54 | 乾熱滅菌器                 | 2  |             |       |      |       |             | 1   | 1     |    |        |       |    |       |             |       |     | 2        |
| C-55 | 吸引機                   | 2  |             |       |      |       |             | 2   |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 2        |
| C-56 | 診断機器セット               | 2  |             |       |      |       |             | 2   |       |    |        |       |    |       |             |       |     | 2        |
| D-4  | 聴性脳幹反応検査装置            | 1  |             |       |      |       |             |     | 1     |    |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| D-5  | 携帯型耳音響放射装置            | 1  |             |       |      |       |             |     | 1     |    |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| D-8  | 昇降式リクライニング型ストレッチャー    | 8  |             |       |      |       |             |     |       | 8  |        |       |    |       |             |       |     | 8        |
| D-10 | 下部尿路機能検査装置            | 1  |             |       |      |       |             |     |       | 1  |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| D-11 | 呼吸器検査機器               | 2  |             |       |      |       |             |     |       | 2  |        |       |    |       |             |       |     | 2        |
| D-12 | CTスキャナー               | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    | 1      |       |    |       |             |       |     | 1        |
| D-15 | 一般用X線撮影装置             | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        | 1     |    |       |             |       |     | 1        |
| D-16 | 自動現像機                 | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       | 1  |       |             |       |     | 1        |
| D-17 | 双眼顕微鏡                 | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    | 1     |             |       |     | 1        |
| D-18 | 恒温槽                   | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    | 1     |             |       |     | 1        |
| D-19 | 高圧蒸気滅菌器               | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    | 1     |             |       |     | 1        |
| D-20 | 蒸留水製造装置               | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    | 1     |             |       |     | 1        |
| D-21 | 分光光度計                 | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    | 1     |             |       |     | 1        |
| D-23 | 遠心器                   | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    | 1     |             |       |     | 1        |
| D-25 | 安全キャビネット              | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    | 1     |             |       |     | 1        |
| P-6  | ホットエアガン               | 2  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             | 2     |     | 2        |
| P-8  | ポリプロピレン用電気炉           | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             | 2     |     | 2        |
| P-9  | 真空成形機                 | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-10 | 裁断機                   | 2  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 2           |       |     | 2        |
| P-18 | 電気溶接機                 | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-19 | 帯鋸盤(金属用)              | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-20 | 直立ボール盤(大)             | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-25 | 工業用ミシンセット             | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-26 | 靴幅調整機                 | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-27 | 革漉機                   | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-30 | ガス溶接機                 | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-38 | 切削機器セット               | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-39 | ソケット製作調整器             | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-40 | カービングマシン              | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-41 | 帯鋸盤(木工用)              | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-42 | 研磨機セット                | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-43 | ベンディング機器セット           | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-44 | 靴部品縫製機セット             | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-45 | 多ヘッド研磨機               | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-46 | 出し縫ミシン                | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| P-47 | 靴底縫い用ミシン              | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       | 1           |       |     | 1        |
| W-1  | ベッドセット                | 1  |             |       |      |       |             |     |       | 1  |        |       |    |       |             |       |     | 1        |
| W-2  | 患者介護用リフト              | 2  |             |       |      |       |             |     |       | 2  |        |       |    |       |             |       |     | 2        |
| S-1  | 高圧蒸気滅菌器及び関連機材         | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             | 1     |     | 1        |
| S-2  | 乾熱滅菌器                 | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             | 1     |     | 1        |
| S-3  | 蒸留装置                  | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             | 1     |     | 1        |
| S-15 | ロールアイロン               | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       | 1   | 1        |
| S-16 | プレス機                  | 2  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       | 2   | 2        |
| S-17 | 洗濯機セット                | 1  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       | 1   | 1        |
| S-18 | 乾燥機                   | 2  |             |       |      |       |             |     |       |    |        |       |    |       |             |       | 2   | 2        |

概略工程表



**MINUTA DE DISCUSIONES**  
**SOBRE EL ESTUDIO DE DISEÑO BASICO PARA EL PROYECTO DE CONSTRUCCION**  
**DE LA NUEVA SEDE DEL INSTITUTO NACIONAL DE REHABILITACION**  
**“DRA. ADRIANA REBAZA FLORES” EN LA REPUBLICA DEL PERU**  
**(TERCERA ETAPA DEL ESTUDIO EN PERU)**

La Agencia de Cooperación Internacional del Japón ( en adelante se denominará “JICA” ) envió a la República del Perú (en adelante se denominará “Perú”) la Misión de Explicación del Borrador del Informe del Estudio de Diseño Básico para el Proyecto de Construcción de la Nueva Sede del Instituto Nacional de Rehabilitación “Dra. Adriana Rebaza Flores” desde el 21 hasta el 29 de febrero de 2008.

En esta oportunidad JICA ha enviado al Perú otra Misión del Estudio de Diseño Básico(en adelante se denominará “la Misión), encabezada por el Lic. Hideya KOBAYASHI, Jefe de la Segunda División de Manejo de Proyectos, Departamento de la Cooperación Financiera No Reembolsable de JICA, desde el 4 hasta el 8 de agosto de 2008 con el fin de confirmar el resultado del Estudio de Factibilidad de la parte peruana, el avance y resultado del Proceso de aprobación bajo el Sistema Nacional de Inversión Pública-SNIP y conversar sobre la coherencia del resultado de dicho Estudio de Factibilidad con el contenido del Borrador del Informe Final de la parte japonesa y estudiar los últimos precios de materiales de construcción y reflejarlos en el costo estimado del presente Proyecto.

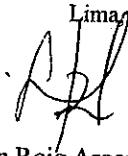
Como consecuencia de una serie de conversaciones, la parte peruana y la japonesa comprobaron los ítems relevantes descritos en el documento adjunto. La Misión continuará su estudio y elaborará el Informe Final del Estudio de Diseño Básico.

Lima, 7 de agosto de 2008

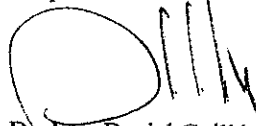


Lic. Hideya KOBAYASHI

Jefe de la Misión de la Tercera Etapa  
del Estudio de Diseño Básico  
JICA



Arq. Hernán Roig Arosemena  
Coordinador General del Proyecto  
Oficina de Cooperación Internacional  
Ministerio de Salud  
República del Perú



Dr. Juan Daniel Guillén Cabrejos  
Director General  
Instituto Nacional de Rehabilitación  
“Dra. Adriana Rebaza Flores”

## DOCUMENTO ADJUNTO

### 1. Procedimiento para el Estudio de Factibilidad bajo el SNIP

La parte peruana se comprometió a terminar el proceso de aprobación del estudio de factibilidad el 18 de agosto del 2008 e informar a la oficina de JICA en Perú.

### 2. Esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable

La parte peruana comprendió el esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón y las responsabilidades que le corresponde, explicados por la Misión y descrito en el Anexo- 3 y el Anexo-4 de la Minuta de Discusiones firmada por los representantes de ambas partes el día 27 de junio de 2007.

### 3. Cronograma del Estudio

JICA elaborará el Informe Final del Estudio de Diseño Básico y lo enviará a la parte peruana antes de fines de noviembre de 2008.

### 4. Conservación de confidencialidad

Ambas partes acordaron no revelar los documentos concernientes al Borrador del Informe Final del Estudio de Diseño Básico y especificaciones técnicas del equipamiento a terceros, excepto al personal involucrado hasta que terminen la licitación del Proyecto.

### 5. Otros puntos conversados

(1) El costo estimado del Proyecto que se menciona en el Anexo-1 de la Minuta de Discusiones firmada el 29 de febrero de 2008 estaba calculado a la fecha de septiembre de 2007 por lo cual la Misión explicó a la parte peruana que es necesario estudiar de nuevo los últimos precios de materiales de construcción y reflejarlos en el nuevo cálculo del costo estimado del Proyecto. La parte peruana lo comprendió.

(2) La parte peruana se compromete a iniciar la obra de nivelación del terreno, donde está previsto construir la Nueva Sede del INR, antes de fines de noviembre de 2008 y terminarla antes de fines de marzo de 2009.

(3) El cronograma tentativo de las obras a ser realizadas se describe en el Anexo-1.

Anexo-1 Cronograma tentativo de las obras



ペルー共和国  
国立障害者リハビリテーションセンター建設計画基本設計調査  
(第三次現地調査)  
協議議事録(抜粋)

独立行政法人国際協力機構(以下「JICA」と記す)は、2008年2月21日から2月29日に、ペルー共和国(以下、「ペルー国」と称す)に対して「国立障害者リハビリテーションセンター建設計画」に係る基本設計概要説明調査団を派遣し、ペルー国政府関係者に基本設計概要書を説明し協議した。

今般、JICAは、ペルー国のSNIP制度における本プロジェクトのF/Sの実施結果および政府内審査の進捗・結果を確認し、F/Sの内容と基本設計概要書との整合性を協議すると共に、最新の建設物価を調査し、概算事業費の積算に反映することを目的として、2008年8月4日から8月8日まで、JICA資金協力支援部準備室実施監理第二課の小林秀弥主査を団長とする基本設計第三次現地調査団(以下「調査団」という)をペルー国に派遣した。

一連の協議の結果、ペルー国側・日本国側双方は、付属書に記述された主要項目につき確認を行った。調査団は、さらに調査を継続し、基本設計調査報告書を取りまとめる。

2008年8月7日、リマ

---

小林 秀弥  
総括  
基本設計第三次現地調査団  
JICA

---

Arq. Hernán Roig Arosemena  
プロジェクト総合調整官  
保健省  
ペルー共和国

---

Dr. Juan Daniel Guillón Cabrejos  
院長  
国立障害者リハビリテーションセンター  
ペルー共和国

## 付属書

6. ペルー国の SNIP（公共投資審査システム）に必要な F/S 手続き  
ペルー国側は F/S 承認手続きを 2008 年 8 月 18 日に完了し、JICA ペルー事務所に報告することを約束した。
7. 日本の無償資金協カスキーム  
ペルー側は、調査団により説明され双方が 2007 年 6 月 27 日に署名した協議議事録の別添 3 および別添 4 に記載された日本の無償資金協カスキームとペルー国側に求められる必要な措置について理解した。
8. 調査スケジュール  
JICA は 2008 年 11 月までに最終報告書を作成しペルー側に送付する。
9. 秘密保持  
双方は、基本設計概要書及び機材仕様書（案）など、本プロジェクトに関連するあらゆる資料をプロジェクトの入札終了まで関係者以外の第三者に開示しないことを確認した。
10. その他協議事項
  - (1) 2008 年 2 月 29 日署名の協議議事録の別添 1 に示された概算事業費は、積算時点が 2007 年 9 月であったため、調査団は、今回の調査で最新の建設物価を調査し積算に反映されることから概算事業費が変更されることを説明し、ペルー側はこれを了解した。
  - (2) 本件計画の実施に際して必要となるペルー側による建設予定地の整地工事に関して、ペルー側は 2008 年 11 月までに着手し、2009 年 3 月までにこれを完了することを約束した。
  - (3) 現時点で想定される概略工程案は別添 1 のとおりである。

### 別添 1 概略工程案



